

ビル空調システム

室内ユニット

技術資料

床置ダクト形 (FDAS)

本資料は室内ユニットに関する事項を記載しております。
記載事項以外については、2016・2017年版冷熱ハンドブック設計・
施工編およびサービス編をご覧ください。

目次

1. 仕様(運転特性)	2
2. 外形図	3
3. 電気配線図	6
4. 送風機特性	7
5. 運転音	9
6. 防振設計用参考資料	10
7. 据付関連事項	11
8. マイコン運転制御機能	41
9. 電装品故障診断要領	60
10. 別売品	92

・形式名称の見方



1. 仕様

(50/60Hz)

項目		形式			
		FDASP1405TLX	FDASP2245TLX	FDASP2805TLX	
電源		三相200V 50/60Hz			
(1) 能力	冷房能力	kW	14.0	22.4	28.0
	暖房能力		16.0	25.0	31.5
定格冷房時の顕熱比			0.75	0.75	0.79
運転音 パワーレベル		dB	72.0	70.0	78.0
外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	1700×800×500		
製品質量		kg	134	157	167
塗装色 (マンセル)		セラミックホワイト(N8.0近似)			
空気形式		アルミフィン&銅チューブ式			
熱交換器 冷媒制御器		電子膨張弁			
送風装置	形式・台数		両吸込多翼遠心式(ベルト駆動)×1	両吸込多翼遠心式(ベルト駆動)×2	
	送風量	m ³ /min	35	56	78
	機外静圧(標準風量時)	Pa	66/133	68/132	67/167
	電動機 定格出力	W	750×1	750×1	1500×1
	エアフィルタ	プラスチックエアフィルタ(洗浄可能)			
空気吸込口	前面または後面(ダクト接続可能)を選択				
空気吹出口	上面(ダクト接続可能)				
新鮮空気取入口	両側面を利用し可能(200×200ダクト接続)				
運転調整	操作スイッチ	ワイヤードリモコン:RC-DX3A(付属)			
表示	温度調節	マイコン式サーモスタット			
表示灯		液晶表示(リモコン)			
加温補助	補助電気ヒータ	kW	組込可能(4kW)	組込可能(6kW)	組込可能(8kW)
	温水・蒸気ヒータ		組込不可能		
	加湿器		組込可能		
高性能フィルタ		— (組込可能)(後面吸込形)			
遠方発停用機能		遠方発停入力用コネクタ(CnT)を保有(6P・室内基板上)			
外部制御用出力機能		—			
遠方表示用出力機能		運転表示・異常表示出力用コネクタ(CnT)を保有(6P・室内基板上)			
冷媒		R410A			
防振装置		—			
防音・断熱材		外板:吸音断熱材内貼付			
配管寸法(室内側)	冷媒配管 液管 (外径)	mm	φ9.52(ろう付接続)	φ9.52(ろう付接続)	
	ガス管		φ15.88(ろう付接続)	φ19.05(ろう付接続)	φ22.22(ろう付接続)
排水管		Rp1(メス)(25A)			
別売(オプション)部品		補助電気ヒータ, 気化式加湿器, 蒸気用スプレー加湿器, 高性能フィルタ, プレナムチャンバ			
保護装置		室内ファンモータ:過電流継電器(手動復帰)			
設計圧力		MPa	高圧部4.15, 低圧部2.21		
IPコード			IPX0		
接続可能室外ユニット		ビル空調マルチ4HLXシリーズ			

- 注(1) 冷房・暖房能力, 電気特性および運転音 (パワーレベル) は日本工業規格 (JIS B 8616) 条件により運転した値です。
 (2) 各部品の点検・保全周期については日本冷凍空調工業会発行のガイドラインを参考にしてください。
 (3) 上記室内ユニットを使用する場合は室内ユニット合計容量を 100%以下としてください。
 (4) 室内ユニットの空気吸込口を後面側に選択した場合は, 両側面の新鮮空気取入口を利用することはできません。

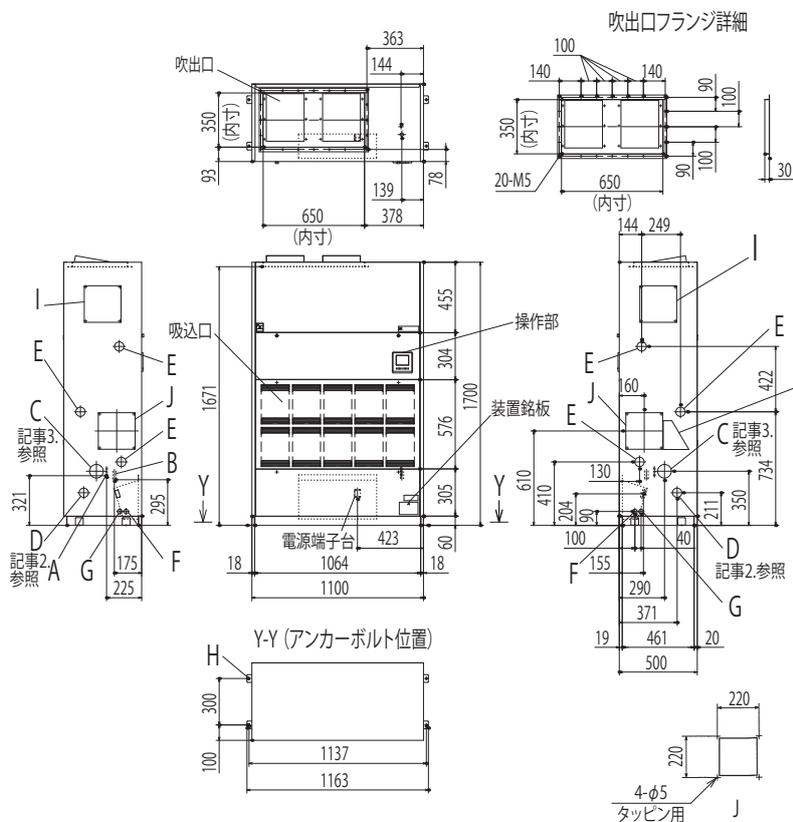
運転特性

区分	容量	P140	P224	P280
消費電力 (kW)		0.320/0.390	0.425/0.510	0.740/0.910
運転電流 (A)		2.60/2.20	2.70/2.45	5.00/4.25

※冷房・暖房とも同じ値です。

PAA002Z379/A

(3) FDASP2805TLX



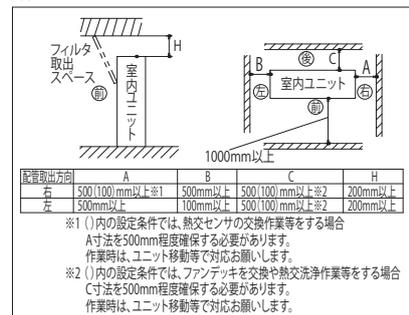
●記号説明

記号	内容
A	冷媒液配管接続口 (φ9.52, ろう付)
B	冷媒ガス配管接続口 (φ22.22, ろう付) ※
C	冷媒配管取出口
D	ドレン排水口 Rp1 (メス) (25A)
E	加湿器接続口
F	電源線取入口
G	信号線取入口
H	アンカーボルト用穴 M10用4か所
I	点検口 200X200
J	新鮮空気取入口 200X200
K	サービス点検口

※冷媒ガス管の付属配管取付時の接続位置は下図を参照してください。

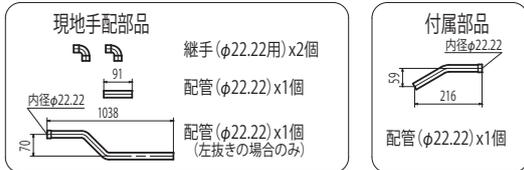
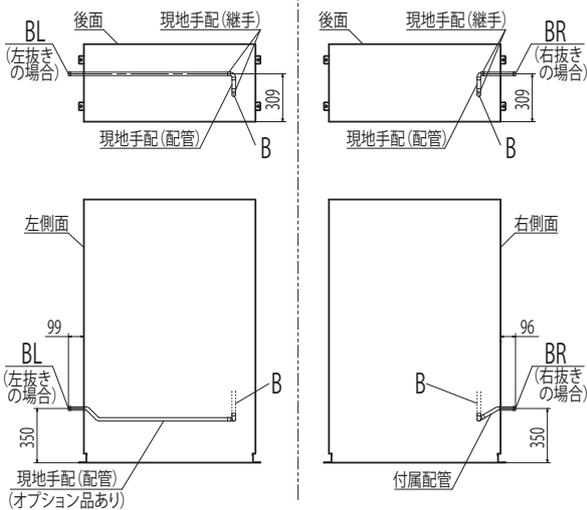
- 記事1. ユニットの重量に十分耐えられる場所に設置してください。
アンカーボルトを4個使用して室内ユニットの固定脚を必ず固定してください。
ボルトの寸法は20mmが最適です。
2. ドレン配管は、記号D (左右どちらか) のプラグを外し接続ください。
ドレントラップを100mm以上確保してください。
3. 冷媒配管は付属配管を用いて記号C (左右どちらか) より取出してください。

据付スペース



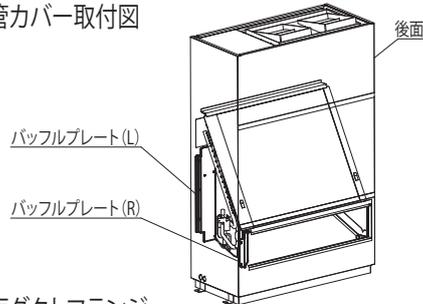
冷媒配管接続位置 (ガス管)

- ・左抜き: 現地手配 (継手, 配管)
- ・右抜き: 付属配管 + 現地手配 (継手, 配管)

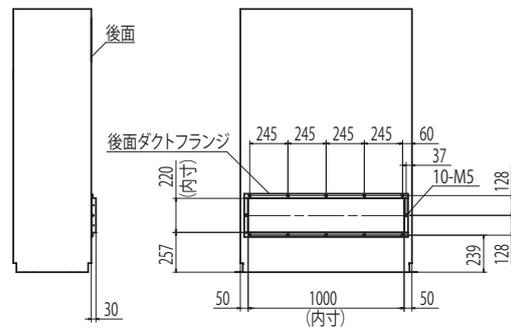


後吸込仕様時のオプション品

- ・配管カバー取付図



- ・後面ダクトフランジ

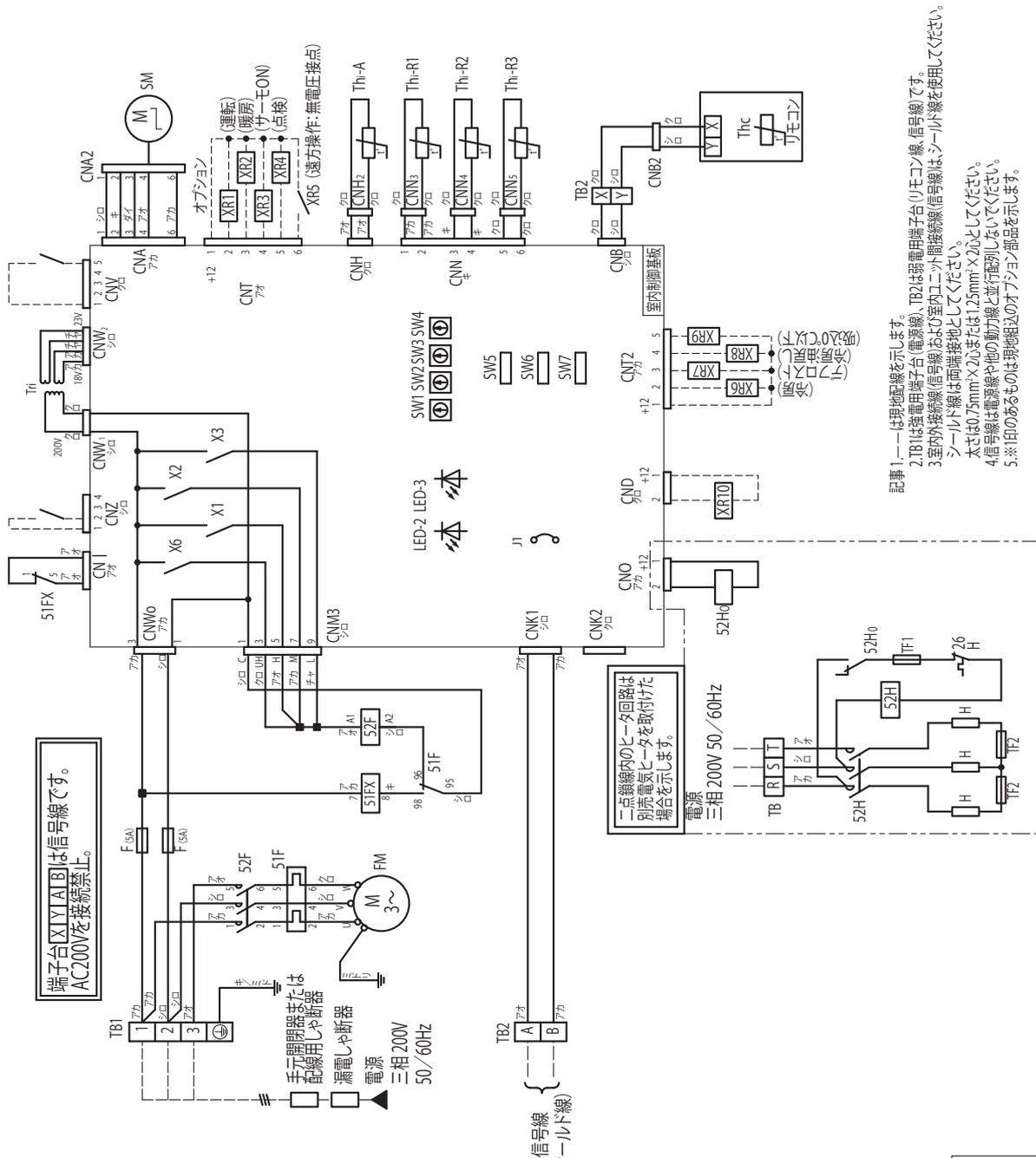


3. 電気配線図

(1) FDASP1405, 2245, 2805TLX

●記号説明

記号	名称	記事欄
CND	外気処理出力	
CNI	ファン異常入力	
CNO	ヒータ出力	
CNT	速力監視出力	
CNT2	運転警報出力	
CNV	サーモ設定点オプジョン入力	
CNZ	速力入力	
F	ヒューズ	
FM	ファンモータ	※1
H	ヒータエレメント	
J1	接続用基板との接続切替	
LED-2	表示灯 (緑:マイコン正常表示)	
LED-3	表示灯 (赤:点検表示)	
SM	ステッピングモータ (電子膨張弁用)	
SW1	室内アドレスNo.100の位	
SW2	室内アドレスNo.10の位	
SW3	室外アドレスNo.100の位	
SW4	室外アドレスNo.10の位	
SW5-1	室内ユニット親子組合せ	
SW5-2	室内アドレスNo.100の位	
SW6-1~4	機種設定	
SW7-1	運転エッジ試運転	
SW7-2	吸込サーモ切替ON	
SW7-3	吹出温度制御	
SW7-4	設備設定	※1
TB	端子台 (□印)	
TB1	端子台 (電源) (□印)	
TB2	端子台 (通信) (□印)	
TF1,2	H用ヒューズ	※1
Thc	リモコン付属サーミスタ	
Th-A	吸込変気温度センサ	
Th-R1	熱交温度センサ (赤・Uベンド)	
Th-R2	熱交温度センサ (黄・キャピラリー)	
Th-R3	熱交温度センサ (ガスヘッド)	
Tri	トランス	
X1~3,6	FM用リレー (PCB)	※1
XR1~10	オプジョン出力リレー	※1
■印	閉端接線子	
26H	バイメタルサーモ	※1
51F	FM用過電流継電器	
52F	FM用電磁接触器	
51FX	過電流用リレー (異常表示用)	
52H	H用電磁接触器	※1
52Ho	H用補助継電器	※1



記事1—は現地配線を示します。
 2.TB1は強電用端子台(電源線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、信号線)です。
 3.室内外接続線(信号線)および室内ユニット間接続線(信号線)は、シールド線を使用してください。
 4.信号線は電源線や他の動力線と平行配列しないでください。
 5.※1印のあるものは現地組込のオプジョン部品を示します。

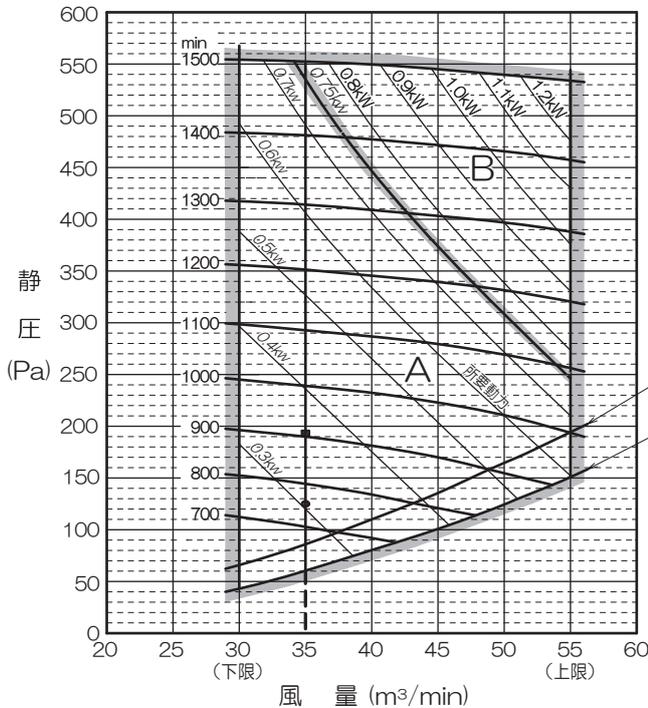
端子台[X1][A][B]は信号線です。
 AC200Vを接続禁止。

二点鎖線内のヒータ回路は
 別席電気ヒータを取付けた
 場合を示します。

4. 送風機特性

(1) FDASP1405TLX

A : 0.75kW標準電動機使用範囲
 B : 1.5kW電動機使用範囲
 出荷時回転数 ● … 50Hz (760min⁻¹)
 ■ … 60Hz (905min⁻¹)



●直吹き吹出空気到達距離

	50Hz	60Hz
標準風量(m³/min)	35	40
到達距離(m)	10	11

注(1) 到達距離は出荷時プーリ設定でオプション品の吹出チャンバーを設置した場合の値を示します。
 (2) 到達距離点での風速は0.5m/sです。

●仕様

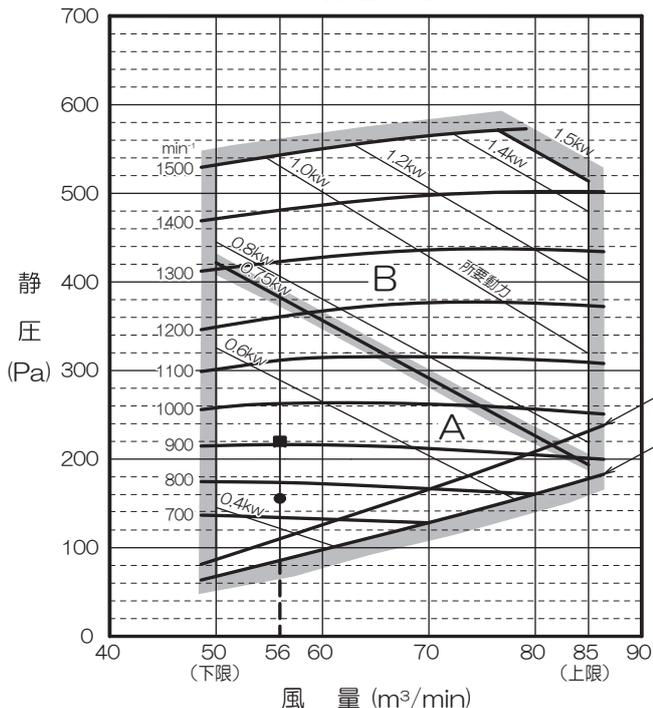
ファンプーリ有効径 φ160mm (軸径φ21)
 モータープーリ有効径 φ80mm (軸径φ19)
 Vベルトサイズ A28 レッドベルト×1本
 プーリ軸間距離 162mm

後吸込(前面塞ぎ)機内抵抗
 前吸込機内抵抗
 ■ で囲まれた内側が使用範囲となります。

PAA002Z376

(2) FDASP2245TLX

A : 0.75kW標準電動機使用範囲
 B : 1.5kW電動機使用範囲
 出荷時回転数 ● … 50Hz (760min⁻¹)
 ■ … 60Hz (905min⁻¹)



●直吹き吹出空気到達距離

	50Hz	60Hz
標準風量(m³/min)	60	69
到達距離(m)	14	17

注(1) 到達距離は出荷時プーリ設定でオプション品の吹出チャンバーを設置した場合の値を示します。
 (2) 到達距離点での風速は0.5m/sです。

●仕様

ファンプーリ有効径 φ160mm (軸径φ21)
 モータープーリ有効径 φ80mm (軸径φ19)
 Vベルトサイズ A28 レッドベルト×1本
 プーリ軸間距離 162mm

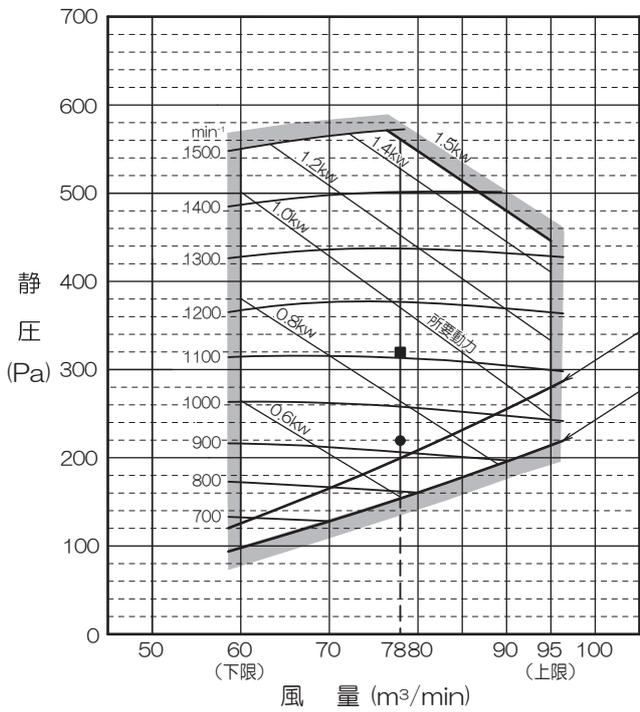
後吸込(前面塞ぎ)機内抵抗
 前吸込機内抵抗
 ■ で囲まれた内側が使用範囲となります。

PAA002Z377

(3) FDASP2805TLX

1.5kW標準電動機使用範囲

出荷時回転数 ● … 50Hz (915min⁻¹)
 ■ … 60Hz (1110min⁻¹)



●直吹き吹出空気到達距離

	50Hz	60Hz
標準風量(m ³ /min)	74	86
到達距離(m)	18	21

注(1) 到達距離は出荷時ブリー設定でオプション品の吹出チャンバーを設置した場合の値を示します。
 (2) 到達距離点での風速は0.5m/sです。

●仕様

ファンブリー有効径 φ125mm (軸径φ21)
 モータブリー有効径 φ75mm (軸径φ19)
 Vベルトサイズ A26 レッドベルト×1本
 ブリー軸間距離 171mm

後吸込 (前面塞ぎ) 機内抵抗

前吸込機内抵抗

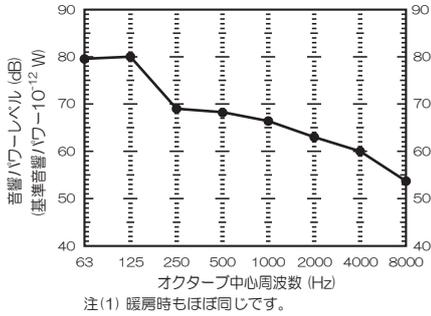
■ で囲まれた内側が使用範囲となります。

PAA002Z378

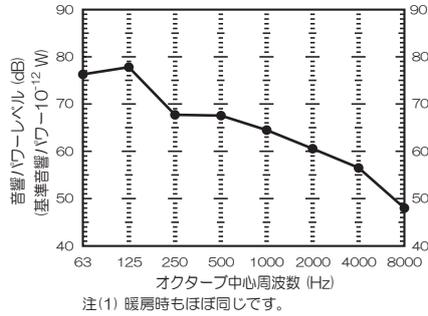
5. 運転音

注：実際据付後測定した場合、周囲の状況により本データと異なることがあります。
 運転音は、JIS Z 8736-2に基づく音響パワーレベルを示します。
 測定条件：JIS B 8616 定格冷房

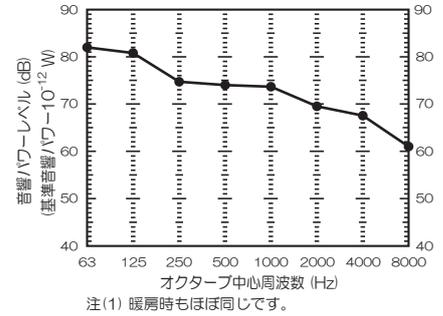
FDASP1405TLX



FDASP2245TLX

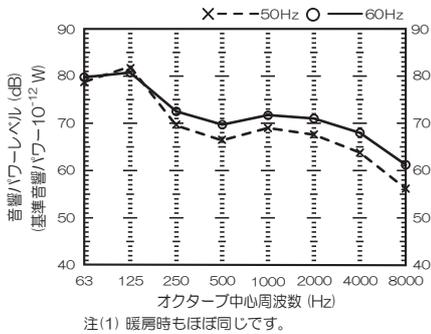


FDASP2805TLX

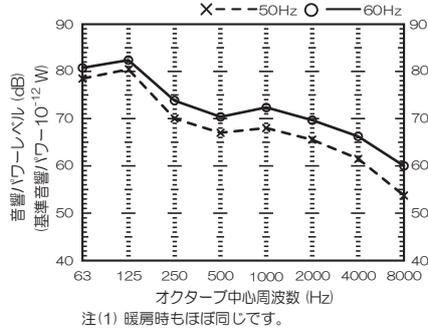


プレナムチャンバ取付の場合 (93ページ参照)

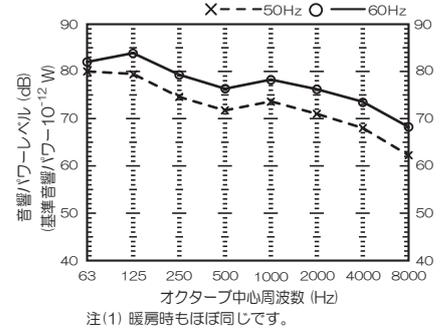
FDASP1405TLX



FDASP2245TLX



FDASP2805TLX

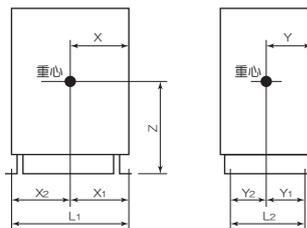


6. 防振設計用参考資料

(1) 耐震データ

機種	項目	製品外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	製品質量 (kg)	重心位置 (mm) ⁽¹⁾								
				幅方向				奥行方向				高さ
				X	X ₁	X ₂	L ₁	Y	Y ₁	Y ₂	L ₂	Z
FDASP1405TLX		800×500×1700	134	364	382.5	454.5	837	250	150	150	300	993
FDASP2245TLX		1100×500×1700	157	498	516.5	620.5	1137	250	150	150	300	996
FDASP2805TLX			167	484	502.5	634.5	1137	245	145	155	300	1011

注(1) L₁(X₁, X₂), L₂(Y₁, Y₂)寸法は据付ボルトの位置を示します。



(2) 防振データ

(50/60Hz)

機種	項目	送風機回転数 (min ⁻¹)
FDASP1405TLX		780 / 925
FDASP2245TLX		
FDASP2805TLX		930 / 1110

7. 据付関連事項

PAA012D026

(1) 室内ユニット

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載しています。
 室外ユニットの据付方法、電気配線（室外）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
 また、故障診断は、60ページ以降をご覧ください。本ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**△警告**、**△注意**、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に **△警告** の欄にまとめて記載しています。しかし、**△注意** の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 **⊘ 絶対に行わない** **⚠ 必ず指示に従い行う**
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
 据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠ 警告

- | | |
|--|---|
| ●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。 | ⚠ |
| ●据付工事は、据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。 | ⚠ |
| ●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。（JRA GL-13）
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。 | ⚠ |
| ●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。 | ⚠ |
| ●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。 | ⚠ |
| ●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度が不足している場合は、ユニットの落下・転倒などにより、ケガの原因になります。 | ⚠ |
| ●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。 | ⚠ |
| ●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外の空気などを入れない。
空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。 | ⊘ |
| ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。 | ⚠ |
| ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 | ⚠ |
| ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。 | ⚠ |
| ●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。 | ⚠ |
| ●配管、フレアナット、工具はR410A専用のものを使用する。
既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。 | ⚠ |
| ●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。
フレアナットの締付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。 | ⚠ |
| ●ドレン配管は硫黄系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。
室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。 | ⊘ |
| ●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。
冷媒配管を取付けておらず、操作弁の開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。 | ⚠ |
| ●ポンプダウン作業では、操作弁を閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。
圧縮機を運転したまま操作弁の開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。 | ⚠ |
| ●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。 | ⚠ |

⚠警告

- 改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。⊘
- エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。⚠
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。⚠
- パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。⊘
- 元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になります。⚠
- ユニット搬入する際、重量に適合したロープをユニット所定位置に掛けて行う。
搬入方法に不備があるとユニットが落下し、死亡や重傷の原因となります。⚠
- 電源接続部にはほこりの付着、詰まり、がたつきがないことを確認し、確実に接続する。
ほこりの付着、詰まり、がたつきがあると感電、火災の原因になります。⚠

⚠注意

- アース（接地）を確実にを行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。⚡
- 漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。⚠
- 正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。⚠
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。⊘
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。⊘
- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスがユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。⊘
- 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。⊘
- 工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。⚠
- 洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。⊘
- 食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。⊘
- 病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。⊘
- 直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。⊘
- 次の場所への据付は避ける。
 - ・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
 - ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
 - ・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
 - ・高周波を発生する機械を使用する所
 - ・海浜地区等塩分の多い所
 - ・煙突の煙がかかる所
 - ・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
 - ・車両・船舶等移動するものへの設置
 - ・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
 - ・積雪の多い所
 - ・標高1000m以上の所性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。⊘
- 次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
 - ・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
 - ・強度が不十分で振動が発生する所
 - ・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たらない所
 - ・高周波に影響される機器のある所（TVおよびラジオ等の近傍）
 - ・ドレンの排水がとれない所性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。⊘
- エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が80%以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じる場合があります。⊘

⚠注意

- 長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。 ⊘
- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。 !
- 冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になることがあります。 !
- ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に稼働していることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。 ⊘
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実にを行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。 !
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。 ⊘
- 製品の運搬は十分注意して行う。
20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手でフィンなどに触れるとケガをすることがありますので保護具をご使用ください。 !
- 梱包材の処理は確実にを行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。 !
- フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。 ⊘
- 濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。 ⊘
- 運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。 ⊘
- エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。 ⊘
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
電気ヒータ等のオプション品を接続する場合は、5分以上の残留運転をすることがありますので、付属の説明書に従ってください。 ⊘
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。 ⊘
- 空気清浄機、加湿器、暖房用電気ヒータなどの別売品は、必ず当社指定の製品を使用する。
また、取付工事は販売店または専門業者に依頼する。ご自身で工事され、不備があると、水漏れ、感電、火災の原因になります。 !
- 室外ユニットを屋上あるいは高所に設置する場合は、転落防止のため、通路には恒久ハシゴ、手すり等を、また室外ユニットの周囲にはフェンス、手すり等を設ける。 !
- 据付・点検・修理時に取り外したパネルは安定した場所に置く。
不安定な場所に置くと、落下・転倒などによる受傷の原因となります。 !
- ダクトまたはプレナムチャンバ（オプション）を接続して使用する。
吹出口から、ファンに巻き込まれによるケガの原因となります。 !
- 素手で梱包用の木材を扱わない。 ⊘
- 動植物に直接ファン吹き出し風が当たる場所には設置しない。
吹出風による植木等への被害の原因になります。 ⊘
- 室外ユニット・室内ユニットの上に物を置いて運転を行わない。
落下物により物が破損したり、ケガの原因となります。 ⊘
- 室外ユニット・室内ユニットの上に乗らない。
落下、転倒等によりケガの原因となります。 ⊘

①据付のまえに

▶据付は据付説明書に従って正しく行ってください。 ▶まず下記項目を確認してください。

●機種・電源仕様 ●配管・配線・小物部品 ●付属品

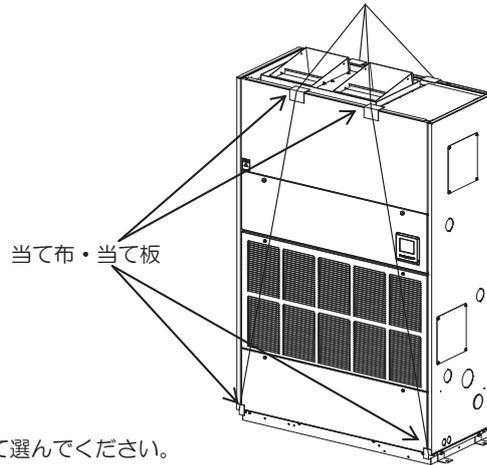
<付属品>

付属品はユニット内（ドレンパンの上）にあります。

1	据付説明書(本書)		1	3	保証書		1	5	クロメット(大)		1
2	取扱説明書		1	4	パイプ		1	6	クロメット(小)		2

②運搬・搬入

- 搬入経路を決めて、出来るだけ梱包状態のまま据付位置近くまで搬入してください。
- 吊り上げる場合は、梱包状態のままロープをかけるか、図のように当て板・当て布で室内ユニットを傷つけないよう保護し、2本ロープにてつりあげてください。
- ユニットとロープの接触面は当て板、当て布を添えて傷つかないようにしてください。



③据付場所の選定と据付

1. 据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

- 冷風または温風が十分に行きわたる所。
- 据付・サービス時の作業スペースが確保出来る所。
- ドレン排水が確実に出来る所。ドレン勾配のとれる所。
- 吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
- 浸入外気の影響のない所。
- 直射日光の当たらない所。
- 周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。

本ユニットはJIS露付条件にて試験を行い、問題のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高温多湿状態の状態とすると水滴が落下するおそれがあります。

そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニット本体の全ておよび配管、ドレン配管にさらに10~20mmの断熱材を取付けてください。

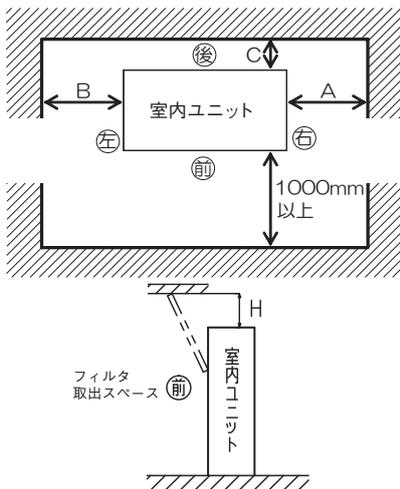
- テレビ、ラジオより1m以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
- 調理器具が発する熱の影響を受けない所。
- 油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
- ユニットの上に物を置かないようにしてください。

2. 据付けようとする場所はユニット重量に耐えることができ、水平な場所としてください。危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。

3. ユニットの水平に設置してください。（ベース面で左右の差は5mm以下。ドレン勾配を設けてください。）

4. 点検メンテナンスのためのスペースを確保してください。

(mm)



配管取出方向	A	B	C	H
左	500(100)以上※1	500 以上	500(100)以上※2	200 以上
右	500 以上	100 以上	500(100)以上※2	200 以上

※1 ()内の設定条件では、熱交センサの交換作業等をする場合、A寸法を500mm程度確保する必要があります。作業時は、ユニット移動等に対応をお願いいたします。

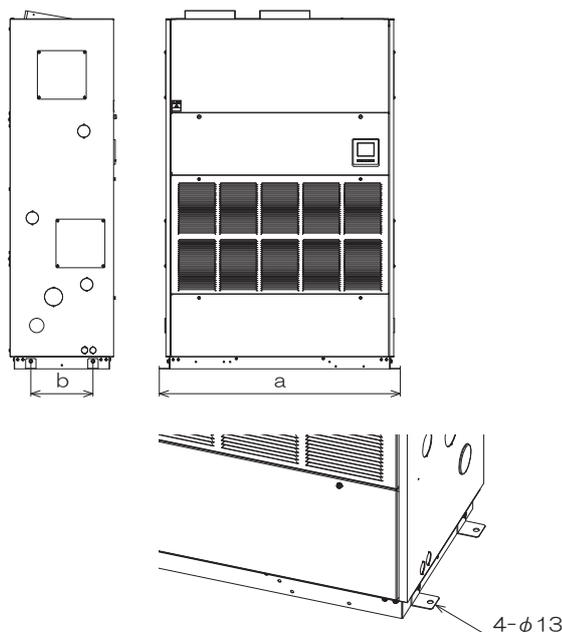
※2 ()内の設定条件では、ファンデッキの交換や熱交洗浄作業等によりリアパネルを取外す場合、C寸法を500mm程度確保する必要があります。

作業時は、ユニット移動等に対応をお願いいたします。

図は標準状態での必要スペースを示しています。後吸込みや外気取込みをする場合は、ダクト大きさに応じてスペースを確保してください。

5. 固定金具と床面を固定してください。
固定ボルトの位置は下図のようになってます。

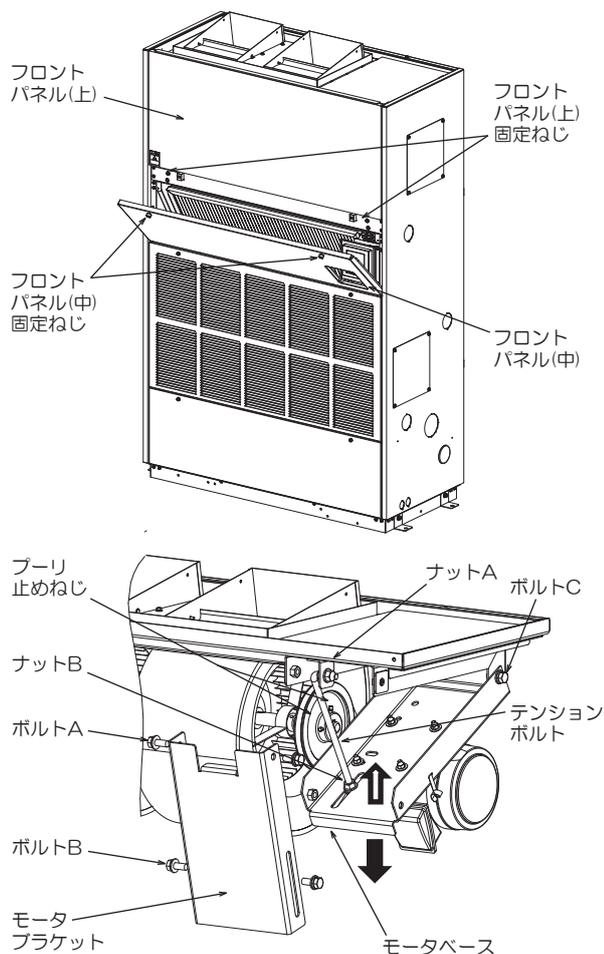
機種	(mm)	
	a	b
P140	837	300
P224, 280	1137	300



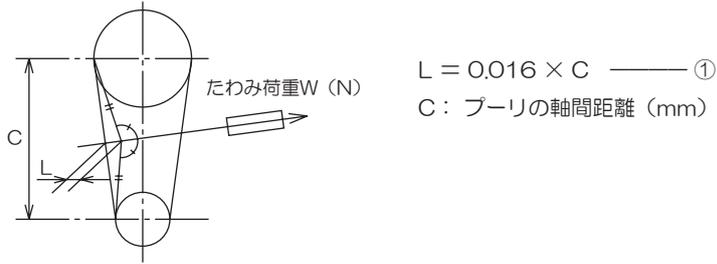
④プリー・ベルト交換要領

プリー・ベルトを交換することで風量・機外静圧を調整することが可能です。プリー・ベルトを変更する場合は以下の手順で変更してください。プリーは重量物ですので扱いに注意してください。なお、風量・機外静圧を変更した場合は、本体に変更後の値を記録してください。

1. フロントパネル(中)を開けてください。
2. フロントパネル(上)を外してください。
開いているフロントパネル(中)を一度閉めてください。
3. 工具の落下などにより、熱交換器を傷付けることを防止するため、十分に強度のある鉄板やベニヤ板などを熱交換器の上に置いてください。
4. ボルトA、Bをゆるめ、モータブラケットを外してください。
5. モータベースが可動できるよう、ボルトC、ナットAをゆるめてください。
6. ナットBをゆるめて、モータベースを上(⇨印)方向へ動かし、プリー間距離を縮めてベルトを取外してください。この際、プリー間距離を縮めずに、無理に棒などを差込んでベルトを取外すことはやめてください。
7. ファンプリー、モータプリーの止めねじをゆるめてプリーを取外してください。
8. 交換するプリーに付替えてください。
プリーの傾きは●プリーの傾きの項目に示す図のようにしてください。
止めねじは緩み止め剤を塗布の上、シャフトのキー・Dカット部で止めてください。
9. ベルトをかけ、ナットBを締めてモータベースを下(⇨印)方向へ動かしてベルトを張ります。
Vベルト1本当当たりの張力(張り具合)はたわみ量Lの値を①式にて計算し、その時のたわみ荷重が下表①の範囲となるようにセットしてください。
10. ボルトC、ナットAを締付けて固定した後、モータブラケットを取付けてボルトA、Bを締付けてください。



●ベルト張力は下記のようにしてください。

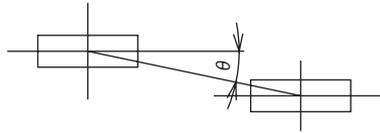


表①

ベルトはレッド仕様をご使用ください。

Vベルト種類	モータプーリ径 (mm)	新しいベルトを張るとき	張り直しを行うとき
		たわみ荷重W(N/本)	たわみ荷重W(N/本)
A形	65~80	16	11~14
	81~90	19	13~17
	91~105	23	16~20
	106~	26	19~24
B形	115~135	32	22~28
	136~160	38	26~33
	161~	41	28~36

●プーリの傾き
 プーリ同士の傾き（平行度、偏心度）は $\theta < 1/3^\circ$ 以下となるようにしてください。

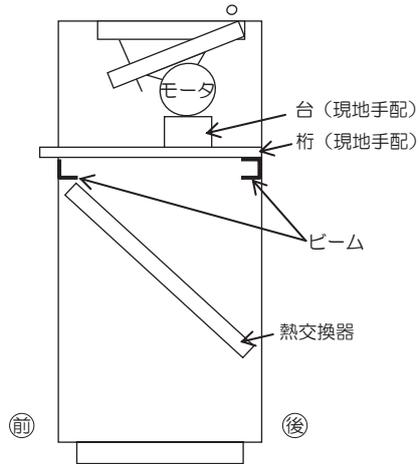


●モータの交換
 モータは重量物ですので扱いに注意してください。

モータ交換をする場合は、図のように室内ユニット前後にあるビームに桁をかけて、その上に台を置き、モータを支えて交換してください。

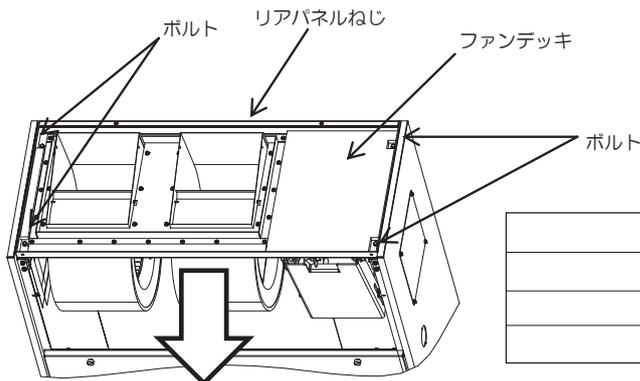
(参考)モータ重量

機種	重量
P140, P224	約13kg
P280	約23kg



●ファンの交換する場合は、ファンデッキを本体から取外して作業してください。ファンデッキを取外するには、上部ボルトとリアパネル上部のねじを取外する必要があります。

重量物のため扱いに注意し、二人以上で作業する。



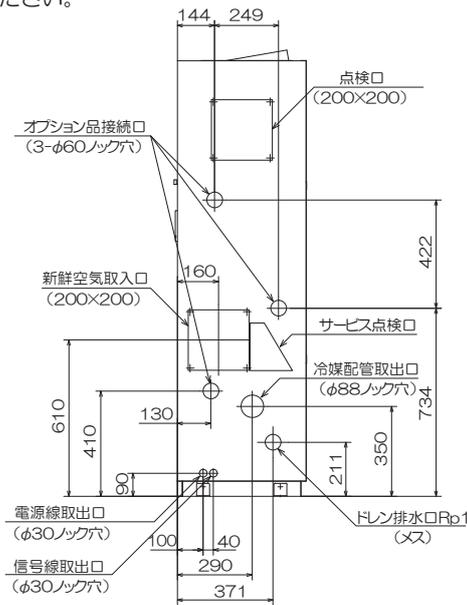
(参考)ファンデッキ重量

機種	重量
P140	約23kg
P224	約56kg
P280	約66kg

⑤冷媒配管工事

配管は下図に示す冷媒配管取出口より取出してください。

P140, P224, P280配管等接続穴位置



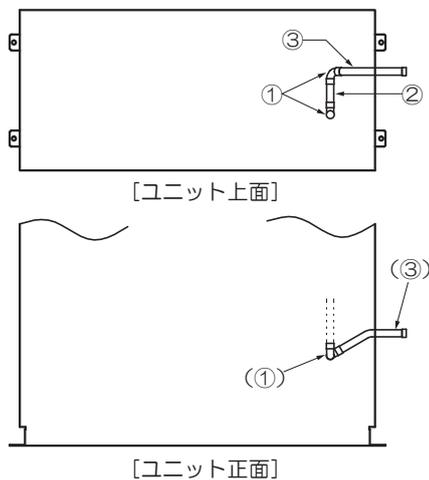
冷媒配管工事時の注意事項

- 配管は下記材質のものをご使用ください。(材質)リン脱酸銅継目無配管
φ15.88以下：C1220T, JIS H 3300、φ19.05以上：C1220T-1/2, JIS H 3300
- 配管の曲げは出来るだけ大きな半径(配管径の4倍以上)で行ってください。
- 配管の曲げ直しを何回も行わないでください。
- 配管は、ねじったり・つぶしたりしないでください。
- 配管内はゴミ・切粉・水分が混入しないように施工してください。
- 本機はR410Aを使用してください。
- 気密試験は室外ユニットの据付説明書に従い行ってください。
 1. エアフィルタを取外してください。ろう付の火炎が当たるとフィルタを溶かしてしまいます。
 2. ドレンパン・樹脂部品・断熱材・膨張弁にろう付の火炎が当たらぬよう、当て板などをして保護してください。
 3. ガス管・液管の管端部のつぶし配管を取外してください。
- 4. 付属と現地配管を使い、図のように接続してください。配管工事に必要となる現地配管の長さおよびサイズは表に従い準備してください。各継手と配管の接続はろう付にて行ってください。
 - 冷媒配管は室内ユニット内側が下りとなるよう勾配をつけてください。室内ユニット外側に下り勾配が付いていると、室内ユニット内部で発生した結露水が室内ユニット外側に漏れ出す原因となります。
 - ろう付は必ず窒素ガスを流しながら行ってください。窒素ガスを流さないと多量の異物(酸化皮膜)が生成され、キャピラリーチューブまたは膨張弁詰まりによる致命的故障の原因となります。

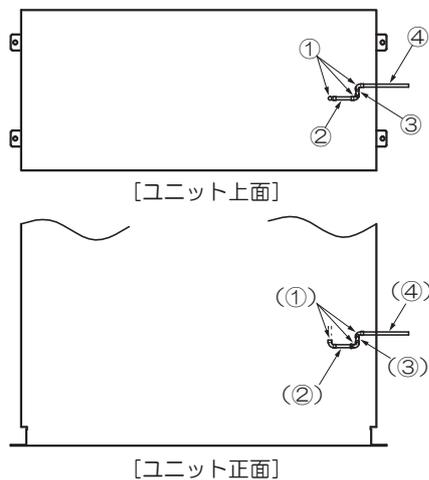
【右抜き配管の場合】

- 冷媒配管接続位置(点線部はユニット本体の配管を示します。)

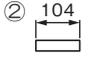
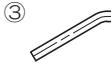
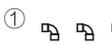
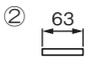
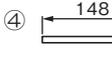
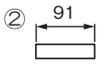
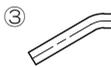
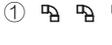
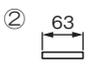
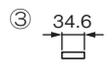
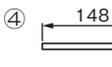
・ガス管



・液管



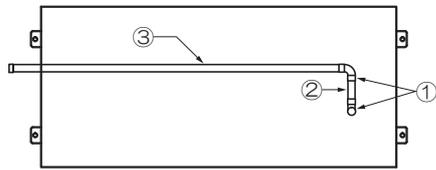
●現地手配配管および継手

	ガス管	液管
P140	①  継手(φ15.88用)×2個 ②  配管(φ15.88用)×1個 ③  【付属配管】	①  継手(φ9.52用)×3個 ②  ③  ④  配管(φ9.52用)×各1個
P224 P280	①  継手(φ22.22用)×2個 ②  配管(φ22.22用)×1個 ③  【付属配管】	①  継手(φ9.52用)×3個 ②  ③  ④  配管(φ9.52用)×各1個

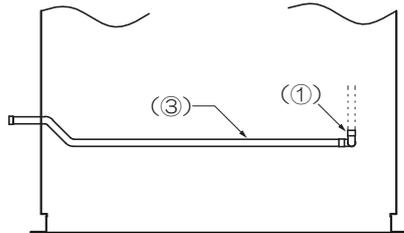
【左抜き配管の場合】

●冷媒配管接続位置（点線部はユニット本体の配管を示します。）

・ガス管

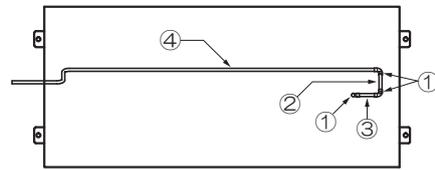


〔ユニット上面〕

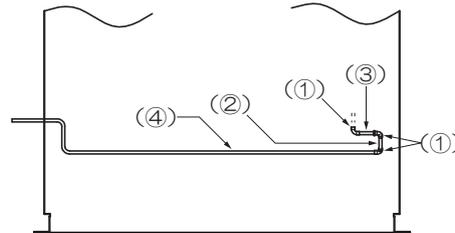


〔ユニット正面〕

・液管

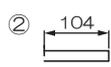
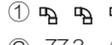
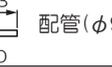
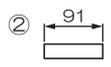
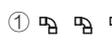
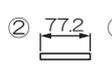
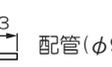
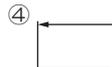


〔ユニット上面〕



〔ユニット正面〕

●現地手配配管および継手

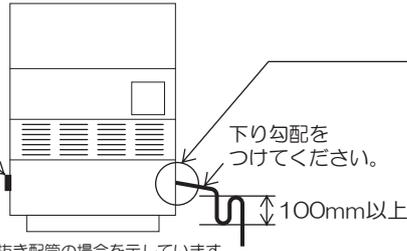
	ガス管	液管
P140	①  継手(φ15.88用)×2個 ②  配管(φ15.88用)×1個 ③  配管(φ15.88用)×1個 内径φ15.88	①  継手(φ9.52用)×3個 ②  ③  配管(φ9.52用)×各1個 ④  配管(φ9.52用)×1個 671.1, 107.3
P224 P280	①  継手(φ22.22用)×2個 ②  配管(φ22.22用)×1個 ③ P224: 内径φ19.05 P280: 内径φ22.22  配管(φ22.22用)×1個 70	①  継手(φ9.52用)×3個 ②  ③  配管(φ9.52用)×各1個 ④  配管(φ9.52用)×1個 971.1, 107.3

5. ガス側配管・液側配管ともに断熱を行ってください。断熱材厚さは20mm以上としてください。断熱はユニット内部の継手まで行ってください。

6. 配管取出部より埃・小動物の侵入を防ぐため、パテなど（現地手配）で配管取出口の隙間を埋めてください。

⑥ドレン配管工事

ドレン配管を取り出さない側の塞ぎプラグ表面を断熱し、その後外板穴にグロメットを取付けてください。



図は右抜き配管の場合を示しています。

- ドレン配管は必ず断熱してください。断熱は室内ユニット内のドレンパン側面のソケット部まで行ってください。配管工事に不備があると、水を漏らし家財等を濡らす原因となります。
- ドレン配管を接続する場合、室内ユニット側の配管に力を加えないように注意して行い、出来る限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。
- ドレン配管は、室内ユニット外側に下り勾配（1/50～1/100）とし、100mm以上の水封が作れるトラップを設けてください。（臭気止め、逆流防止の為）
- ドレン配管を取り出さない側の塞ぎプラグ表面を断熱してください。その後、外板穴にグロメットを取付けてください。
- 配管施工後、排水が良好に行われていることと、水漏れのないことをご確認ください。
- ドレン配管の出口は臭気の発生する恐れのない場所に施工してください。
- ドレンパンは定期的に清掃してください。
- ドレン配管サイズは途中で細くしないでください。またドレン配管が集合する場合は十分な大きさとしてください。

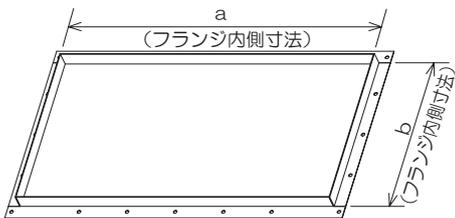
⚠ 警告

ドレン配管は、硫黄系ガス等有害ガスおよび可燃性ガスの発生する排水溝に直接入れない。室内に有害ガスおよび可燃性ガスが侵入する恐れがあります。

⑦ダクト工事

1. ダクト接続

- 図に示すダクトフランジが室内ユニット上部に取付けられています。接続するダクトに合わせて、側面に穴をあけて接続してください。
- 室内ユニットとダクト、ダクトのサポート等は必要に応じて防振キャンバス、防振ゴム等により接続・支持し振動の伝播および騒音の増幅等にならないよう施工してください。
- ダクト接続後、ダクトフランジが露出している部分は断熱を施してください。



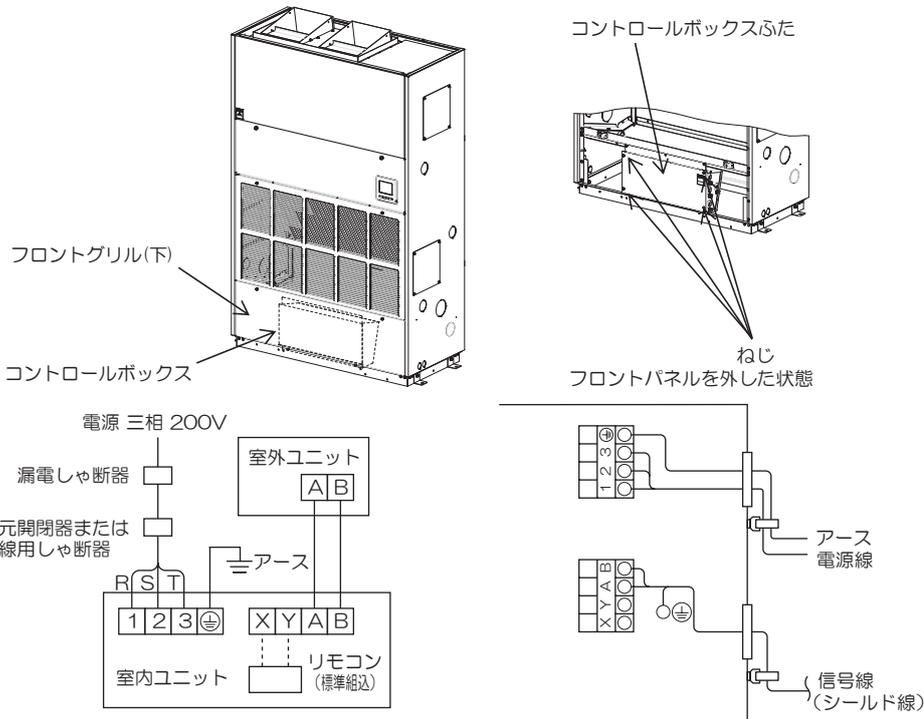
機種	a	b
P140	350	350
P224, 280	650	350

⑧電気配線工事

- 電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
 - 1) 電線は銅線以外のものを使用しないでください。
 - 2) 電源は、室外ユニット・室内ユニットそれぞれ別電源とし、専用回路かつ定格の電圧を使用してください。
 - 3) 電気ヒータ（別売品）は含んでおりません。
 - 注）電気ヒータを組込場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますのでご注意ください。詳細は、電気ヒータの据付説明書をご覧ください。
 - 4) 信号線用端子台に電源線を接続しないでください。電源線の接続を間違えて接続しますと、基板が焼損してしまいます。

① 電源・室内外接続線

コントロールボックスはインレットグリルを外したユニット下部にあります。
 コントロールボックスはフロントパネル（下）を外したユニット下部にあります。
 コントロールボックスのふたを外し、電源線・アース・信号線を接続してください。
 電源線・アース・信号線を接続する際は、必ずコントロールボックスに装着されたバンドに通してください。



電源仕様

室内ユニット	漏電しゃ断器（地落、過負荷、短絡保護兼用）			ヒューズ付開閉器（A）		配線用しゃ断器（A）
	定格電流（A）	感度電流（mA）	動作時間（sec）	開閉器容量	過電流しゃ断器（B種ヒューズ容量）	
P140, P224, P280	15	30	0.1以下	15	15	15

- 漏電しゃ断器を使用する場合は、地落・過負荷・短絡保護兼用タイプを使用してください。
- 地落保護専用のものを選定する場合は、ヒューズ付き開閉器または配線用しゃ断器を組合わせて使用してください。

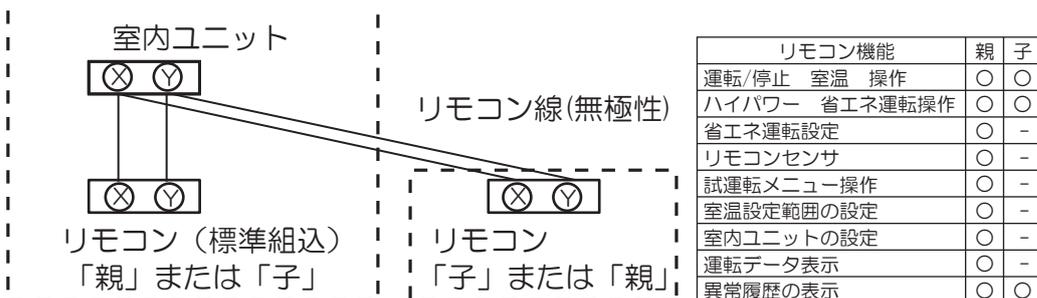
配線仕様

室内ユニット	電源用配線太さ（mm ² ）	配線こう長（m）	信号線太さ（mm ² ）	アース線太さ（mm ² ）
標準タイプ	2.0	38	0.75または1.25×2本（シールド線）	2.0
P140, P224				
P280	2.0	21		2.0

- 電気配線は、電源配線接続口より電源線を、連絡線接続口より信号線を取り出してください。
- 外板貫通部は、配線保護と埃・小動物の侵入を防ぐため、付属のゴム製グロメットを取付けてください。グロメットはカッターナイフ等で切込を入れて配線を通してください。

② リモコン

室内ユニット1台または1グループに対して最大2個までのリモコンを接続できます。
 片側が親リモコン、反対側が子リモコンになります。リモコンは、親・子で操作できる範囲が異なります。



電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。
 親子入力画面を表示し、[親][子]どちらかをタッチしてください。
 ecoタッチリモコン2個を親子接続する場合は、1個目を[親]で設定開始すると2個目は自動で[子]になります。
 詳細は技術資料を参照してください。

③ アドレス設定

アドレス設定は、(1) 手動アドレス設定、(2) 自動アドレス設定の2つの方法が可能です。自動アドレス設定の場合、アドレス設定後、ワイヤードリモコンからアドレスの変更が可能です。設定方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

⑨ 制御の切換

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。

スイッチNo.	制御内容	
SW1, SW2	室内アドレス(10位)、室内アドレス(1位)	
SW3, SW4	室外アドレス(10位)、室外アドレス(1位)	
SW5-1	ON	旧SL通信仕様固定
	OFF	新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW5-2	室内アドレス(100位)	
SW6-1～4	機種容量	

⑩ 注意点

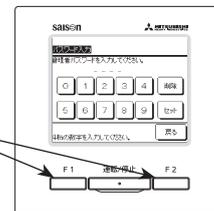
電源ON後1回目の冷房運転時の注意点

電源ON後の1回目の冷房時に、保護制御により室内ファンが停止する事がありますが、そのまま運転を続けてください。保護制御完了後(数十秒～数分)にファンが回ります。

お知らせ パスワード初期化

管理者パスワード(日常使用する項目設定用)とサービスパスワード(据付・試運転・メンテナンス用)があります。

- 管理者パスワード初期値は、0000です。設定変更ができます(取扱説書参照)。
管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワード入力画面で[F1] [F2] ボタンを同時に5秒長押しするとパスワードは初期化されます。
- サービスパスワードは、9999です。設定変更はできません。
管理者パスワード入力の時、サービスパスワードでも受け付けられます。



電気ヒータの取付に際して

●消防署への届出について

お願い 本機が下記のいずれかに該当するような場合、電気ヒータの取付を計画されるお客様は、あらかじめその旨所轄消防署長に届け出て審査を受けなければならないよう各市町村の火災予防条例で決められています。所轄の消防署にご相談され所定の手続きをしてください。

□届け出の必要な場合

1. 風道(ダクト)を使用する場合。
2. 劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場、カフェー、キャバレー、ナイトクラブ、遊技場、ダンスホールなどで使用する場合。
3. 最大消費熱量が69.8kW以上になる場合。

(注) 上記「届け出の必要な場合」は、各市町村の火災予防条例により異なる場合がありますので、所轄の消防署にお問い合わせください。

●電気ヒータについてのお願い

電気ヒータ用ヒューズが働いた場合は、必ずお買い上げの販売店に点検整備をご依頼ください。電気ヒータ用ヒューズは、万一の異常時に火災等の災害を防止する重要な保護装置です。

(2) リモコンの設定方法

1. 電源投入初期設定

電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。

- ・親子が設定されていない場合⇒(1)
- ・親子が設定されている場合 ⇒(2)

(1) 親子が設定されていない場合

①⇒②親子入力画面を表示します。

枠で囲まれた **親** **子** どちらかをタッチしてください。初期設定作業を開始します。

誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。(3. リモコン機能設定④)

室内ユニット1台または、1グループに、2個のecoタッチリモコンが接続されている場合、1個目を **親** で設定開始すると2個目は自動で **子** になります。

①スタート画面

リモコンバージョン: 0000-000
プログラムID: 000

②親子設定入力画面

親、どちらかを設定して下さい。

親

子

ご注意

リモコン1台の場合は、**親** をタッチしてください。
初期状態では、どちらか選択されるまで、待ち続けます。

親 を選択した場合 ③⇒④⇒⑤の順で画面が遷移します。

子 を選択した場合 ①⇒⑧⇒⑤の順で画面が遷移します。

③室内機検索中

室内機検索中

50 %

④室内機情報取得中

室内機情報取得中

終了目安: 約 1230秒

⑤ TOP 画面

16:14 (月)

メニュー

冷房

設定温度

風向

23.0℃

タイマー設定

風速

停止しています。

F1: ハイパワー運転

F2: 省エネ運転

通信が10分間確定しない場合、
赤LEDが点滅します。

(2) リモコンの親子設定がされている場合

⑥設定継続確認画面

電源立上げ前の設定を
継続しますか?

はい

いいえ

⑦初期化確認画面

リモコンの設定を全て
初期化しますか?

はい

いいえ

⑧初期設定中画面

リモコン初期設定中

はい ⑧⇒⑤の順で画面が遷移します。

いいえ ⑦に画面が遷移します。
表示が15秒間タッチされない場合は **はい** を認識して⑤画面に変わります。

はい ①⇒②の順で画面が遷移します。

いいえ ⑥に画面が遷移します。
初期化すると出荷状態に戻ります。

2. 据付設定 試運転

TOP画面 **メニュー** ⇒ **サービス設定** ⇒ **据付設定** ⇒ **サービスパスワード**

①据付設定メニュー# 1

据付設定

据付日登録 ◀③

サービス情報入力 ◀④

試運転 ◀⑦

ダクト機静圧補正 ◀⑪

自動アドレス変更 ◀⑫

次ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

②据付設定メニュー# 2

据付設定

親室内機アドレス設定 ◀⑭

バックアップ制御 ◀⑮

赤外線センサー設定 ◀⑱

グリル昇降操作 ◀⑲

前ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

③据付日登録

据付日登録

▲ ▲ ▲

年 月 日

2010 / 1 / 1

▼ ▼ ▼

年月日を設定してください。 セット 戻る

▲ ▼ で設定してください。
セット で登録されます。

④サービス情報入力

サービス情報入力

連絡先名 ◀⑤

連絡先TEL ◀⑥

戻る

操作を選択してください。

お客様がサービスを依頼される際の連絡先を入力してください。

⑤連絡先名登録

連絡先名 セット

数字 英字 キリリル

カナ 漢字 漢字

A	B	C	D	E	F	G	H	I
J	K	L	M	N	O	P	Q	R

削除 次 戻る

名称を入力してください。

連絡先名を半角 26 文字相当以内で入力し、**セット** ボタンをタッチしてください。数字、英字、カナ、漢字、キリル文字、中国文字での入力ができます。

⑥連絡先 TEL 登録

連絡先TEL

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - 削除 セット

電話番号を入力してください。 戻る

連絡先電話番号を 13 文字以内で入力し、**セット** ボタンをタッチしてください。

⑦試運転

試運転

冷房試運転 ◀⑧

ドレンポンプ試運転 ◀⑨

周波数固定運転

お掃除試運転 ◀⑩

戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑧冷房試運転

冷房試運転

開始

開始をタッチすると
冷房5℃で30分間試運転します。
30分経過及び、TOP画面で運転/停止、
運転モード、設定温度を変更すると
試運転を終了します。

戻る

冷房の停止中に操作可能です。室温が低く冷房試運転ができない場合、室温設定を 30 分間 5℃に下げて運転します。

⑨ドレンポンプ試運転

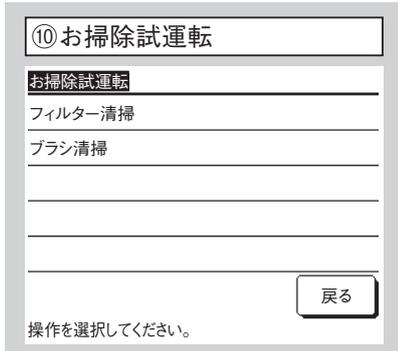
ドレンポンプ試運転

運転 停止

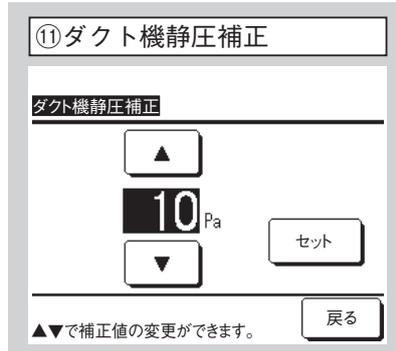
操作を選択してください。 戻る

ドレンポンプのみで運転が可能です。(本ユニットでは設定できません。)

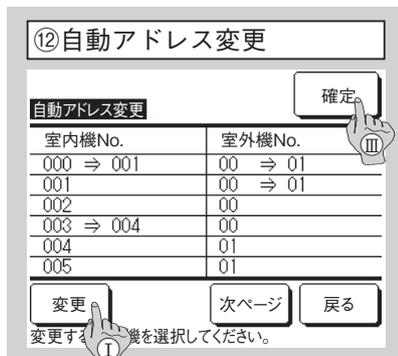
2. 据付設定 試運転 (つづき)



FDT お掃除パネルを組合せる場合に操作できます。
詳細は、お掃除パネルの説明書をご覧ください。



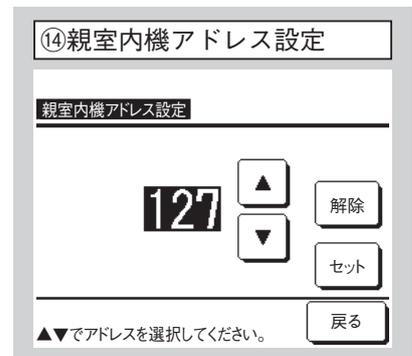
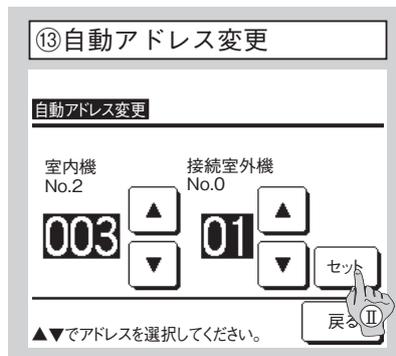
機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニットを組合せる場合に操作できます。機外静圧を選択し、**セット** ボタンをタッチしてください。



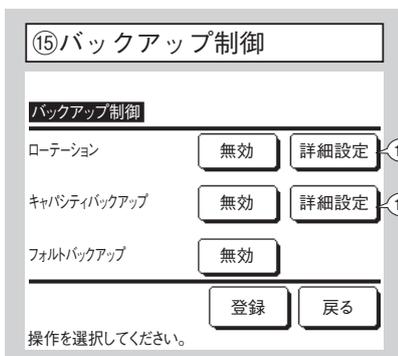
個別発停マルチシリーズで使用の際に自動アドレス設定で登録されている場合に操作できます。

室内ユニット毎の室内外アドレスを変更するための機能です。室内ユニットを選択して

- ① **変更** をタッチすると⑬に画面が遷移します。
- ② **セット** をタッチすると⑫に画面が遷移し、新アドレスが表示されます。
- ③ **確定** をタッチすると登録されます。



個別発停マルチシリーズで親室内ユニットのみ、冷房・暖房運転モードの選択を許可します。子とする室内ユニットに対し、親室内機アドレスを設定します。親室内機アドレスが設定された子室内ユニットは、親室内ユニットの設定に追従します。

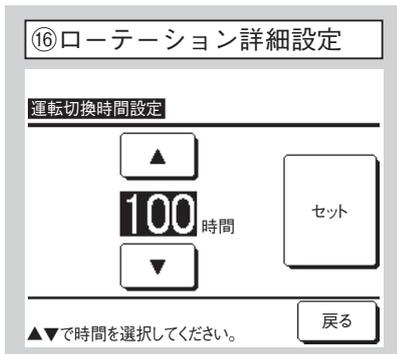


1台のリモコンに室内ユニット2台(2グループ)が接続されている時に、以下の制御が可能です。

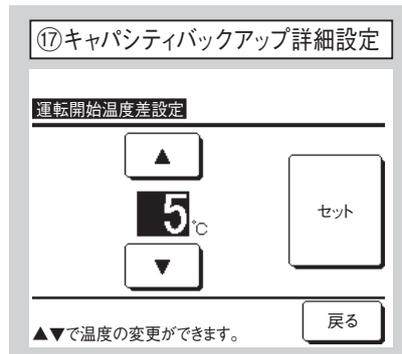
1. ローテーション：2台の室内ユニットが設定した時間毎に、交互に運転します。
2. キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を1台⇔2台へ切替えます。
3. フォルトバックアップ：室内ユニット2台中1台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう1台の室内ユニットが運転を開始します。

有効 / **無効** を選択し (**無効** をタッチすると **有効** に変わります。)、**登録** ボタンをタッチすると、設定内容が確定します。

2. 据付設定 試運転（つづき）



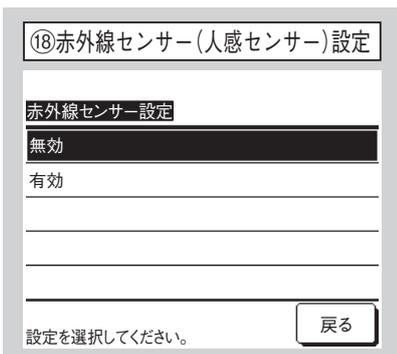
ローテーションの運転を切替える時間を設定します。
10～990時間の間で10時間刻みで設定可能です。
時間切換え後、「セット」で仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って「登録」をタッチしてください。



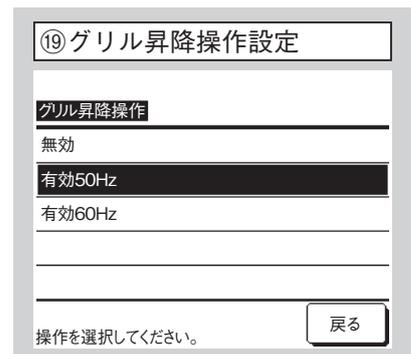
キャパシティバックアップの1台⇔2台を切替える設定温度と室温の温度差を設定します。
2～5°Cの間で1°C刻みで設定可能です。温度切換え後、「セット」で仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って「登録」をタッチしてください。

バックアップ制御の制約条件

1. 運転モードが「自動」の場合、バックアップ制御はできません。運転モードが「自動」に設定された空調機にバックアップ制御を設定すると、運転モードは自動的に「冷房」モードに切り替わります。
2. ローテーション制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。ローテーション運転を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
3. キャパシティバックアップ制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。キャパシティバックアップ制御を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
4. フォルトバックアップ制御を単独で有効に設定することも可能です。
5. るす番運転、ウォームアップ設定、外部入力設定は、バックアップ制御と同時に設定することはできません。
6. ローテーション運転制御または、フォルトバックアップ制御設定時には、設定対象となっている室内機2台（2グループ）の内、どちらか一方のみが運転します。両方同時に運転することはありません。
7. いずれの制御も、室内アドレスの若い室内ユニットが先に運転開始します。



リモコンに接続されている室内ユニットの赤外線センサーの「有効」/「無効」かを選択します。



ラクリーナパネルを組合せる場合は、据付場所電源周波数をタッチしてください。

- ・ 人感センサーを採用のお客様は上記の設定を行ってください。人の活動量を検知させたい室内ユニットを有効にしてください。赤外線センサー（人感センサー）設定が無効の場合には、人の活動量を検知しないため赤外線センサー制御（パワーセーブ、オートオフ）を行いません。
- ・ 4形以前の室内ユニットは、赤外線センサー（人感センサー）設定を有効にできません。赤外線センサー（人感センサー）設定をタッチとすると、「操作無効です」と表示されます。

ラクリーナパネルを採用のお客様は、上記の設定を行ってください。

3. リモコン機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード]

① リモコン設定メニュー # 1

リモコン設定	
リモコン親子設定	④
吸込センサー制御	⑤
リモコンセンサー	⑥
リモコンセンサー補正	⑨
運転モード選択	⑫
[次ページ] [戻る]	

操作を選択してください。

② リモコン設定メニュー # 2

リモコン設定	
温度設定単位	⑬
ファン速度	⑭
外部入力設定	⑮
上下ルーバ制御	⑯
左右ルーバ制御	⑰
[前ページ] [次ページ] [戻る]	

操作を選択してください。

③ リモコン設定メニュー # 3

リモコン設定	
換気設定	⑱
停電補償	⑲
設定温度自動設定	⑳
風量自動設定	㉑
[前ページ] [戻る]	

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

④ リモコン親子設定

リモコン親子設定	
親	
子	
[戻る]	

操作を選択してください。

リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。

⑤ 吸込センサー制御

吸込センサー制御	
個別	
親機	
平均	
[戻る]	

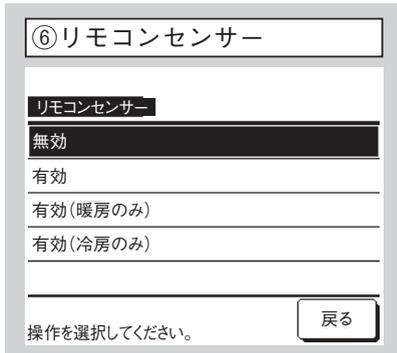
操作を選択してください。

室内ユニットの吸込センサーの検知温度によりサーモ判定を行います。

1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。

1. **個別**：各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。プルーラル接続されている場合はプルーラル親機の吸込温度を基準とします。
2. **親機**：接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。
1台のリモコンに、プルーラル接続が複数接続されている場合は、プルーラル親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。
3. **平均**：接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

3. リモコン機能設定 (つづき)



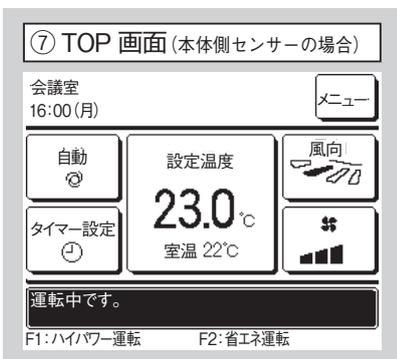
室内ユニット本体吸込センサーをリモコン側に変更できます。

無効 室温表示は、本体側センサーになります。⇒ ⑦

有効 室温表示は、リモコン側センサーになります。⇒ ⑧

有効(暖房のみ) 室温表示は、暖房中のみリモコン側センサーになります。

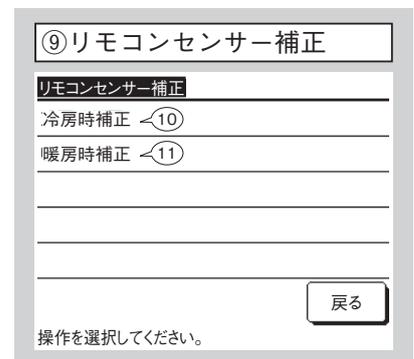
有効(冷房のみ) 室温表示は、暖房以外で運転中にリモコン側センサーになります。



リモコンセンサー無効時は、TOP画面で“室温○℃”と表示されます。



リモコンセンサー有効時は、TOP画面で“室温(リモコン) ○℃”と表示されます。



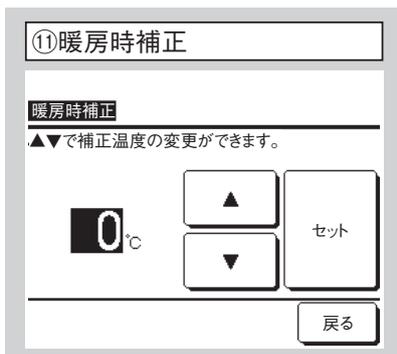
リモコンセンサー検知温度の補正ができます。

冷房時補正 ⇒ ⑩

暖房時補正 ⇒ ⑪



冷房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。
-3～+3の範囲で設定します。



暖房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。
-3～+3の範囲で設定します。



各運転モード毎に**有効**・**無効**を設定可能です。

冷房または暖房を無効にした場合、自動も無効になります。

3. リモコン機能設定 (つづき)

⑬ 温度設定単位

温度設定単位

°C

°F

操作を選択してください。

設定温度の単位を設定します。

⑭ ファン速度

ファン速度

4速

3速

2速(急-弱)

2速(急-強)

1速

操作を選択してください。

ファン速度選択の変更が可能です。室内ユニットにより対応できない場合があります。(本ユニットでは設定できません。)

⑮ 外部入力方式

外部入力設定

個別

全台

操作を選択してください。

1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、運転/停止に対してCnTの入力の適用範囲を設定できます。

個別 CnT入力された室内ユニットのみに適用されます。

全台 リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。

⑯ 上下ルーバ制御

上下ルーバ制御

4位置停止

フリー停止

操作を選択してください。

4位置停止 上下吹出ルーバを4段階で設定可能。

フリー停止 リモコンスイッチ操作直後の位置に停止します。

⑰ 左右ルーバ制御

左右ルーバ制御

固定位置停止

フリー停止

操作を選択してください。

固定位置停止 左右吹出ルーバを8パターンで設定可能。

フリー停止 リモコンスイッチ操作直後の位置に停止します。

⑱ 換気設定

換気設定

無効

連動

単独操作

操作を選択してください。

換気機器組合せの設定ができます。

無効 接続無し。

連動 エアコン運転/停止に連動し、換気出力(CnT)に出力します。

単独操作 メニューから換気を選択により換気単独で運転/停止出力を行います。

⑲ 停電補償

停電補償

有効

無効

操作を選択してください。

運転中に停電した場合、

有効 停電復旧(電源投入後の制御終了)しだい、停電前の状態に戻ります。

無効 停電復旧後、停止します。

⑳ 設定温度自動設定

設定温度自動設定

有効

無効

操作を選択してください。

有効 室温設定画面から自動の選択が可能になります。

無効 室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

㉑ 風量自動設定

風量自動設定

有効

無効

操作を選択してください。

有効 風量設定画面から自動の選択が可能になります。

無効 風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。(本ユニットでは設定できません。)

4. 室内機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP画面 ⇒ ⇒ ⇒

①室内機選択

室内機選択

000	001	002	003
004	005	006	007

全台

室内機No.を選択してください。

②室内機選択 2

室内機選択

008	009	010	011
012	013	014	015

全台

室内機No.を選択してください。

③データ読込中

データ読込中です。しばらくお待ちください。



複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。
～ 各室内ユニット毎に個別設定されます。
 全台同一設定されます。

室内ユニットからデータ受信後に
 ④に画面が切り替わります

④室内設定メニュー # 1

室内設定

- 風速設定
- フィルターサイン
- 外部入力1設定
- 外部入力1方式切換
- 外部入力2設定

操作を選択してください。

⑤室内設定メニュー # 2

室内設定

- 外部入力2方式切換
- 暖房室温補正
- 吸込温度補正
- 冷房ファン制御
- 暖房ファン制御

操作を選択してください。

⑥室内設定メニュー # 3

室内設定

- フロスト防止温度
- フロスト防止制御
- ドレンポンプ運転
- 冷房ファン残留運転
- 暖房ファン残留運転

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑦室内設定メニュー # 4

室内設定

- 暖房ファン間欠
- 送風サーモ運転
- 外調機設定
- 運転モード自動設定
- サーモ判定切換

操作を選択してください。

⑧室内設定メニュー # 5

室内設定

- 風量自動切換
- 室内過負荷アラーム
- 外部出力設定

操作を選択してください。

⑨風速設定

風速設定

標準

設定1

設定2

操作を選択してください。

室内ユニットの風速設定を設定します。(本ユニットでは設定できません。)

⑩フィルターサイン

フィルターサイン

表示なし

設定1

設定2

設定3

設定4

操作を選択してください。

フィルターサイン点灯時間を設定します。

	標準	FDTお掃除
表示なし	無し	無し
設定 1	180Hr	1,000Hr
設定 2	600Hr	2,000Hr
設定 3	1,000Hr	2,500Hr
設定 4	1,000Hr後 運転停止	2,500Hr後 運転停止

4. 室内機能設定 (つづき)

⑪外部入力 1 設定 #1

外部入力1設定

運転/停止

許可/禁止

冷房/暖房

緊急停止

設定温度シフト

操作を選択してください。

室内ユニット CnT 入力時の制御を設定します。

⑫外部入力 1 設定 #2

外部入力1設定

強制サーモOFF

一時停止

サイレントモード

操作を選択してください。

⑬外部入力 1 方式

外部入力1方式切換

レベル入力

パルス入力

操作を選択してください。

室内ユニットCnTへの入力信号方式を設定します。

外部入力 2 を装備している室内ユニットと組合わせた場合に操作できます。

⑭外部入力 2 設定 #1

外部入力2設定

運転/停止

許可/禁止

冷房/暖房

緊急停止

設定温度シフト

操作を選択してください。

⑮外部入力 2 設定 #2

外部入力2設定

強制サーモOFF

一時停止

サイレントモード

操作を選択してください。

⑯外部入力 2 方式

外部入力2方式切換

レベル入力

パルス入力

操作を選択してください。

⑰暖房室温補正

暖房室温補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+2.0℃

暖房サーモ判定温度を補正します。
0℃ / +1℃ / +2℃ / +3℃

⑱吸込温度補正

吸込温度補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+1.5℃

本体吸込センサー検知温度を補正します。
-2℃ / -1.5℃ / -1℃ / 0℃ / +1℃ / +1.5℃ / +2℃

⑲冷房ファン制御

冷房ファン制御

弱風

設定風量

間欠

停止

操作を選択してください。

冷房サーモ OFF 中のファン速度設定
弱風 弱風運転
設定風量 サーモ ON 中と同風量
間欠 2分Lo (ULo) 運転 / 5分停止
停止 停止

4. 室内機能設定 (つづき)

⑩暖房ファン制御

暖房ファン制御

弱風

設定風量

間欠

停止

操作を選択してください。

暖房サーモ OFF 中のファン速度を設定します。

弱風 弱風運転

設定風量 サーモ ON 中と同風量

間欠 2分 Lo(ULo) 運転 / 5分停止

停止 停止

⑪フロスト防止温度

フロスト防止温度

温度 低

温度 高

操作を選択してください。

フロスト防止制御温度の切替ができます。

⑫フロスト防止制御

フロスト防止制御

有効

無効

操作を選択してください。

フロスト防止制御後、ファン速度が**有効** アップします。
無効 変化しません。

⑬ドレンポンプ運転

ドレンポンプ運転

通常

暖房時連動運転

暖房/送風時連動運転

送風時連動運転

操作を選択してください。

通常 冷房・除湿時に運転

暖房時連動 通常 + 暖房

暖房 / 送風時連動 全運転中

送風時連動 通常 + 送風

(本ユニットでは設定できません。)

⑭冷房ファン残留運転

冷房ファン残留運転

なし

設定1

設定2

設定3

操作を選択してください。

冷房運転、停止またはサーモ OFF 後のファン残留運転時間を設定します。

なし ファン残留運転なし

設定1 0.5時間

設定2 2時間

設定3 6時間

※残留時間が異なる場合があります。

⑮暖房ファン残留運転

暖房ファン残留運転

なし

設定1

設定2

設定3

操作を選択してください。

暖房運転、停止またはサーモ OFF 後のファン残留運転時間を設定します。

なし ファン残留運転なし

設定1 0.5時間

設定2 2時間

設定3 6時間

⑯暖房ファン間欠

暖房ファン間欠

非連動

20分停止5分送風

5分停止5分送風

操作を選択してください。

暖房運転、停止またはサーモOFF後のファン制御を設定します。

非連動 停止

20分停止 5分送風 25分毎に条件チェックして5分送風

5分停止 5分送風 10分毎に条件チェックして5分送風

⑰送風サーモ運転

送風サーモ運転

無効

有効

操作を選択してください。

サーキュレーター運転として使用する場合

無効 送風時連続運転

有効 送風時リモコンと本体の温度差を見て送風運転 / 停止します。

⑱外調機設定

外調機設定

圧力制御標準

圧力制御切替

操作を選択してください。

マルチシステムにて、外調機の場合に設定します。

圧力制御標準 通常

圧力制御切替 運転中の室内ユニットが全て、この設定の場合、圧力制御値が変わります。

(本ユニットでは設定できません。)

4. 室内機能設定 (つづき)

⑳ 運転モード自動設定

運転モード自動設定

自動1・2・3切換 ←30

自動1関連設定 ←31

自動2関連設定 ←32

自動3関連設定 ←33

戻る

操作を選択してください。

㉑ 自動1・2・3切換

自動1・2・3切換

自動1

自動2

自動3

戻る

操作を選択してください。

自動1 設定温度と室温の温度差で、冷房／暖房が切換わります。

自動2 設定温度と室温の温度差および外気温度で冷房／暖房が切換わります。

自動3 室温および外気温度で、冷房／暖房が切換わります。

運転モード自動での冷房／暖房切換方式を3方式から選択できます。各方式の条件を設定をします。(本ユニットでは設定できません。)

㉒ 自動1関連設定

自動1関連設定

冷房切換温度 ←34

暖房切換温度 ←35

戻る

操作を選択してください。

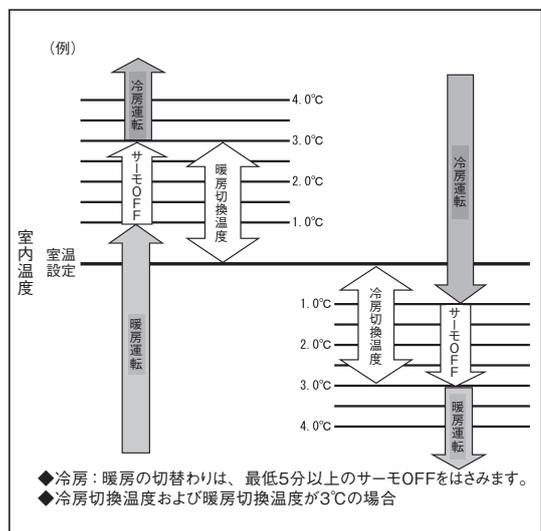
設定温度－冷房切換温度
 $<$ 室内吸込温度の場合
 \Rightarrow 運転モード：冷房

設定温度＋暖房切換温度
 $>$ 室内吸込温度の場合
 \Rightarrow 運転モード：暖房

冷房／暖房の切換温度を設定します。

切換温度は1～4℃の範囲で設定できます。

(本ユニットでは設定できません。)



㉓ 自動2関連設定

自動2関連設定

冷房切換温度 ←34

暖房切換温度 ←35

冷房室外温度 ←36

暖房室外温度 ←37

戻る

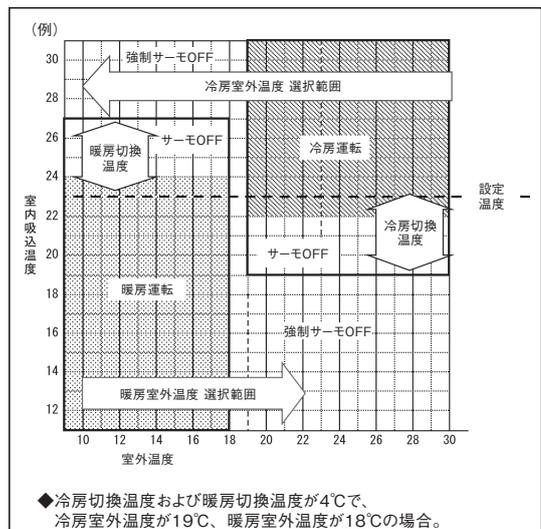
操作を選択してください。

「設定温度－冷房切換温度
 $<$ 室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度
 $<$ 室外吸込温度」の場合
 \Rightarrow 運転モード：冷房

「設定温度＋暖房切換温度
 $>$ 室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度
 $>$ 室外吸込温度」の場合
 \Rightarrow 運転モード：暖房

冷房／暖房の切換温度、冷房／暖房室外温度を設定します。

(本ユニットでは設定できません。)



4. 室内機能設定 (つづき)

③③ 自動3 関連設定

自動3関連設定

冷房室外温度 (36)

暖房室外温度 (37)

冷房室内温度 (38)

暖房室内温度 (39)

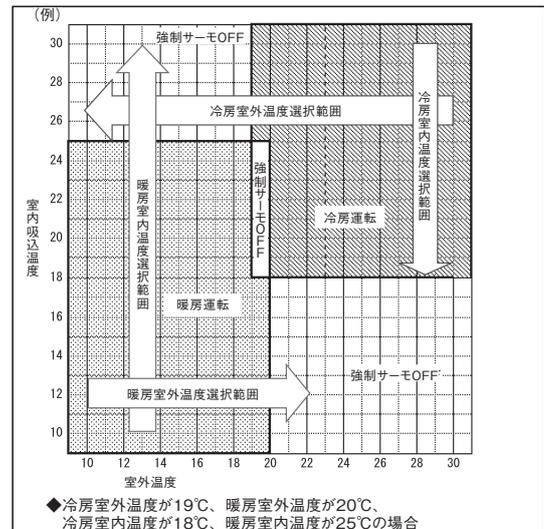
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房室外温度、冷房／暖房室内温度を設定します。
(本ユニットでは設定できません。)

「設定した冷房室内温度 < 室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度 < 室外吸込温度」の場合
⇒ 運転モード：冷房

「設定した暖房室内温度 > 室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度 > 室外吸込温度」の場合
⇒ 運転モード：暖房



③④ 冷房切換温度

冷房切換温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲ セット ▼

戻る

自動1、自動2で冷房切換温度を設定します。
1～4℃の範囲で設定できます。

③⑤ 暖房切換温度

暖房切換温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲ セット ▼

戻る

自動1、自動2で暖房切換温度を設定します。
1～4℃の範囲で設定できます。

③⑥ 冷房室外温度

冷房室外温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

18℃

▲ セット ▼

戻る

自動2、自動3で冷房室外温度を設定します。
10～30℃の範囲で設定できます。

③⑦ 暖房室外温度

暖房室外温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

20℃

▲ セット ▼

戻る

自動2、自動3で暖房室外温度を設定します。
10～22℃の範囲で設定できます。

③⑧ 冷房室内温度

冷房室内温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

22℃

▲ セット ▼

戻る

自動3で冷房室内温度を設定します。
18～30℃の範囲で設定できます。

③⑨ 暖房室内温度

暖房室内温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

24℃

▲ セット ▼

戻る

自動3で暖房室内温度を設定します。
10～30℃の範囲で設定できます。

4. 室内機能設定 (つづき)

④① サーマ判定切換

サーモ判定切換

通常制御/室外温度制御 <④①

室外温度_冷房補正 <④②

室外温度_暖房補正 <④③

戻る

操作を選択してください。

④① 通常制御/室外温度制御

通常制御/室外温度制御

通常制御

室外温度制御

戻る

操作を選択してください。

室温制御、サーモ ON / OFF 切換方式・条件を設定します。

通常制御 室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。

室外温度制御 室外温度±補正值と室内温度でサーモ判定をします。

室温設定は無効となります。

④② 室外温度_冷房補正

室外温度_冷房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です

2

▲
▼

セット

戻る

操作を選択してください。

④③ 室外温度_暖房補正

室外温度_暖房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です

3

▲
▼

セット

戻る

操作を選択してください。

室外温度と冷房/暖房補正值によりサーモ判定をします。

(a) 室外温度_冷房補正：冷房中にサーモ判定をします。

室内温度 > (室外温度 - 冷房補正值) でサーモ ON します。

冷房補正值は 0 ~ 10℃ で設定できます。

(b) 室外温度_暖房補正：暖房中にサーモ判定をします。

室内温度 < (室外温度 + 暖房補正值) でサーモ ON します。

暖房補正值は 0 ~ 5℃ で設定できます。

④④ 風量自動切換

風量自動切換

自動1

自動2

戻る

操作を選択してください。

風量自動の切換範囲を設定

自動1 急⇄強⇄弱

自動2 P 急⇄強⇄弱

④⑤ 室内過負荷アラーム設定

室内過負荷アラーム

キャンセル

7

▲
▼

セット

戻る

▲▼で温度の変更ができます。

運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力 (CnT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。

④⑥ 外部出力設定 出力先選択

外部出力設定 出力先選択

外部出力1

外部出力2

外部出力3

外部出力4

戻る

操作を選択してください。

変更する出力先を選択後、選択した出力に割り当てる機能を選択します。各出力のコネクターと初期設定は下記です。

外部出力 1	CnT-2	運転出力
外部出力 2	CnT-3	暖房出力
外部出力 3	CnT-4	コンプ ON 出力
外部出力 4	CnT-5	点検 (異常) 出力

④⑦ 外部出力設定 機能選択 #1

外部出力設定 機能選択

運転出力

暖房出力

コンプON出力

点検(異常)出力

冷房出力

次ページ

戻る

4. 室内機能設定 (つづき)

④8 外部出力設定 機能選択 #2

外部出力設定 機能選択

ファン運転出力1

ファン運転出力2

ファン運転出力3

デフロスト、油戻し出力

換気出力

前ページ

次ページ

戻る

④9 外部出力設定 機能選択 #3

外部出力設定 機能選択

ヒータ出力

フリークーリング出力

室内過負荷アラーム出力

前ページ

戻る

5. サービス・メンテ方法

TOP画面 **メニュー** ⇒ **サービス設定** ⇒ **サービス・メンテナンス** ⇒ **サービスパスワード**

① サービス・メンテナンス メニュー

サービス・メンテナンス

エアコンNo.表示 ←3

次回点検日 ←5

運転データ表示 ←7

点検表示 ←15

室内設定保存 ←26

次ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

② サービス・メンテナンス メニュー

サービス・メンテナンス

特殊操作 ←29

室内機容量表示 ←34

お掃除パネル点検 ←35

前ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

③ エアコン No. 表示

個別送風

エアコンNo.表示

室内機No.	室内機名称	室外機No.
000		
001		
002		
003		
004		
005		
006		

次ページ 戻る

8台以上接続の場合は、次ページ以降に表示が出来ます。室内ユニット選択後**個別送風** ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。⇒④

④ 個別送風運転

個別送風運転

送風運転

運転 停止

戻る

動作を選択してください。

運転 送風運転開始。

停止 送風運転停止。

⑤ 次回点検日

次回点検日

年 月 日

2010 / 1 / 1

設定なし セット 戻る

年月日を設定してください。

次回点検日を入力すると、点検月の運転開始/停止時にメッセージが表示されます。表示は、次回点検日を更新するとリセットされます。

設定なし をタッチするとメッセージは表示されません。

⑥ 点検メッセージ

ご使用期間 0年7ヶ月
 次回の点検 2020年10月頃
 連絡先名 ミツビシ
 連絡先TEL 000-000-0000
 サービスフロントセンター
 0120-975-365 (フリーコール)

⑦ 運転データ画面 #1

運転データ 全更新

室内機	000	室外機	データ	表示
01	運転モード		冷房	✓
02	設定温度		28°C	✓
03	吸込温度		26°C	✓
04	リモコン温度		29°C	
05	室内熱交温度1		10°C	

選択表示 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑧ 運転データ画面 #2

運転データ 全更新

室内機	000	室外機	データ	表示
06	室内熱交温度2		10°C	
07	室内熱交温度3		10°C	
08	室内ファン速度		5速	
09	要求周波数		51.2Hz	
10	アンサー周波数		32Hz	

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑨ 運転データ画面 #3

運転データ 全更新

室内機	000	室外機	データ	表示
11	室内EEV開度		256P	
12	室内運転時間		100H	
13	吹出		21°C	
21	外気温度		22°C	
22	室外熱交温度1		29°C	

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

運転データが表示されます。**全更新** タッチで全データが更新されます。

データを自動更新させて表示したい場合、6項目まで選択できます。6項目選択後、**選択表示** ボタンをタッチすると⑭の画面に変わります。

5. サービス・メンテ方法 (つづき)

⑩ 運転データ画面 #4

運転データ				全更新
室内機 000	室外機			
項目	データ	表示		
23 室外熱交温度2	29℃			
24 コンプレッサ回転数	51.2Hz			
25 高圧圧力	1.2MPa			
26 低圧圧力	0.20MPa			
27 吐出管温度	76℃			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑪ 運転データ画面 #5

運転データ				全更新
室内機 000	室外機			
項目	データ	表示		
28 ドーム下温度	27℃			
29 電流	8A			
30 SH制御	48℃			
31 SH	48℃			
32 TDSH	48℃			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑫ 運転データ画面 #6

運転データ				全更新
室内機 000	室外機			
項目	データ	表示		
33 保護制御	No.1			
34 室外ファン速度	5速			
35 63H1	ON			
36 デフロスト	ON			
37 コンプレッサ運転時間	100H			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑬ 運転データ画面 #7

運転データ				全更新
室内機 000	室外機			
項目	データ	表示		
38 室外EEV1開度	51.2P			
39 室外EEV2開度	51.2P			

選択表示 前ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑭ 運転データ個別表示画面

運転データ	
運転モード	冷房
設定温度	28℃
吸込温度	29℃
リモコン温度	28℃
室内熱交温度1	10℃
室内熱交温度2	15℃

戻る

⑮ 点検表示

点検表示	
異常履歴表示	⑮
異常時運転データ表示	⑰
異常時運転データ消去	⑳
定期点検リセット	㉑

戻る

操作を選択してください。

選択した6つの項目を自動更新して表示します。

⑯ 異常履歴表示 (例)

異常履歴表示			消去
時刻	室内機	異常コード	
2011/01/19 PM 6:57	014	E16	
2011/01/19 PM 6:57	015	E15	
2011/01/19 PM 6:57	012	E14	

戻る

異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。

消去 ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

⑰ 異常時運転データ表示 #1

異常時運転データ表示		
室内機 000	異常コード E09	室外機
項目	データ	
01 運転モード	冷房	
02 設定温度	28℃	
03 吸込温度	26℃	
05 室内熱交温度1	10℃	
06 室内熱交温度2	10℃	

次ページ 戻る

異常発生直前の運転データが表示されます。

⑱ 異常時運転データ表示 #2

異常時運転データ表示		
室内機 000	異常コード E09	室外機
項目	データ	
07 室内熱交温度3	10℃	
08 室内ファン速度	5速	
09 要求周波数	51.2Hz	
10 アンサー周波数	32Hz	
11 室内EEV開度	256P	

前ページ 次ページ 戻る

5. サービス・メンテ方法 (つづき)

19 異常時運転データ表示 #3

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード E09	室外機
項目			データ
12	室内運転時間		100H
13	吹出		21°C
21	外気温度		22°C
22	室外熱交温度1		29°C
23	室外熱交温度2		29°C

前ページ 次ページ 戻る

20 異常時運転データ表示 #4

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード E09	室外機
項目			データ
24	コンプレッサ回転数		512Hz
25	高圧圧力		1.2MPa
26	低圧圧力		0.20MPa
27	吐出管温度		76°C
28	ドーム下温度		27°C

前ページ 次ページ 戻る

21 異常時運転データ表示 #5

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード E09	室外機
項目			データ
29	電流		8A
30	SH制御		48°C
31	SH		3°C
32	TDSH		48°C
33	保護制御		No.1

前ページ 次ページ 戻る

異常発生直前の運転データが表示されます。

22 異常時運転データ表示 #6

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード E09	室外機
項目			データ
34	室外ファン速度		5速
35	63H1		ON
36	デフロスト		ON
37	コンプレッサ運転時間		100H
38	室外EEV1開度		512P

前ページ 次ページ 戻る

23 異常時運転データ表示 #7

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード E09	室外機
項目			データ
39	室外EEV2開度		512P

前ページ 戻る

24 異常時運転データ消去

異常時運転データ消去

はい

操作を選択してください。

戻る

異常時運転データが消去されます。

25 定期点検リセット

定期点検リセット

定期点検をリセットしますか?

はい

設定を選択してください。

戻る

定期点検リセット操作により、時間カウンタがリセットされます。

26 室内設定保存

室内設定保存

室内設定を保存

室内設定自動保存 <27>

保存データの転送 <28>

操作を選択してください。

戻る

室内設定を保存 リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。

室内設定自動保存 毎日の自動保存時刻を設定します。

保存データの転送 リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

27 室内設定自動保存

室内設定自動保存

設定時刻に室内設定を自動保存します。

▲ AM 0:00 ▼ セット

設定なし 戻る

▲▼で時間を選択し、セットを押してください。

毎日の自動保存時刻を設定します。**設定なし**を選択すると、自動保存は行いません。

5. サービス・メンテ方法 (つづき)

⑳ 保存データの転送

室内機選択

000	001	002	003
004	005	006	007

次ページ 戻る

室内機No.を選択してください。

お知らせ

室内ユニット基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか？

リモコンに室内機設定を保存しておく、[保存データの転送]により、保存されたデータが室内ユニットに書込まれます。

転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

㉑ 特殊操作

特殊操作

室内機アドレス消去

CPUリセット

初期化設定

タッチパネル調整 ←③①

戻る

操作を選択してください。

室内機アドレス消去 マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。

CPUリセット 接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット（停電復帰状態）されます。

初期化設定 接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。

タッチパネル調整 表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

③① タッチパネル調整

タッチパネル調整

調整開始

戻る

調整開始をタッチしてください。

選択した画面に移ります。

③① タッチパネル調整画面#1

右下の「+」をタッチしてください。

+

③② タッチパネル調整画面#2

左上の「+」をタッチしてください。

+

③③ タッチパネル調整画面#3

「+」をタッチして位置を確認してください。

+

+

+

+

キャンセル やり直し 確定

表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。
画面の指示にそって、[+] マーク中心をタッチしてください。
[確定]で終了します。

5. サービス・メンテ方法（つづき）

③④室内機容量表示

室内機容量表示

室内機No.	容量
000	40
001	71
002	80
003	112
004	224
005	280

次ページ 戻る

リモコンに接続されている室内ユニットの容量を表示します。

7台以上接続の場合は、**次ページ**

以降に表示がでます。

室内ユニット—室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。

③⑤お掃除パネル点検

お掃除パネル点検

駆動部個別点検

位置認識指令

位置合わせ制御

点検お掃除運転

戻る

操作を選択してください。

FDT お掃除パネルを組合せる場合に操作できます。詳細は、お掃除パネル説明書を参照ください。

8. マイコン運転制御機能

ESP-FP-2298 

8.1 室内コントローラによる運転制御機能

(1) 冷房・暖房運転時の機能品動作

機能品	冷 房		送 風	暖 房			除 湿
	サーモ ON	サーモ OFF		サーモ ON	サーモ OFF	ホットスタート (デフロスト)	
圧縮機	○	×	×	○	×	○	○/×
四方切換弁	×	×	×	○	○	○(×)	×
室外送風機	○	×	×	○	×	○(×)	○/×
室内送風機	○	○	○	○/×	○/×	○/×	○/×

注(1) ○：運転 ×：停止 ○/×：室温制御以外の制御により運転/停止します。

(2) 除湿運転

吸込空気温度センサ [Thi-A (リモコンセンサ有効時はリモコンによる)] により、室内の温度環境を同時に制御します。

(a) 冷房運転で運転を開始し、吸込空気温度と設定温度の差が2℃以内の場合は、室内ファンタップを1タップダウンします。室内ファンタップ切換え後3分間はタップを保持します。

注(1) 「P急」の場合「急」にタップダウンします。

(2) 室内風量のダウンは弱タップを下限とします。

(b) 除湿運転中に吸込空気温度が設定温度より3℃より大きくなった場合、室内ファンタップを1タップアップします。室内ファンタップ切換え後3分間はタップを保持します。

注(1) 室内風量のマップは設定風量を上限とします。

(c) 上記制御中にサーモOFFが成立した場合、サーモOFF中はサーモON時の室内ファンタップを保持します。

(d) 冷房停止後室内ファンをLoで15秒間残留運転を行います。

(3) タイマー運転

(a) 切忘れタイマー

運転開始してから停止するまでの時間を設定します。設定時間は30～240分（10分単位）まで選択可能です。

注(1) リモコンより「切忘れタイマー」設定を有効にしてください。有効の場合、毎回タイマーが作動します。

(b) 時間切タイマー

運転後、停止させたい時間を1～12時間の範囲（1時間単位）で設定します。

(c) 時間入タイマー

停止後、運転させたい時間を1～12時間の範囲（1時間単位）で設定します。また、同時に室内温度・運転モード・風量・ウォームアップ有効/無効の設定が可能です。

(d) 時刻入タイマー

運転開始時刻を設定します。設定時刻は5分単位で設定可能で、1回のみ/毎日の切換が可能です。また、同時に室内温度・運転モード・風量・ウォームアップ有効/無効の設定が可能です。

注(1) 時刻入タイマーを使用するには、時刻設定が必要です。

(e) 時刻切タイマー

運転停止時刻を設定します。設定時刻は5分単位で設定可能で、1回のみ/毎日の切換が可能です。

注(1) 時刻切タイマーを使用するには、時刻設定が必要です。

(f) ウィークリータイマー

1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。1日最大8パターンまでの設定が可能です。祭日および臨時休業など休日設定が可能です。

注(1) ウィークリータイマーを使用するには、時刻設定が必要です。

(g) タイマー運転の併用設定可能な組合せ

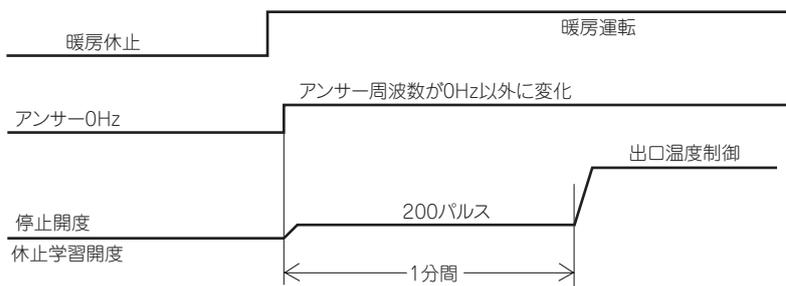
	切忘れタイマー	時間切タイマー	時間入タイマー	時刻切タイマー	時刻入タイマー	ウィークリータイマー
切忘れタイマー		×	×	○	○	○
時間切タイマー	×		×	×	×	×
時間入タイマー	×	×		×	×	×
時刻切タイマー	○	×	×		○	×
時刻入タイマー	○	×	×	○		×
ウィークリータイマー	○	×	×	×	×	

注(1) ○：可，×：不可

(4) ホットスタート（暖房時コールドドラフト防止）

(a) 開始条件

暖房運転開始時、アンサー周波数が0Hzから0Hz以外に変化した時、1分間は膨張弁開度を200パルスに固定します。



(b) 制御内容

(i) ホットスタート時の室内ファンモータ制御

1) 暖房運転開始後7分以内、サーモ状態（暖房サーモOFF時のファン制御）によりファンモードを決定します。

a) サーモOFFの場合

i) 暖房サーモOFF時の室内ファン制御設定により運転します。

ii) サーモOFFからサーモONに変化してもファンは室内熱交温度センサ（Thi-R1、R2の何れが高い方）が35℃以上になるまでサーモOFF時のファン制御で運転を続けます。

iii) 室内熱交温度センサ（Thi-R1、R2の何れが高い方）が35℃以上になった時設定風量で運転します。

b) サーモONの場合

i) 室内熱交温度センサ（Thi-R1、R2の何れが高い方）が25℃以下の時ファンは運転しません。

ii) 室内熱交温度センサ（Thi-R1、R2の何れが高い方）が25℃以上になった時、暖房サーモOFF時ファン制御で運転します。

iii) 室内熱交温度センサ（Thi-R1、R2の何れが高い方）が35℃以上になった時、設定風量で運転します。

c) ワイヤードリモコン室内機能設定から「暖房ファン制御」を「設定風量」に設定している場合は、サーモON / OFFに関わらずファンは設定風量で運転します。

2) サーモON中に1度ファンモータがOFFからONとなると、室内熱交温度センサが25℃以下となっても室内ファンモータをOFFしません。

（注）デフロスト制御受信時はデフロスト時のファン制御に従います。

3) 一旦ホットスタートを終了すると室内熱交温度センサの温度が低下してもホットスタートを再開しません。

(ii) ホットスタート作動時はルーバは水平位置となります。

(iii) デフロスト終了後、連続7分間室内ファンがOFFの場合は、室内熱交温度センサ（Thi-R1、R2）の検知温度に係わらずONします。

(c) 終了条件

(i) ホットスタート制御中に下記の何れかの条件が成立した時、本制御を終了し室内ファンは設定風量で運転します。

1) 室内熱交温度センサ（Thi-R1、R2の何れかが高い方）が35℃以上のとき。

2) ホットスタート制御開始7分経過したとき。

(5) ホットキープ

デフロスト制御開始時にホットキープ制御を行います。

(a) 制御内容

(i) 室内熱交温度（Thi-R1またはR2で検知）が35℃以下となった場合、室内ファンを各設定の低速タップにします。

(ii) ホットキープ時は、ルーバは水平位置となります。

(b) 終了条件

室内ファンが各設定の低速タップ時、室内熱交温度が45℃以上となれば設定風量に戻ります。

(6) フィルタサイン

運転時間（運転／停止スイッチがONとなっている時間）が180時間^{注1)}になるとリモコン上の「フィルター清掃」を表示します。（運転／停止に関係なく、故障時、集中制御時も表示します。）

注1) フィルタサインの時間設定はワイヤードリモコン室内機能「フィルタサイン設定」により下表の様に設定可能です。（工場出荷時は、設定1に設定されています）

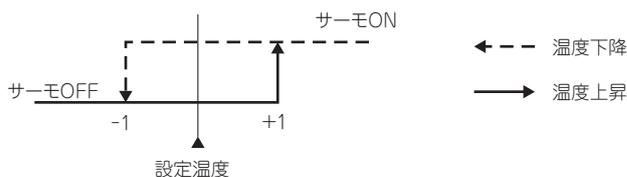
フィルタサイン設定	機 能
設定1	設定時間：180 時間(工場出荷時)
設定2	設定時間：600 時間
設定3	設定時間：1,000 時間
設定4	設定時間：1,000 時間(ユニット停止) ⁽²⁾

(2) 設定4では、設定時間経過後フィルター清掃を表示させ更に24時間(停止中もカウント)経過後ユニットを停止します。

(7) サーモ動作

(a) 冷房

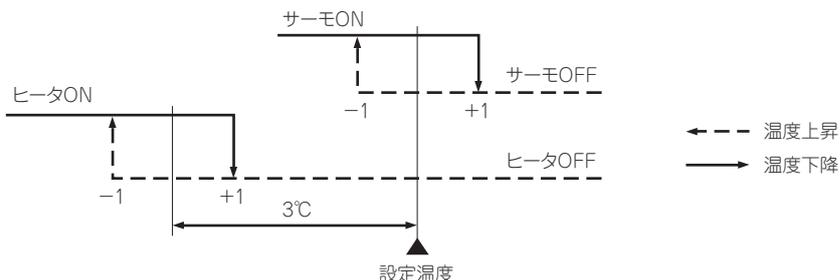
- (i) 室温制御（ファジー制御）によりサーモを動作させます。
- (ii) 設定温度に対し、サーモONとOFFは次の通りです。



- (iii) 冷房運転開始時（暖房から冷房も含む）室温が $-1 < \text{設定温度} < +1$ の間はサーモONとします。

(b) 暖房

- (i) 室温制御（ファジー制御）によりサーモを動作させます。
- (ii) 設定温度に対し、サーモONとOFFは次の通りです。



- (iii) 暖房運転開始時（冷房から暖房も含む）室温が $-1 < \text{設定温度} < +1$ の間はサーモONとします。

(c) 暖房サーモOFF中のファン制御

- (i) 暖房サーモOFF時のファン制御は下記がワイヤードリモコンの室内機能設定から選択が可能です。
 - ① 弱風（工場出荷時）、② 設定風量、③ 間欠、④ 停止
- (ii) 「弱風（工場出荷時）」を選択した場合下記のタップで運転します。
 - ・ACモータの場合：Loタップ
- (iii) 「設定風量」を選択した場合、サーモOFF時も設定風量で運転します。
- (iv) 「間欠」を選択した場合、下記の制御を行います。
 - 1) 暖房運転中にサーモOFFした室内ユニットは、室内ファンをOFFします。
 - 2) 室内ファンOFFを5分間固定とし、5分後に室内ファンLo運転を2分間行い、ここでルーバは水平制御とします。
 - 3) 室内ファンLo運転2分後に1) 項へ移行します。
 - 4) サーモONであれば、ホットスタート制御へ移行します。
 - 5) 暖房サーモOFFとなった場合、リモコンに表示する温度は室内ファンが停止となった時点とし、以後、ファンがLo→停止のタイミングでのみ更新します。リモコンでは運転データ表示操作により温度表示を行い、ファンOFF中も値を更新します。
 - 6) 暖房サーモOFF中にデフロストに入った場合、またはデフロスト中にサーモOFFした場合の室内ファンはOFFとします。（ホットスタート制御を優先する）ただし、吸込温度の更新は7分毎とします。

7) 暖房サーモONとなった場合、または他の運転モード（含む停止）に切替えた場合は、その時点で本制御を中止し、それから運転状態に復帰します。

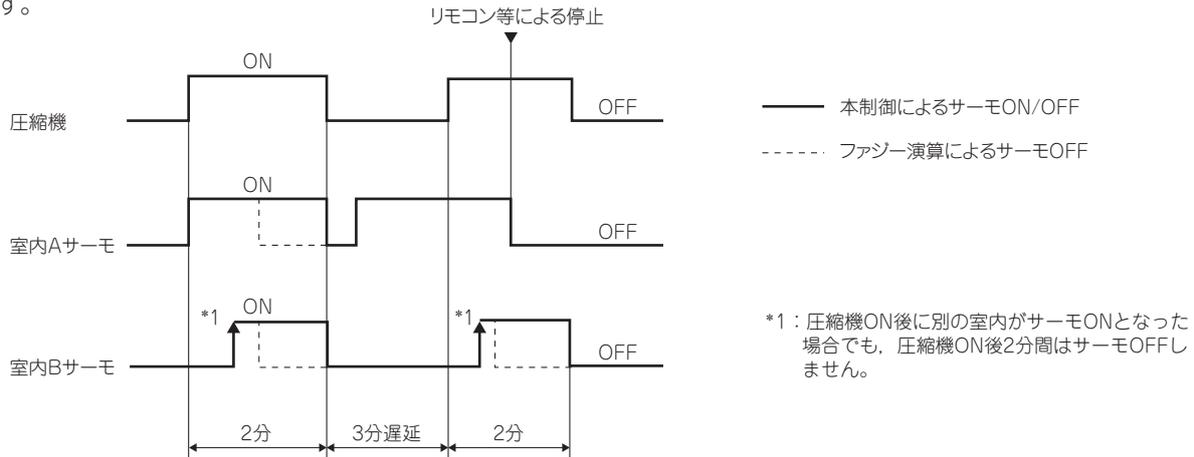
注(1) 本項のサーモOFF中とは暖房運転で要求周波数=0Hzとなった時点から要求周波数≠0、かつアンサーバック周波数≠0となるまでの間をいいます。従って室外ユニットの制御による圧縮機OFF、または要求周波数≠0でアンサーバック周波数=0の場合は本制御せず室内ファンはホットスタートによります。

(v) 「停止」を選択した場合、サーモOFFした室内ユニットのファンをOFFします。

また、リモコンセンサ有効の場合もサーモOFFした室内ユニットのファンをOFFします。

(8) 圧縮機インチング防止制御

(a) 室内ユニットは一旦サーモONとなった場合は、(10)項でサーモOFFとなっても圧縮機ON後2分間^(*1)は、サーモOFFしません。圧縮機ON後2分以内にサーモOFFとなる場合は、その機種に定められた0Hz以外の最低要求周波数を出力します。



(b) 室内ユニットは一旦サーモONとなった場合は、(10)項でサーモOFFとなってもサーモON後2分間は、サーモOFFしません。サーモON後2分以内にサーモOFFとなる場合は、その機種に定められた0Hz以外の最低要求周波数を出力します。

(c) サーモON中に油戻し制御を開始したユニットは油戻し制御中に-1℃になってもサーモOFFしません。

(9) 運転チェック

(a) 室内基板上的ディップスイッチ（SW7-1）をON状態で電源を投入することにより運転チェックモードに入ります。なお、電源投入後の切換えは無効（禁止）です。

(b) ディップスイッチ（SW7-1）がONで電源投入後60秒以内にリモコン通信が確定した場合は、運転チェックモードに入ります。

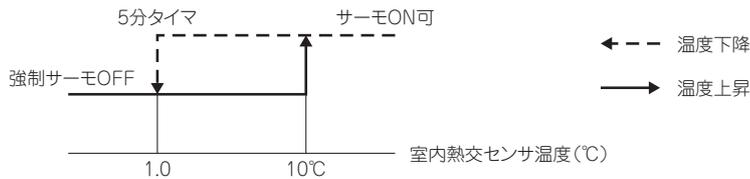
(c) 運転チェックモード

室外ユニットとの通信は行われず、リモコン操作により各運転モードを行います。

(10) 室内熱交アンチフロスト（凍結防止制御）

サーモOFF制御

- (a) 「冷房」「除湿」運転中、熱交センサ（Thi-R1, 2）の検知温度により、サーモOFFを行います。



- (b) 圧縮機ON後4分間は、凍結防止保護の強制圧縮機OFF制御を動作させません。圧縮機ON4分経過時点で、室内熱交温度センサ（Thi-R1, R2）の検知温度が、強制圧縮機OFF温度（1.0℃）以上の場合、圧縮機ON可の状態から検知を開始します。
- (c) 圧縮機ONから4分経過後、室内熱交温度センサ（Thi-R1, R2の何れか）が5分連続して強制圧縮機OFF温度（1.0℃）以下となると圧縮機をOFFさせます。
また、室内熱交温度センサ（Thi-R1, R2）の温度が10℃以上になると圧縮機をONさせます。
- (d) 室外ユニットへ『アンチフロスト』信号を送ります。
- (e) ワイヤードリモコン室内機能設定フロスト防止温度により強制圧縮機OFF温度の切換ができます。
温度 低：1.0℃（工場出荷時）
温度 高：2.5℃

(11) 加湿器対応制御（オプション加湿器組込時の対応）

- (a) ワイヤードリモコン室内機能設定で下記を設定し加湿器対応制御を行います。

- (i) 暖房ファン残留運転
- (ii) 暖房ファン間欠運転

（注）「残留運転」「間欠運転」両方を実施する場合は「残留運転」終了後「間欠運転」を行います。

(b) 開始条件

- (i) 暖房運転休止（「暖房停止」または「暖房サーモOFF」）になったとき。
- (ii) 室外ユニットが「冷房モード」から「暖房モード」に変わったとき。

(c) 優先度

- (i) ヒータ残留運転を優先します。
- (ii) 暖房サーモOFF時のファン制御より本制御を優先します。
但し、暖房サーモOFF時のファン制御において、設定風量選択時は、設定風量を優先します。
- (iii) デフロスト中、室内熱交温度が25℃以下の場合、室内ファンをOFFします。
- (iv) 異常停止「E16」（ファンモータ異常）、「E20」（ファンモータ回転異常）「E63」（緊急停止）の場合はファンを停止します。
- (v) その他異常停止時は本制御を行います。
（注）熱交温度センサ（Thi-R3）が断線した場合は、温度条件が成立しないため停止します。温度情報に左右されない暖房ファン残留運転は行います。
- (vi) 室外温度ユニットからの膨張弁開度指令を優先します。

(d) 暖房ファン残留運転：0.5時間

- (i) 開始条件
 - (b)開始条件から30分間
- (ii) 制御内容
 - ① 風量弱で送風運転
 - ② ルーバ位置水平（フリー停止、4位置によらず）
 - ③ 90パルスに固定
 - ④ 圧縮機OFF時にも有効
- (iii) 終了条件
 - ① 30分経過後
 - ② 運転を開始

(e) 暖房ファン残留運転：2時間／6時間

30分間は、「暖房ファン残留運転：0.5時間」を行います。

- ① 開始条件（下記条件を全て満たした場合）
 - 1) 『暖房ファン残留運転：0.5時間』終了後
 - 2) (i)開始条件から120分間／360分間
 - 3) 熱交温度センサ（Thi-R3）温度が40℃以上
- ② 制御内容
 - 1) 風量弱で送風運転
 - 2) ルーバー位置水平（フリー停止，4位置によらず）
 - 3) 90パルスに固定
- ③ 制御休止条件
 - 1) 熱交温度センサ（Thi-R3）温度が35℃未満に下がった場合120分／360分タイマのカウンタを止めて送風運転を停止します。
膨張弁は、『休止及び停止ユニットの膨張弁制御』によります。
- ④ 終了条件
 - 1) 積算で120分／360分経過後送風運転を停止します。
膨張弁は、『休止及び停止ユニットの膨張弁制御』によります。
 - 2) 運転を開始した場合
120分／360分タイマをクリアして終了。

(f) 暖房ファン間欠運転

- ① 開始条件（下記条件が全て成立した場合）
 - 1) (b)開始条件から
 - 2) パネルスイッチ（CN-Y又はCN-V1-5）がONの時。
 - 3) A分毎に温度判定する。前回判定からA分経過後，温度判定します。

制御	A
5休5風	10
20休5風	25

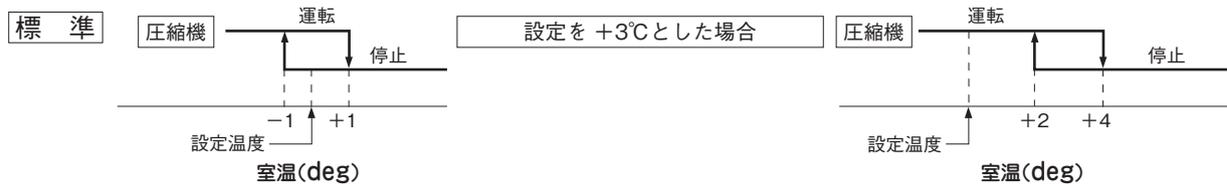
- 4) 熱交温度センサ（Thi-R3）検知温度が $>25^{\circ}\text{C}$ 以上高い場合。
（間欠送風運転開始の都度判定し，判定後は次判定まで保持）
- ② 制御内容
 - 1) ルーバー位置水平（フリー停止，4位置によらず）
 - 2) 風量弱で送風 5分運転。
- ③ 休止条件（下記いずれかが成立した場合）⇒次回判定まで休みます。
 - 1) パネルスイッチ（CN-Y又はCN-V1-5）がON→OFF
 - 2) デフロスト信号受信
- ④ 終了条件
 - 1) 送風運転を積算し，600分間経過後 タイムUP
 - 2) 運転開始（停止→停止以外のモードへ変わった時）
 - 3) 室外ユニットが暖房から暖房以外のモードに変更の時。

(12) ファンモータ異常

ファンモータの過電流継電器（51F）の作動により、異常停止「E9」をします。

(13) 暖房時室温検知温度補正

標準仕様では、サーモの設定温度で圧縮機をON / OFFしていますが天井に暖気がこもり易い据付状況で早目にサーモOFFしてしまう場合、ワイヤードリモコン室内機能「暖房室温補正」により設定の変更が可能です。設定温度+3, +2, +1℃のいずれかの温度で圧縮機およびヒータをON / OFFさせ、暖房フィーリング向上させることができます。ただし設定温度の上限を30℃とします。



(14) 吸込温度補正

吸込温度センサの検知温度とユニット据付後の計測温度との誤差が生じて、補正が必要となった場合に補正する機能です。

- (a) ワイヤードリモコン室内機能「吸込温度補正」により0.5℃単位で変更が可能です。
 - ・ + 1.0℃, + 1.5℃, + 2.0℃, ・ - 1.0℃, - 1.5℃, - 2.0℃,
- (b) 補正後の温度をリモコンや室外ユニットに送信し、補正後の温度で制御を行います。
注(1) 検知温度補正は室内ユニットセンサのみ有効です。

(15) 温度センサ（吸込・室内熱交）断線・短絡検知

(a) 断線検知

吸込温度センサ検知温度が-20℃以下、熱交温度センサ検知温度が-40℃以下を連続5秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させ1回目の検知から60分以内に再検知および連続6分間検知した場合は停止（吸込温度センサ：E7、熱交温度センサ：E6）します。

(b) 短絡検知

熱交温度センサ検知温度が、冷房運転で圧縮機ON2分後20秒間に70℃以上を連続5秒間検知した場合は停止（E6）します。

(16) 外部入力（遠方表示）／遠方操作

外部入出力端子CnTおよび入力端子CnTAにより、運転状態の出力およびエアコンの発停入力を行うことができます。

(a) 外部制御（遠方表示）用出力（オプションの遠方発停監視キットが利用できます。）

(i) 出荷状態の出力

- 1) 室内制御基板上に下記の出力用コネクタ（CnT）を持っています。遠方発停監視キットを接続して各々の無電圧接点を取出手ください。
- 2) 出荷状態では、以下の4つの出力が割当てられています。
 - ・ 運転出力（CnT1-2）：運転中、リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
 - ・ 暖房出力（CnT1-3）：暖房運転中、かつサーモ ON 時リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
 - ・ サーモ ON 出力（CnT1-4）：圧縮機が運転中、リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
 - ・ 異常出力（CnT1-5）：異常発生時、リレー駆動用出力DC12Vを出力します。

(ii) 出力コネクタの変更

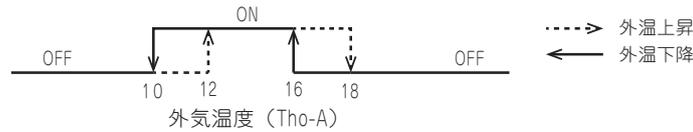
- 1) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、出力コネクタの変更および(iii)項の出荷状態以外の出力に変更することができます。ワイヤードリモコンでの設定は可能です。
- 2) 設定は、ワイヤードリモコンの室内機能「外部出力設定」で出力先を選択してください。ワイヤードリモコンでの設定名とコネクタは以下のようになります。

①外部出力1：CnT1-2 ②外部出力2：CnT1-3 ③外部出力3：CnT1-4 ④外部出力4：CnT1-5

(iii) 出荷状態以外の出力

- 1) 冷房出力：冷房モード中（自動の冷房運転、デフロスト、暖房油戻しを含む）に出力します。
- 2) ファン運転出力1：室内ファンの速度タップによらず、ファン運転中に出力します。
- 3) ファン運転出力2：室内ファンが、Hiタップ以上で運転中に出力します。
- 4) ファン運転出力3：室内ファンが、Hiタップ未満で運転中に出力します。
- 5) デフロスト、油戻し出力：室外ユニットからのデフロスト信号または、暖房油戻し信号を受信中に出力します。
- 6) 換気出力：ワイヤードリモコンからの換気指令により出力します。
- 7) ヒータ出力：9項の(b)条件により出力します。

- 8) フリークーリング出力
 運転モードが冷房または送風の場合、外気温度により出力します。(外気導入による温度調整用)



- 9) 室内過負荷アラーム出力
 運転開始30分以降で、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上となった場合、出力します。

(b) 遠方操作入力 (CnT1-6 または CnTA1-2)

(i) リモコンによる設定方法

- 1) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、運転/停止モードおよび入力方式を設定します。出荷状態で、外部入力1, 2の設定は運転/停止, 外部入力1, 2の方式はレベル入力となっています。

	入力端子	室内機能設定
		ワイヤードリモコン
モード設定	CnT	外部入力1設定：運転/停止
	CnTA	外部入力2設定：運転/停止
入力方式	CnT	外部入力1方式：“レベル入力”または“パルス入力”
	CnTA	外部入力2方式：“レベル入力”または“パルス入力”

(ii) 外部入力による動作

- 1) 運転・停止の切換え

a) レベル入力の場合

外部入力ON (CnT1-6：閉またはCnTA1-2は閉) の場合は運転となります。
 外部入力OFF (CnT1-6：開またはCnTA1-2は開) の場合は停止となります。

b) パルス入力の場合

外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) からON (閉) のタイミングで運転と運転停止を反転します。

外部入力機能切換	外部入力方式	動作	
運転/停止	①レベル	外部端子入力 (CnT または CnTA)	OFF → ON → OFF → ON <small>運転指令エッジ ↑ ↑ 停止指令エッジ</small>
		運転/停止	停止 → 運転 → 停止 → 運転
		運転/停止 (競合)	停止 → 運転 → 停止 → 運転 <small>↑リモコン停止 ↑リモコン運転</small>
	②パルス	外部端子入力 (CnT または CnTA)	OFF → ON → OFF → ON <small>運転/停止反転 ONエッジ 運転/停止反転 ONエッジ</small>
		運転/停止	停止 → 運転 → 停止
		運転/停止 (競合)	停止 → 運転 → 停止 → 運転 → 停止 <small>↑リモコン停止 ↑リモコン運転</small>

(iii) 注意事項

- 1) ワイヤードリモコンは必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。
- 2) エアコンの操作が「センターモード」となっている時は、CnT または CnTA による遠方操作は無効となります。
- 3) コネクタの部品番号 (別売品、配線長さ 500mm)

コネクタ	部品番号
CnT	PCZ006A043
CnTA	PCZ006A053

- 4) ワイヤードリモコンの機能設定「外部入力設定：全台」に設定することにより、1台の室内ユニットへの入力により、同じワイヤードリモコンに接続された複数の室内ユニットを同時に運転/停止します。「外部入力設定：個別」の場合 (出荷時設定)、入力を入れる室内ユニットのみ運転/停止します。

(17) 運転許可・禁止（コインタイマー用制御）

リモコンで設定を変更することで、(16)項の遠方制御/遠方操作端子CnT, CnTAの機能切換えを行い、外部信号の入力によりエアコンの操作可能・操作不可を制御することができます。

市販のコインタイマーの信号等によりエアコン使用可能・使用不可を制御することができます。

(i) リモコンによる設定方法

- 1) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、運転許可・禁止モードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定
		ワイヤードリモコン
モード設定	CnT	外部入力1設定：許可/禁止
	CnTA	外部入力2設定：許可/禁止
入力方式	CnT	外部入力1方式：“レベル入力”または“パルス入力”
	CnTA	外部入力2方式：“レベル入力”または“パルス入力”

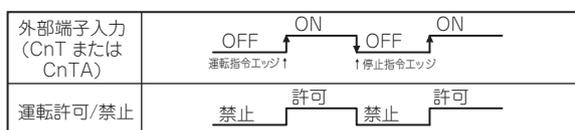
(ii) 外部入力による動作

- 1) 運転許可・禁止の切換え

a) レベル入力の場合

外部入力ON（CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉）の場合は、運転許可となります。

外部入力OFF（CnT1-6：開またはCnTA1-2:開）の場合は、運転禁止となります。



b) パルス入力の場合

外部入力（CnT1-6またはCnTA1-2）がOFF（開）からON（閉）のタイミングで運転許可と運転禁止を反転します。



- 2) 運転許可の場合の動作

- a) エアコンは、リモコンからの操作が可能です。
b) 「センター」モード設定時は、センターからのみ操作可能となります。

- 3) 運転禁止時の場合の動作

- a) エアコンは、リモコンからの操作ができません。
b) エアコン運転中に運転禁止となった場合は、エアコンは停止します。

(iii) 注意事項

- 1) ワイヤードリモコンは、必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。

(18) 冷房・暖房外部入力機能切換え

リモコンで設定変更することで、(17)項の遠方制御/遠方操作端子CnT, CnTAの機能切換えを行い、外部信号の入力により運転モードを冷房/暖房に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

- (i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、冷房/暖房モードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定（ワイヤードリモコン）
		モード設定
	CnTA	外部入力2設定：冷房/暖房
入力方式	CnT	外部入力1方式：“レベル入力”または“パルス入力”
	CnTA	外部入力2方式：“レベル入力”または“パルス入力”

(b) 外部入力による動作

(i) 冷房/暖房の切換え

1) レベル入力の場合

- a) 外部入力ON (CnT1-6: 閉またはCnTA1-2:閉) の場合は暖房となります。
- b) 外部入力OFF (CnT1-6: 開またはCnTA1-2:開) の場合は冷房となります。

2) パルス入力の場合

外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) からON (閉) のタイミングで冷房と暖房を反転します。

(c) 外部入力により冷房 / 暖房の切換えを受けた場合は、リモコンに運転モードを送信します。

外部入力機能切換	外部入力方式	動作	
冷房/暖房切換	⑤レベル	外部端子入力 (CnT または CnTA)	
		冷房/暖房	
		冷房/暖房 (競合)	
	⑥パルス	外部端子入力 (CnT または CnTA)	<p>↑ 「冷/暖切換」設定後、現在の運転モードによって冷/暖切換を行う。 暖房時：暖房専用設定 (冷房禁止区間) にする。 冷房、除湿、自動、送風時：冷房専用設定 (暖房禁止区間) にする。</p>
		冷房/暖房	
		冷房/暖房 (競合)	

(d) 注意事項

- (i) ワイヤードリモコンは必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと本制御は行えません。

(19) 設定温度シフト入力

リモコンで設定変更することで、(16)項の遠方制御/遠方操作端子CnT, CnTA の機能切換えを行い、外部信号の入力により運転モードを設定温度シフト入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

- (i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、設定温度シフト入力モードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定 (ワイヤードリモコン)
モード設定	CnT	外部入力1 設定：制御が有効
	CnTA	外部入力2 設定：制御が有効
入力方式	CnT	外部入力1 方式：“レベル入力”または“パルス入力”
	CnTA	外部入力2 方式：“レベル入力”または“パルス入力”

(b) 外部入力による動作

(i) 設定温度シフト入力の切換え

1) レベル入力の場合

- a) 外部入力ON (CnT1-6: 閉またはCnTA1-2:閉) の場合は制御が有効となります。
- b) 外部入力OFF (CnT1-6: 開またはCnTA1-2:開) の場合は制御が無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) からON (閉) のタイミングで制御の有効/無効を反転します。

(ii) 注意事項

- 1) ワイヤードリモコンは、必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。

(20) 強制サーモ OFF 入力

リモコンで設定変更することで、(16)項の遠方制御/遠方操作端子CnT、CnTAの機能切換えを行い、外部信号の入力により運転モードを強制サーモOFF入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、強制サーモOFF入力モードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定 (ワイヤードリモコン)
モード設定	CnT	外部入力1設定: 制御が有効
	CnTA	外部入力2設定: 制御が有効
入力方式	CnT	外部入力1方式: "レベル入力"または"パルス入力"
	CnTA	外部入力2方式: "レベル入力"または"パルス入力"

(b) 外部入力による動作

(i) 強制サーモOFF入力の切換え

1) レベル入力の場合

- 外部入力ON (CnT1-6: 閉またはCnTA1-2: 閉) の場合は制御が有効となります。
- 外部入力OFF (CnT1-6: 開またはCnTA1-2: 開) の場合は制御が無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) からON (閉) のタイミングで制御の有効/無効を反転します。

(ii) 注意事項

- ワイヤードリモコンは、必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。

(21) 一時停止入力

リモコンで設定変更することで、(16)項の遠方制御/遠方操作端子CnT、CnTAの機能切換えを行い、外部信号の入力により運転モードを一時停止入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、一時停止入力モードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定 (ワイヤードリモコン)
モード設定	CnT	外部入力1設定: 制御が有効
	CnTA	外部入力2設定: 制御が有効
入力方式	CnT	外部入力1方式: "レベル入力"または"パルス入力"
	CnTA	外部入力2方式: "レベル入力"または"パルス入力"

(b) 外部入力による動作

(i) 一時停止入力の切換え

1) レベル入力の場合

- 外部入力ON (CnT1-6: 閉またはCnTA1-2: 閉) の場合は制御が有効となります。
- 外部入力OFF (CnT1-6: 開またはCnTA1-2: 開) の場合は制御が無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) からON (閉) のタイミングで制御の有効/無効を反転します。

(ii) 注意事項

- ワイヤードリモコンは、必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。

(22) 静音モード入力

リモコンで設定変更することで、(16)項の遠方制御/遠方操作端子CnT、CnTAの機能切換えを行い、外部信号の入力により運転モードを静音モードに切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、静音モードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定 (ワイヤードリモコン)
モード設定	CnT	外部入力1設定: 制御が有効
	CnTA	外部入力2設定: 制御が有効
入力方式	CnT	外部入力1方式: "レベル入力"または"パルス入力"
	CnTA	外部入力2方式: "レベル入力"または"パルス入力"

(b) 外部入力による動作

(i) 静音モード入力の切換え

1) レベル入力の場合

- a) 外部入力ON (CnT1-6: 閉またはCnTA1-2: 閉) の場合は制御が有効となります。
- b) 外部入力OFF (CnT1-6: 開またはCnTA1-2: 開) の場合は制御が無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) からON (閉) のタイミングで制御の有効/無効を反転します。

(ii) 注意事項

1) ワイヤードリモコンは、必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。

(23) 緊急停止信号処理

リモコンで設定変更することで、(16) 項の遠方制御 / 遠方操作端子 CnT、CnTA の機能切替えを行い、外部信号の入力により、室外ユニットを緊急停止させます。

(a) リモコンによる設定方法

ワイヤードリモコンの室内機能設定により、緊急停止モードを設定します。

	入力端子	室内機能設定
モード設定	CnT	外部入力 1 設定: 緊急停止
	CnTA	外部入力 2 設定: 緊急停止

(b) 緊急停止信号による動作

外部入力 OFF (CnT1-6 または CnTA1-2: 開) の場合、緊急停止します。

入力を入れた室内機は停止し、接続している室外機は [E-63] を発報して緊急停止します。

(24) 外部入力機能と優先順位

(a) CnTとCnTAの組合せ優先順位

■CnTとCnTAの組合せ優先順位

		CnTA						
		①運転停止レベル	②運転停止パルス	③運転許可/禁止レベル	④運転許可/禁止パルス	⑤冷暖切換レベル	⑥冷暖切換パルス	⑦緊急停止
CnT	①運転停止レベル	CnT①	CnT①	CnT①+CnTA③	CnT①	CnT①/CnTA⑤	CnT①/CnTA⑥	CnT①<CnTA⑦
	②運転停止パルス	CnT②	CnT②	CnT②+CnTA③	CnT②	CnT②/CnTA⑤	CnT②/CnTA⑥	CnT②<CnTA⑦
	③運転許可/禁止レベル	CnT③>CnTA①	CnT③>CnTA②	CnT③+CnTA③	CnT③	CnT③/CnTA⑤	CnT③/CnTA⑥	CnT③<CnTA⑦
	④運転許可/禁止パルス	CnT④	CnT④	CnT④+CnTA③※	CnT④	CnT④/CnTA⑤	CnT④/CnTA⑥	CnT④<CnTA⑦
	⑤冷暖切換レベル	CnT⑤/CnTA①	CnT⑤/CnTA②	CnT⑤/CnTA③	CnT⑤/CnTA④	CnT⑤	CnT⑤	CnT⑤/CnTA⑦
	⑥冷暖切換パルス	CnT⑥/CnTA①	CnT⑥/CnTA②	CnT⑥/CnTA③	CnT⑥/CnTA④	CnT⑥	CnT⑥	CnT⑥/CnTA⑦
	⑦緊急停止	CnT⑦>CnTA①	CnT⑦>CnTA②	CnT⑦>CnTA③	CnT⑦>CnTA④	CnT⑦/CnTA⑤	CnT⑦/CnTA⑥	CnT⑦+CnTA⑦

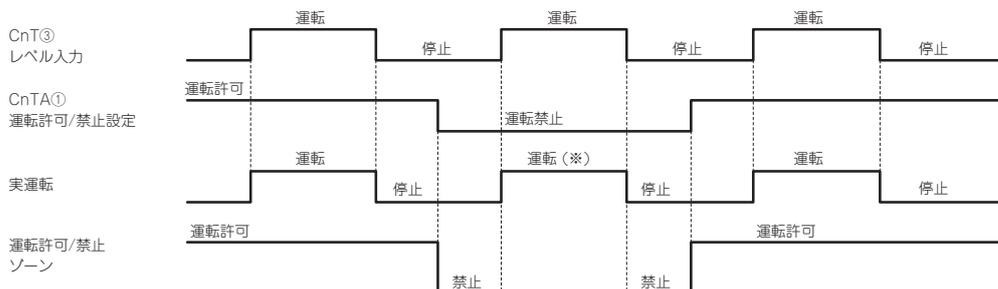
注(1) ※部のCnTAによる運転禁止設定中は、以下の運転指令を受付けます。
・リモコンからの個別運転指令、室外からの試運転指令およびオプションからの運転指令

参考:上記記号および組合せ記号の説明

1. CnT"番号"の場合、CnT"番号"採用しCnTAを無効とする。
2. CnTA"番号"の場合、CnTA"番号"採用しCnTを無効とする。
3. CnT"番号"/CnTA"番号"の場合、CnT"番号"とCnTA"番号"は共に独立した機能とする。
4. CnT"番号"+CnTA"番号"の場合、CnT"番号"とCnTA"番号"は競合機能
5. CnT"番号">CnTA"番号"の場合、CnT"番号"はCnTA"番号"より機能の優先順位が高い。
6. CnT"番号"<CnTA"番号"の場合、CnTA"番号"はCnT"番号"より機能の優先順位が高い。
(上記"番号"の部分には、①～⑦の番号が入ります)

(b) CnTとCnTAでの優先順位例

(i) CnT③運転レベル>CnTA①運転許可/禁止レベルの場合



(*) CnTレベル入力をCnTA運転禁止よりも優先する。

(ii) CnT③運転許可/禁止レベル + CnTA③運転許可/禁止レベルの場合



(25) 複数台制御 —— 1リモコンによる16台グループ制御

(a) 機能

1個のリモコンスイッチで複数台のユニット（室内ユニット・最大16台）をグループ制御できます。リモコンスイッチでセットした「運転モード」でグループの全ユニットは号機No.⁽¹⁾順に順次運転・停止させることができます。

各ユニットのサーモ，保護機能は独立して機能します。

注(1) 号機No.は室内制御基板上的ロータリースイッチSW1，SW2，ディップスイッチSW5-2で設定します。

(b) リモコンへの表示

(i) センタまたはリモート別，暖房準備：運転中のユニットでリモートモードの（リモートモードが無い時は，センタモード）最若号機ユニットの表示

(ii) 点検表示，フィルタサイン：いずれか初発のユニット対応で表示

(c) 接続ユニットの確認

リモコンのTOP画面より「メニュー」→「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード」入力→「エアコンNo.表示」の順にボタンをタッチして行くと接続室内ユニットが表示されます。

(d) 異常時

(i) グループの一部ユニットに異常が発生した場合（保護装置作動）当該ユニットは異常停止しますが，他の正常なユニットはそのまま運転を継続します。

(ii) 配線要領

各ユニットの室内・外接続線は各ユニット毎に通常と同じ配線をしてください。グループ制御用にリモコンの端子台（X，Y）を使用し各室内ユニット間に渡り配線をしてください。

リモコン信号用配線は電源電線または他の電気機械器具電線（AC100V以上）とは分離して配線してください。

(26) ハイパワー運転

最大能力で，最長15分間運転します。

(27) 省エネ運転

設定温度を冷房28℃，暖房22℃，自動25℃で固定して運転します。

ワイヤードリモコンの機能設定「冷房/暖房ファン制御：設定風量」で，サーモOFFする場合，室内ファンをULoで運転します。

(28) ピークカットタイマー

最大能力を制限することで消費電力を制限します。

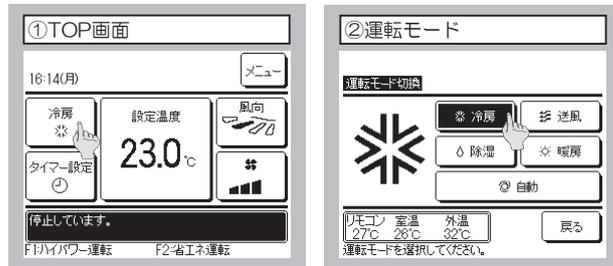
(29) ウォームアップ制御

運転開始設定時間にお部屋が設定温度近くになるように，マイコンが運転開始時間を予測して，5～60分前から運転を開始します。

8.2 リモコン機能

(a) リモコンの運転モード選択

- (i) TOP画面上より「運転モード」ボタンをタッチしてください。
- (ii) 「運転モード」選択画面が表示されますので、ご希望の運転モードをタッチしてください。
- (iii) 運転モード選択後、TOP画面に戻ります。

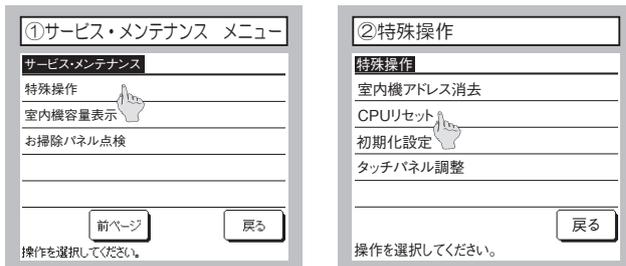


- 注(1) 室内ユニット-室外ユニットの組合せにより、選択できない運転モードは表示されません。
 (2) 自動を選択すると、室温と外温に応じて、冷房・暖房自動切替運転を行います。

(b) CPUリセット

下記手順にてリモコンよりCPUをリセットしてください。

- (i) TOP画面の「メニュー」より「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」を選択し、サービスパスワードを入力します。
- (ii) 「サービス・メンテナンス メニュー」より「特殊操作」→「CPUリセット」の順に選択すると接続している室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット(停電復帰状態)されます。



(c) 停電補償機能

下記手順にてリモコンより停電補償機能を有効設定してください。

- (i) TOP画面の「メニュー」より「サービス設定」→「リモコン設定」を選択し、サービスパスワードを入力します。
- (ii) 「リモコン設定 メニュー」より「停電補償」を選択し「有効」に設定してください。運転中に停電した場合は、停電復旧(電源投入後の制御終了)後に、停電前の状態に戻ります。



- 常にリモコンの状態を記憶しており停電から復帰後、記憶内容により運転を再開します。ただしタイマーモードはキャンセルされますが、ウィークリータイマー、ピークカットタイマーおよび室外静音タイマーについては下記内容となります。

- ・時計機能が有効の場合：設定された内容により機能します。
- ・時計機能が無効の場合：時計機能を再設定し、リモコンの機能設定によりウィークリータイマー、ピークカットタイマーおよび室外静音タイマーの設定を「有効」にすると記憶された内容で機能します。

- 停電補償で記憶される内容は以下のとおりです。

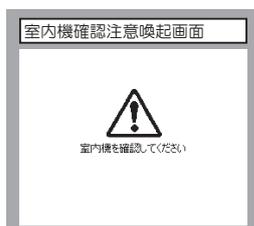
注(1) ⑥、⑦項は停電補償有効・無効にかかわらず記憶されます。

- ① 停電時 運転中／停止中
時刻切タイマーモード、時間タイマーモードで運転中は、停止中を記憶します。
- ② 運転モード
- ③ 風量モード
- ④ 室温設定
- ⑤ ルーバのオートスイング／停止
ただし停止位置(4位置)はキャンセルされます。
- ⑥ 「お掃除パネル設定」「管理者設定」「据付設定」「室内設定」により設定された内容は、室内ユニットが記憶します。
- ⑦ ウィークリータイマー、ピークカットタイマー、室外静音タイマー
- ⑧ リモコン設定

(d) 注意喚起表示

下記(i)～(iii)が表示される場合、以下のとおり確認、処置してください。

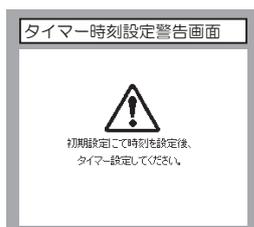
(i) 室内機確認注意喚起



- リモコンと室内ユニット間の通信が確立できない場合に表示します。

システム（室内ユニット、室外ユニット、リモコン）として正しく接続されているか、室外ユニットの電源が接続されているかを確認してください。

(ii) タイマー時刻設定警告



- 時刻未設定でタイマー設定をしたときに表示します。

時刻設定を行ってください。時刻設定を行わないとタイマー設定が出来ません。

(iii) 誤接続



- リモコンに空調機以外のものが接続されたとき本表示を行います。

リモコンの接続先を確認してください。

(e) 設定および表示項目

●接続する機種により設定できる項目が異なります。

PJZ000Z320 

設定および表示項目	詳細内容	
1. リモコンネットワーク		
1 複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内ユニットを接続制御できます。室内ユニット側にアドレスを設定します。	
2 親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスリモコン)を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	
2. TOP画面・SW操作		
1 メニュー	制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	
2 運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	
3 設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。	
4 風向	風向を設定します。おまかせ気流の有効/無効を設定します(FDKの場合)。	
5 風量	風量を設定します。	
6 タイマー設定	タイマー運転を設定します。	
7 運転/停止SW	運転を開始します。/停止します。	
8 F1スイッチ	F1スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	
9 F2スイッチ	F2スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	
3. 便利機能		
1 フリーフロー設定	各ルーパーの可動範囲(上限位置-下限位置)を設定します。FDKの場合は左限位置-右限位置も設定します。	
2 ドラフト防止設定(エアフレックス設定) エアフレックスパネル組合せの場合	エアフレックスパネルを使用する場合、各運転モード、各吹出口のエアフレックス(ドラフト防止)機構・動作の有効・無効を設定します。	
3 タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・ 1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ・ 運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
	時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・ 1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。
	時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・ 1回のみ/毎日の切替が可能です。 ・ 運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
	時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・ 1回のみ/毎日の切替が可能です。
	タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。
4 おこのみ設定 管理者パスワード	おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定1、おこのみ設定2のそれぞれに設定が可能です。	
5 ウィークリータイマー	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・ 1日最大8パターンまで設定可能です。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・ 祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・ 運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	
6 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温/低温にならないように温度を保ちます。 ・ 外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ・ 設定温度、風量の設定が可能です。	
7 換気 換気機器組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・ 換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。	
8 言語切替設定	リモコンに表示する言語を選択します。 ・ 選択できる言語は下記です。 英語/日本語 ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/オランダ語/ トルコ語/ポルトガル語/ロシア語/ポーランド語/中国語	
9 見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・ 室内ユニット—室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	
10 消費電力量表示	今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・ 室内ユニット—室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	

設定および表示項目		詳細内容
4.省エネ設定		管理者パスワード
1	切忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・ 設定時間は30～240分(10分単位)まで選択可能です。 ・ 設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。
2	ピークカットタイマー	能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・ 1日最大4パターンまで設定可能です。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・ 能力制限率は0.40～80%(20%単位)から選択可能です。 ・ 祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。
3	設定温度自動復帰	設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・ 暖房モード/冷房モード他、各々設定可能です。 ・ 設定時間は20～120分(10分単位)まで設定可能です。 ・ 設定時刻は10分単位で設定可能です。
4	赤外線センサー制御(人感センサー制御) 人感センサー付パネル組合せの場合	人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートセーブの有効/無効を設定します。
5.お手入れ		
1	フィルターサイン リセット	フィルターサインの解除 次回清掃日の設定 フィルターサインの解除を行います。 次回清掃日の設定を行います。
2	グリル昇降 ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作]の 設定が必要です。
	降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・ 0.1～4.0mの範囲で設定できます。 ・ 設定長さは0.1m単位で設定可能です。 ・ 接続室内ユニット毎に設定できます。
	ダスト回収リセット お掃除パネル組合 せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。
3	お掃除パネル設定 管理者パスワード	自動清掃の有効/休止を設定します。 自動清掃を開始する時間帯を設定します。 自動清掃する最小の間隔を設定します。 ダストの回収時期を設定します。 ブラシの清掃回数を設定します。
6.ユーザ設定		
1	初期設定	時刻設定 時刻表示設定 サマータイム補正 コントラスト調整 バックライト ブザー音 運転ランプ輝度
		現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・ 80時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計 は動き続けます。 時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。 現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。 液晶の濃度の調整を行います。 バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。 タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。 運転ランプの輝度の調整を行います。
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定 室外静音タイマー 設定温度範囲
		・ 操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見えてみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ・ 操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定] [ウィークリータイマー設定] [言語切換設定] [ドラフト防止設定] 室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・ 静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 設定温度範囲を制限します。 ・ 運転モードによる温度範囲の制限が可能です。

設定および表示項目		詳細内容
2 管理者設定 管理者パスワード	温度設定刻み切換	設定温度の刻み(0.5℃/1.0℃)を設定します。
	設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。
	リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり/なしを設定します。
	管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。
	スイッチ機能変更	F1、F2スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転2][フィルターサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]
7.サービス設定		
1 据付設定 サービスパスワード	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。
	サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角26文字相当以内で登録できます。 ・連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。
	試運転	試運転の開始/停止を制御できます。
	冷房試運転	設定5℃ 30分間運転します。
	ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。
	お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。お掃除パネル組合せの場合
	ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。
	自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。
	親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。
	バックアップ制御	1台のリモコンに室内ユニット2台(2グループ)は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効/無効が設定できます。
	赤外線センサー設定 (人感センサー設定) 人感センサー付パネルの組合せの場合	リモコンに接続された室内ユニットの人感センサー検知の有効/無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の赤外線センサー制御を行うことができません。
	グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合
	2 リモコン設定 サービスパスワード	リモコン親子設定
吸込センサー制御		1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別/親機/平均の選択が可能です。
リモコンセンサー		リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切替可能です。
リモコンセンサー補正		リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房/暖房 別々に補正可能です。
運転モード選択		各運転モード毎に有効/無効を設定できます。
設定温度単位		設定温度の単位を設定します。 ・℃/°Fの選択が可能です。
ファン速度		ファン速度の選択が可能です。
外部入力設定		1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設定されます。
上下ルーパ制御		上下ルーパの[4位置停止]/[フリー停止]の切換ができます。
左右ルーパ制御		左右ルーパの[固定位置停止]/[フリー停止]の切換ができます。
換気設定		換気ユニット組合せ制御が設定できます。
停電補償		停電復帰した場合の制御内容を設定できます。
設定温度自動設定		設定温度自動の有効/無効を選択できます。
風量自動設定		風量自動の有効/無効を選択できます。
3 室内設定 サービスパスワード		風速設定
	フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。
	外部入力1設定	外部入力1の制御内容を換えられます。
	外部入力1方式切換	外部入力1の信号方式を換えられます。
	外部入力2設定	外部入力2の制御内容を換えられます。
	外部入力2方式切換	外部入力2の信号方式を換えられます。
	暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0~+3℃の範囲で補正できます。
吸込温度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。	

設定および表示項目		詳細内容
3 室内設定 サービスパスワード	冷房ファン制御	冷房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
	暖房ファン制御	暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
	フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。
	フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。
	ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。
	冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
	暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
	暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。
	送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。
	外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。
	運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を3種類から選択できます。
	サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。
	風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。
	室内過負荷アラーム	運転開始30分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CnT-5)から過負荷アラーム信号を送信します。
外部出力設定	外部出力1~4に割り当てる機能を換えられます。	
4 サービス・メンテナンス サービスパスワード	エアコンNo. 表示	リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。
	次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。
	運転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。
	点検表示	
	異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。
	異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。
	異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。
	定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。
	室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。
	特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。
室内機容量表示	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	
お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	
8.困ったときは・・・		
1 連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	
2 サービスを依頼される前にQ & A	Q & Aが表示されます。	
9.点検表示		
点検表示確認	異常発生時の表示	
10.パソコン接続		
USB接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	

9. 電装品故障診断要領

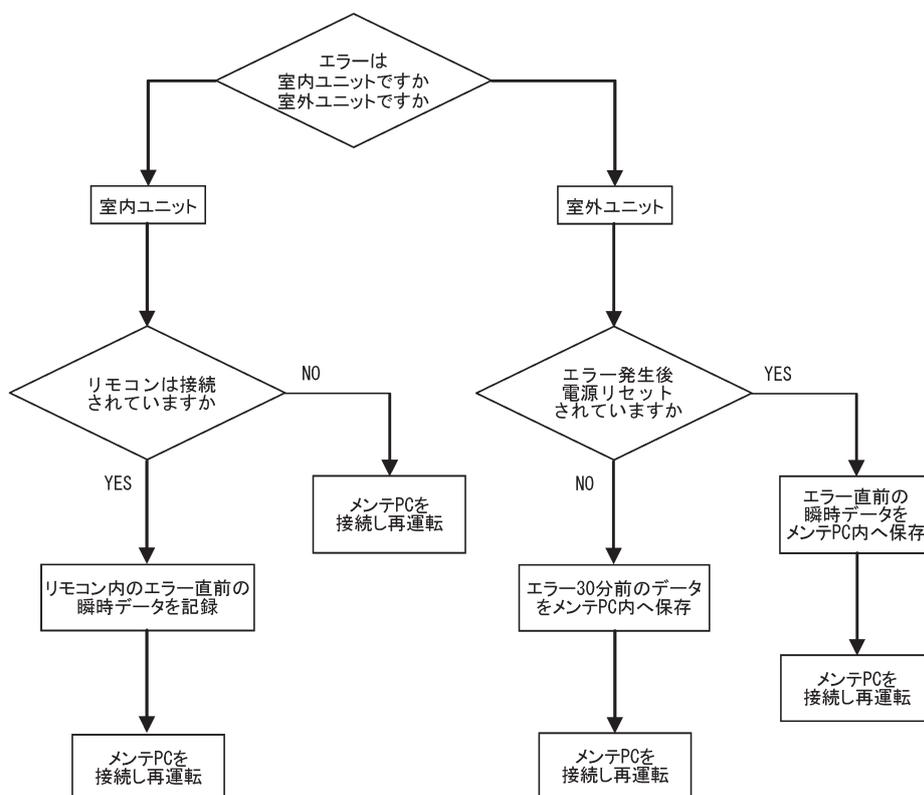
9.1 故障診断の基本

故障診断の基本はメンテ PC を接続してデータを確認／分析／記録することです。

現地に着いたら必ずメンテ PC を接続して作業してください。

エラーデータの分析方法（基本的な進め方）

- ・ エラーは運転中に発生したのか停止時に発生したのか
- ・ 室外ユニット／室内ユニットの設置条件によるものか（冷媒量、配管長、ショートサーキット、フィルタのつまり等）
- ・ 設置上の初歩的なミスはないか（アドレスミスや配管と配線のテレコ等）
- ・ ハード面（部品）の故障かどうか（SV 本体、コイル、キャピラリー、逆止弁、センサ等）
- ・ 要注意部品かどうか
圧縮機、インバータ基板、室外 DC ファンモータ
- ・ 電装品部品の故障かどうか



9.2 故障診断の内容

(1) 点検表示一覧

リモコン表示	7セグメント表示	内容	分類	記載ページ
なし	—	運転するが、冷えない	システム異常	62
なし	—	運転するが、暖まらない	システム異常	63
なし	—	漏電ブレーカ作動	システム異常	64
なし	—	音・振動が非常に大きい（その1）	現地設置不良	65
なし	—	音・振動が非常に大きい（その2）	ユニット異常	66
なし	—	音・振動が非常に大きい（その3）	ユニット異常	67
なし	—	電源系統異常（室内基板への電源供給）	配線接続不良	68
なし	—	電源系統異常（リモコンへの電源供給）	配線不良	69
なし	—	内機確認中	通信不良	70~75
無表示	—	[無表示]	通信不良	76
E1	—	リモコン通信回路不良	通信異常	77
E2	—	室内アドレス重複	アドレス設定不良	78
E3	—	室外・信号系統異常	アドレスペアリング設定不良	79
E5	—	運転中に通信異常	通信異常	84
E6	—	室内熱交温度センサ不良	センサ断線	81
E7	—	室内吸込温度センサ不良	センサ断線	82
E9	—	室内ファンモータ異常（51F 作動）	室内ファンモータ異常	83
E10	—	1 リモコン複数台制御時接続台数オーバ（17 台以上）	通信異常	84
E11	—	室内ユニットアドレス設定不良	アドレス設定不良	85
E12	—	室内ユニットでのアドレス設定不良	アドレス設定不良	86
E18	—	親子室内アドレス設定不良	システム異常	87
E19	—	運転チェックモード異常	設定不良	88
E28	—	リモコン温度センサ断線	センサ断線	89
E63	E63	緊急停止	現地設定不良	90

(2) 故障診断

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 運転するが、冷えない
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種
全機種
2. 異常検出方法
3. 異常発生条件
4. 予想原因
<ul style="list-style-type: none"> ・ 圧縮機の圧縮不良 ・ 膨張弁動作不良

5. 故障診断と処置	
診 断	処 置
<pre> graph TD Start[室内ユニット送風機の運転確認 吸込-吹出温度差の測定] --> D1{冷房温度差 10~20℃以内} D1 -- YES --> D2{設置以降 の熱負荷 増加} D1 -- NO --> D3{圧縮機は運転 しているか?} D2 -- YES --> B1[機種選定ミス,熱負荷再計 算願います] D2 -- NO --> D4{リモコンで冷房・除湿・暖房の 運転を操作した際「運転待機 中」の表示(3秒間)がでる。} B1 --> B1 D3 -- YES --> D5{圧縮機回転 数が低い} D4 -- YES --> D5 D4 -- NO --> D5 D5 -- NO --> B2[下記点検を行う ・軽度フィルタの詰り ・軽度熱交換器の汚れ ・軽度ショートサーキット ・軽度冷媒量過不足 ・圧縮機圧縮不良] D5 -- YES --> B3[室外コントローラによる運転制御機能の 「圧縮機回転数の決定」および 「圧縮機回転数による保護制御」から。 該当する運転制御内容を確認してください。] B3 --> D6{内外の空気条件は, 定格条件付近か?} D6 -- YES --> B4[下記は参考にしてください。 ・重度のフィルタ詰り ・重度の熱交換器の汚れ ・重度のショートサーキット ・重度の冷媒量過不足 ・圧縮機保護始動中 ・室内ユニットファンタップ ・サイレントモードの有効設定] D6 -- NO --> B5[ユニットは正常に運転し,圧縮機や各 部品を保護している可能性があります。 不明な点がございましたら, 弊社サービスセンターにご連絡ください。] </pre>	<p>正常です。 (本ユニットは、電源リセット後再スタートする場合圧縮機ドーム温度検知によりソフトスタートします。)</p> <p>増設の検討が必要です。</p> <p>圧縮機の冷凍機油保護制御が作動しています。制御内容は、マイコン制御機能の圧縮機始動制御をご覧ください。</p> <p>異常検出制御により圧縮機を停止させている可能性があります。マイコン制御機能の圧縮機回転数による異常停止制御の内容をご確認ください。</p> <p>下記点検を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽度フィルタの詰り ・ 軽度熱交換器の汚れ ・ 軽度ショートサーキット ・ 軽度冷媒量過不足 ・ 圧縮機圧縮不良 <p>該当する運転制御より原因と思われる箇所の点検を行う。</p> <p>下記は参考にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度のフィルタ詰り ・ 重度の熱交換器の汚れ ・ 重度のショートサーキット ・ 重度の冷媒量過不足 ・ 圧縮機保護始動中 ・ 室内ユニットファンタップ ・ サイレントモードの有効設定

注記：

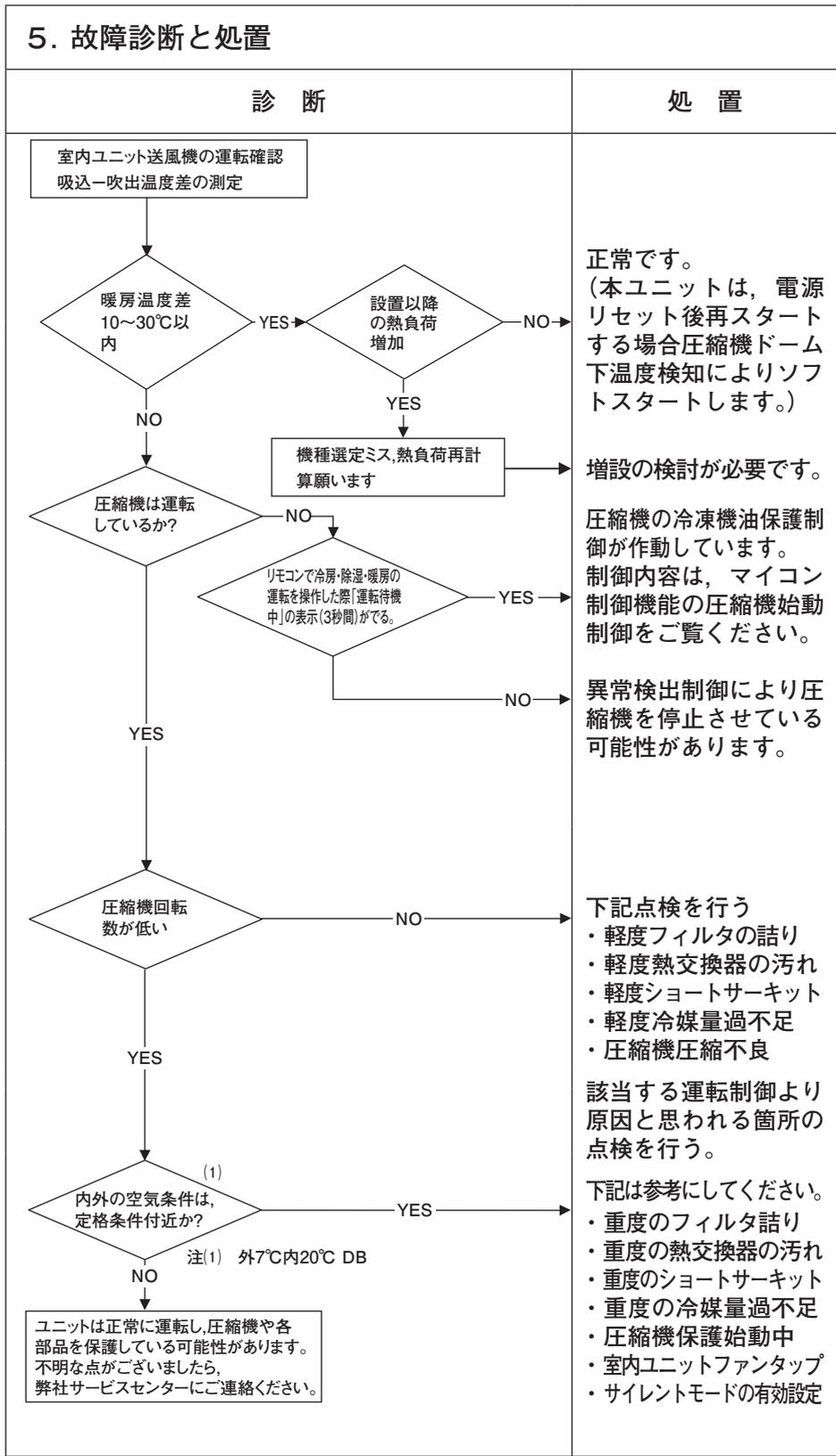
表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 運転するが、暖まらない
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

- 4. 予想原因**
- ・四方切換弁動作不良
 - ・圧縮機の圧縮不良
 - ・膨張弁動作不良



注記：

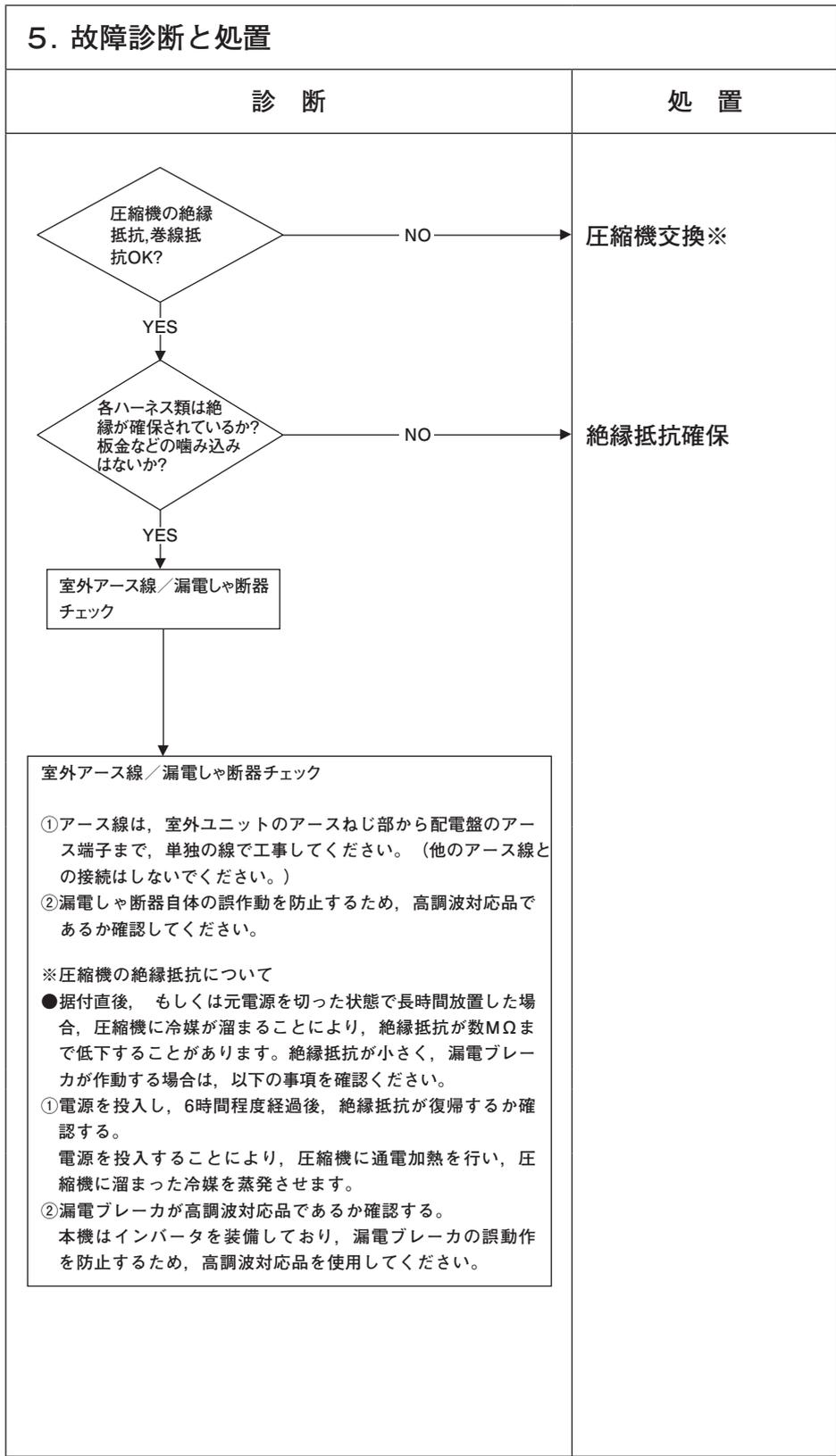
表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 漏電ブレーカ作動
	室内	消灯	消灯	
	室外	消灯	消灯	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因
・ 圧縮機不良
・ ノイズ



注記：

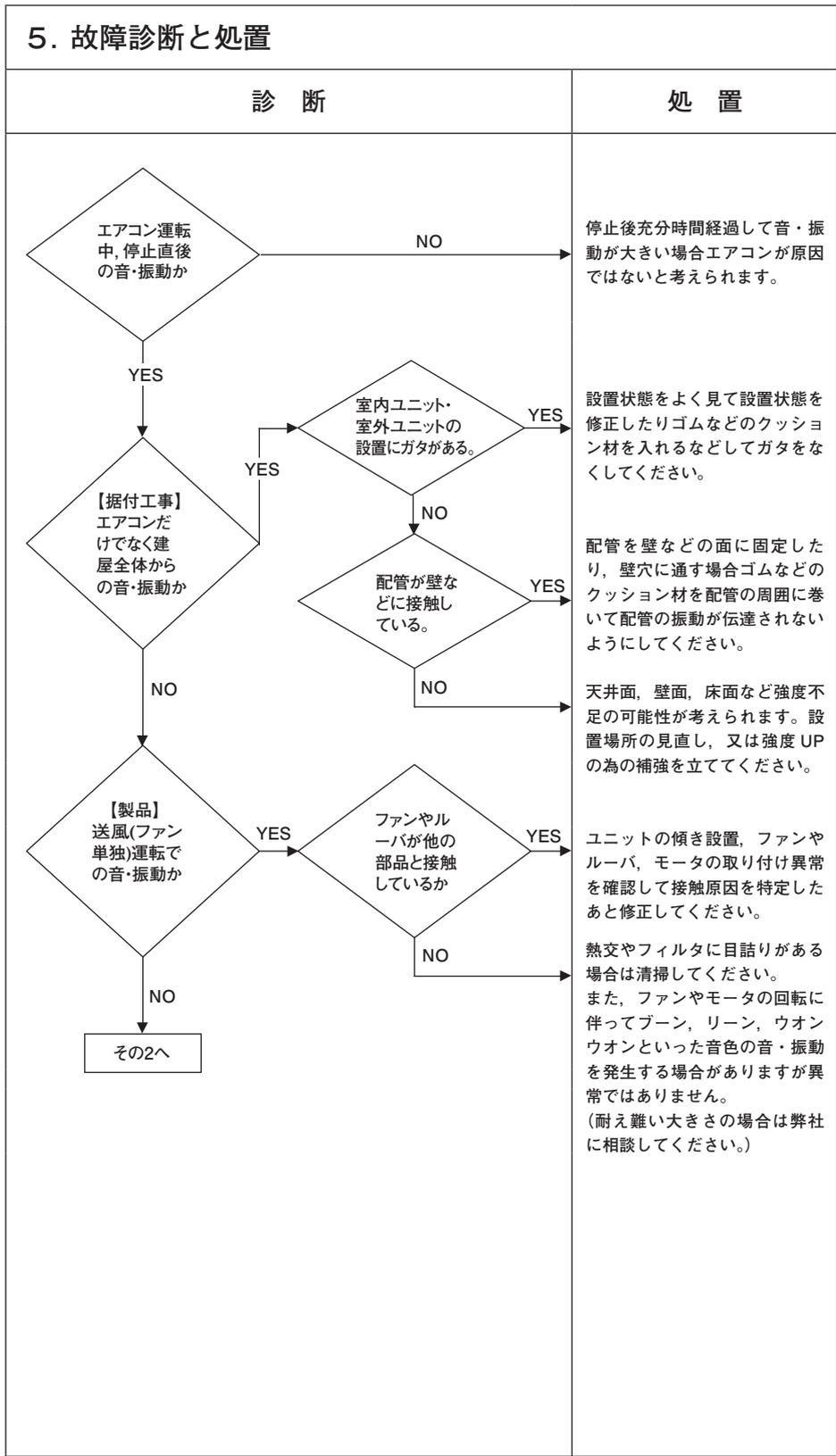
表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい (その1)
	室内	—	—	
	室外	—	—	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因
- ①据付工事不良
 - ・設置時の防振対策不良
 - ・取付面の強度不足
 - ②製品不良
 - ・工場出荷前／後不良
 - ③運転調整不良
 - ・冷媒の過多／不足など



注記：

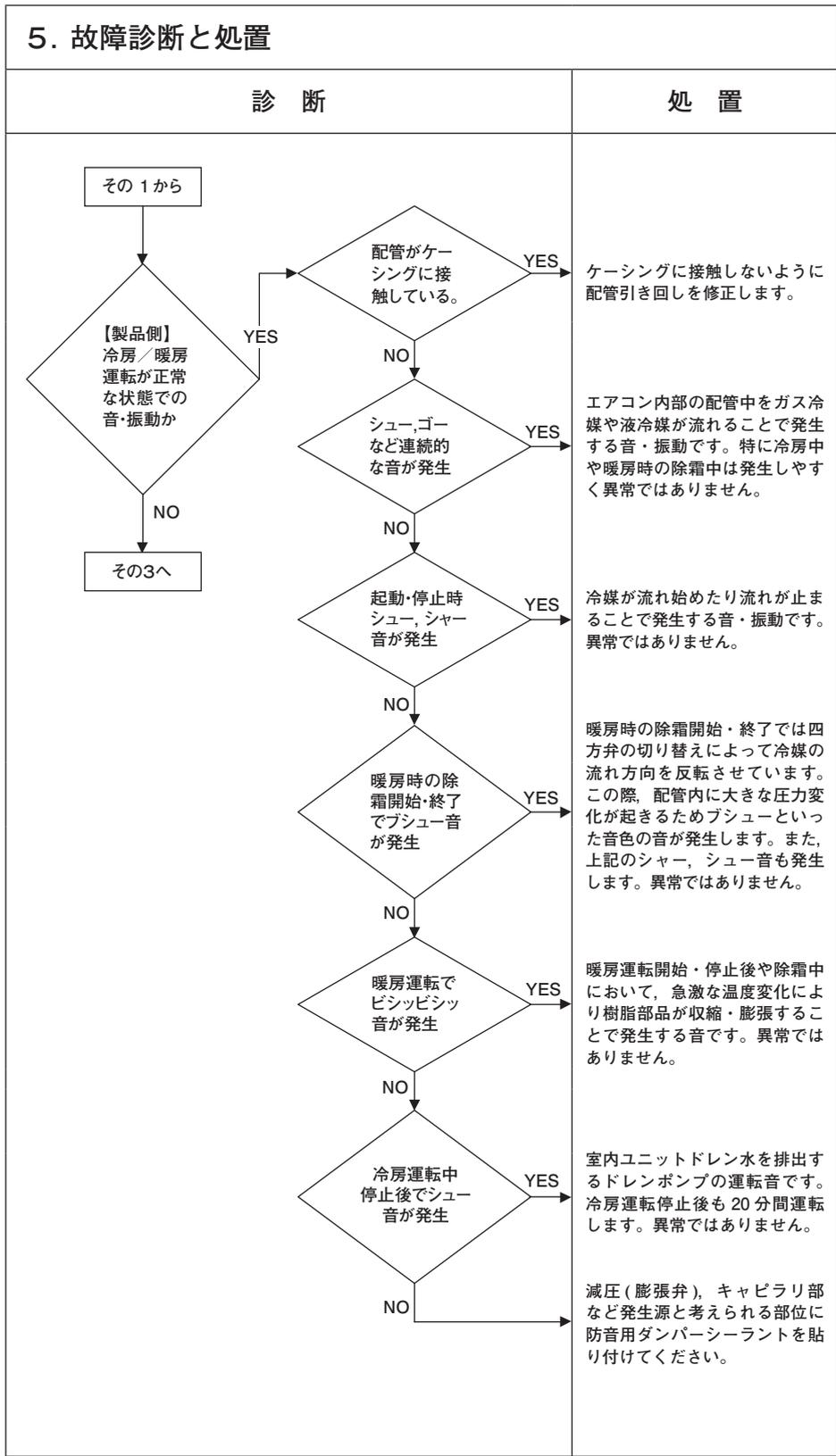
表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい (その2)
	室内	—	—	
	室外	—	—	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因



注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい (その3)
	室内	—	—	
	室外	—	—	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

5. 故障診断と処置	
診 断	処 置
<p>その2から</p> <p>↓</p> <p>【運転調整】 冷房／暖房運転が不良な状態での音・振動か</p> <p>◇</p> <p>YES →</p>	<p>冷房／暖房運転で温度が適正でない不良な状態の場合、以下の懸念があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷媒の過多充填 ・冷媒の不足充填 ・空気、窒素などの混入 <p>このため、冷媒回収、真空乾燥、冷媒再充填を実施してください。</p> <p>※音・振動はさまざまなことが原因となって発生するため、上記の内容に当てはまらない場合があると思われれます。 その場合、以下の点を確認・メモした後弊社に相談願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内／室外ユニット ・冷房／暖房／送風 ・起動／停止／運転中 ・運転状態 (室内外温度、圧力) ・発生時間 ・圧縮機回転数、熱交センサ温度、電子膨張弁開度等のリモコンによる運転データ ・音色 ・その他気付き事項

注記：

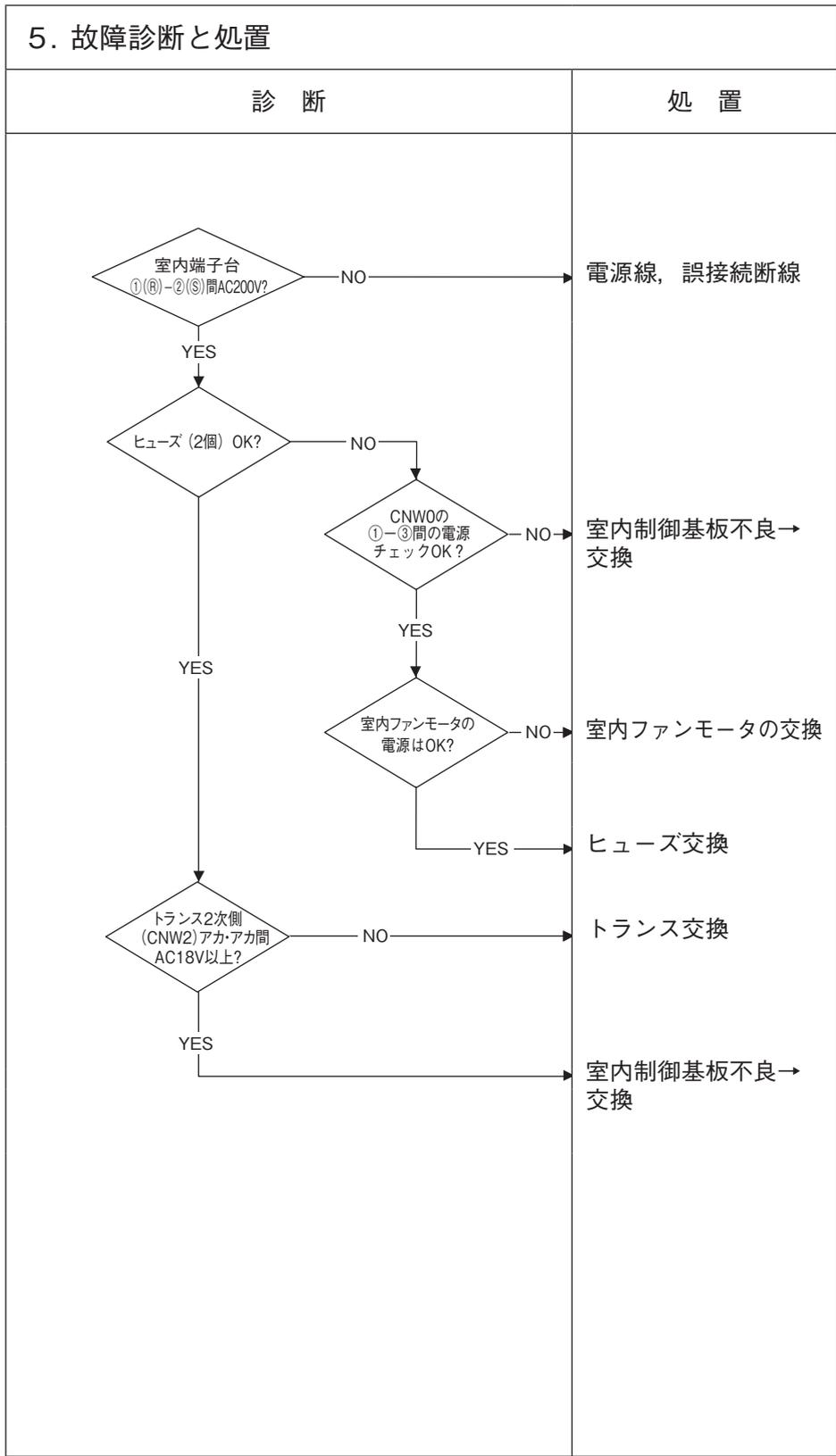
表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 電源系統異常 (室内基板への電源供給)
	室内	消灯	消灯	
	室外	消灯	2回点滅	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因
- ・ 渡り配線, 誤接続or 断線
 - ・ ヒューズの断線
 - ・ トランスの故障
 - ・ 室内電源基板故障
 - ・ ハーネス断線
 - ・ 室内制御基板故障



注記：

表示 リモコンなし	LED	緑	赤	内容 電源系統異常 (リモコンへの電源供給)
	室内	消灯	連続点滅	
	室外	消灯	連続点滅	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因
<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコン線断線／短絡 ・ リモコン不良 ・ ノイズ誤動作 ・ ハーネス断線 ・ 室内制御基板故障

5. 故障診断と処置	
診 断	処 置
<pre> graph TD A{リモコン配線のゆるみはないか?} -- YES --> B[修正] A -- NO --> C{リモコン線が断線／短絡} C -- YES --> D[配線交換] C -- NO --> E[リモコン線をはずす] E --> F{室内端子台 X-Y間の電圧 DC15V以上?} F -- YES --> G[リモコン交換] F -- NO --> H{トランス2次側 (チャージャー) 間AC23V以上?} H -- NO --> I[トランス交換] H -- YES --> J[室内制御基板交換] </pre>	

注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容	内機確認中
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	連続点滅	連続点滅		

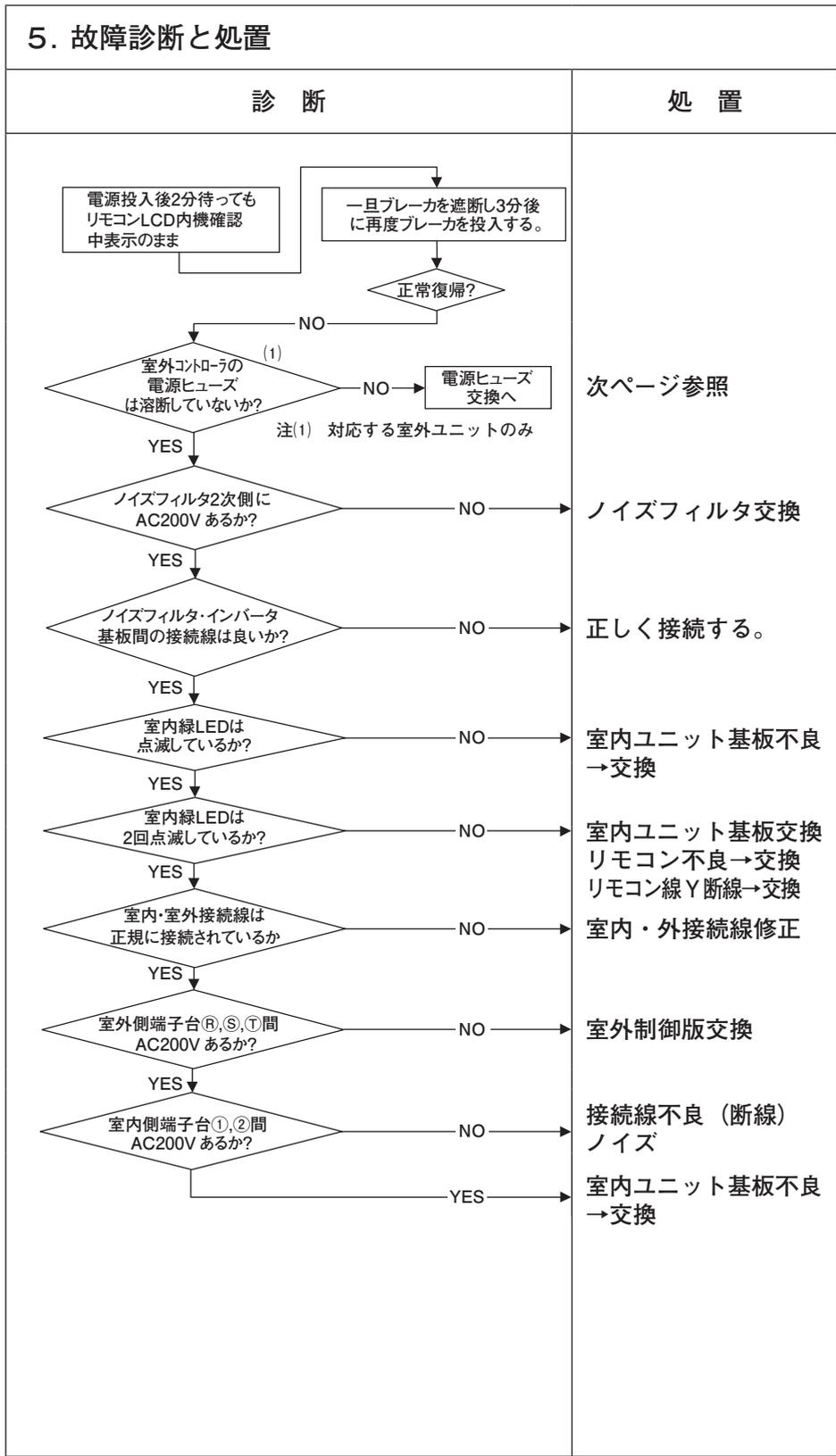
1. 対象機種

全機種
(電源投入後2分待ってもリモコンLCD「内機確認中」表示のままの場合)

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

- 4. 予想原因**
- ・ヒューズの断線
 - ・ノイズフィルタの故障
 - ・基板間の接続
 - ・室内ユニット基板故障
 - ・リモコン不良
 - ・リモコン線断線
 - ・室外ユニット制御基板故障



注記：通信中に異常が発生した場合は故障記号 E5 を表示します。(室外赤 LED2 回点滅) 点検要領は上記と同一です。(但し、接続関連は除く) また、E5 発生後電源リセットした場合、異常が継続しておればリモコン LCD 「内機確認中」表示になります。短時間 (1 分以内) にブレーカ電源投入を繰り返すと内機確認中表示することがあります。この場合、ブレーカを OFF して 3 分お待ちください。

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容 <h2 style="text-align: center;">内機確認中</h2>
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	連続点滅	

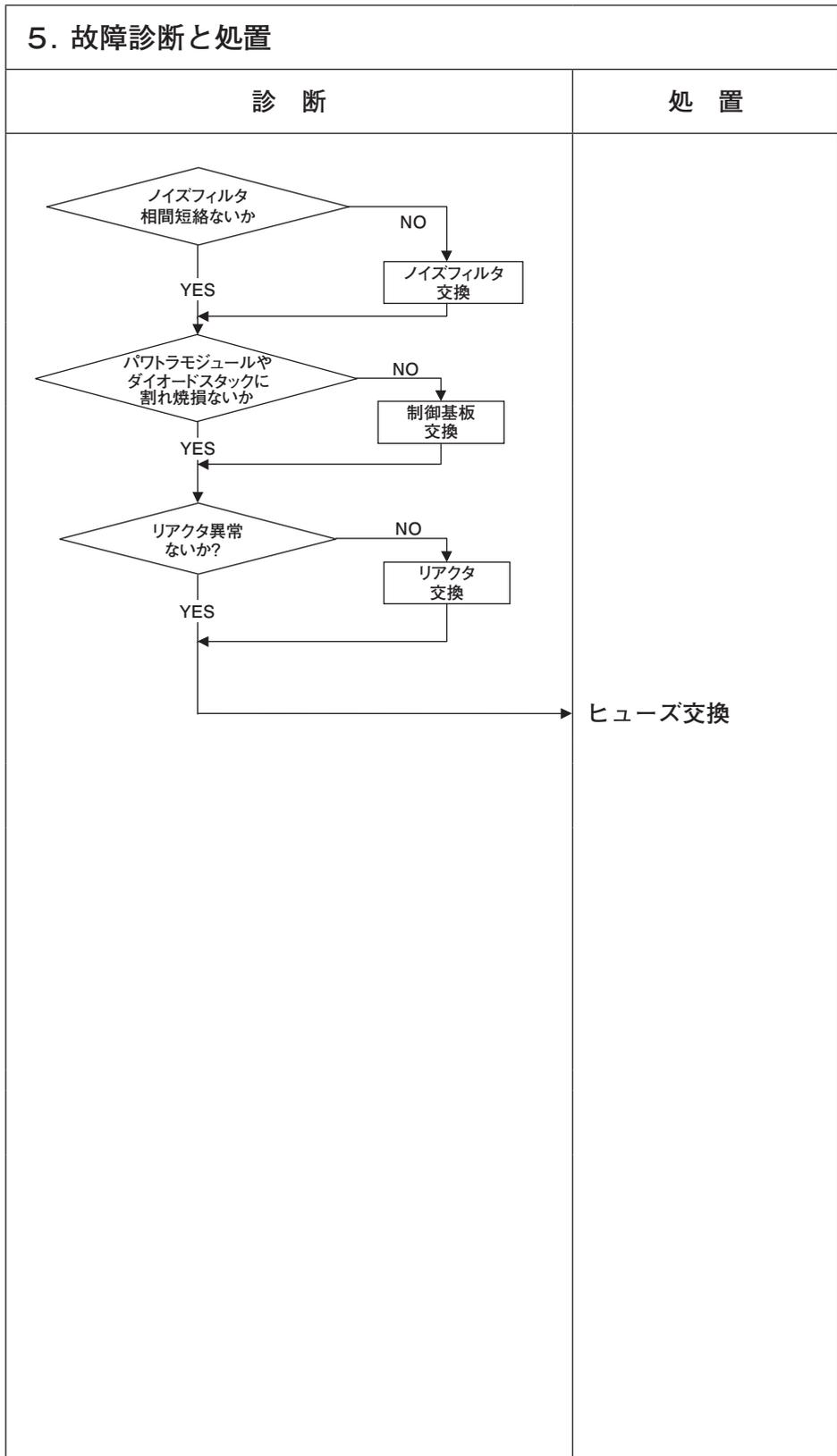
1. 対象機種

全機種
(ヒューズ溶断の場合、
電源ヒューズ交換前の
インバータ点検方法)

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

- 4. 予想原因**
- ・ヒューズの断線
 - ・ノイズフィルタの故障
 - ・基板間の接続
 - ・室内ユニット基板故障
 - ・リモコン不良
 - ・リモコン線断線
 - ・室外ユニット制御基板故障



注記：

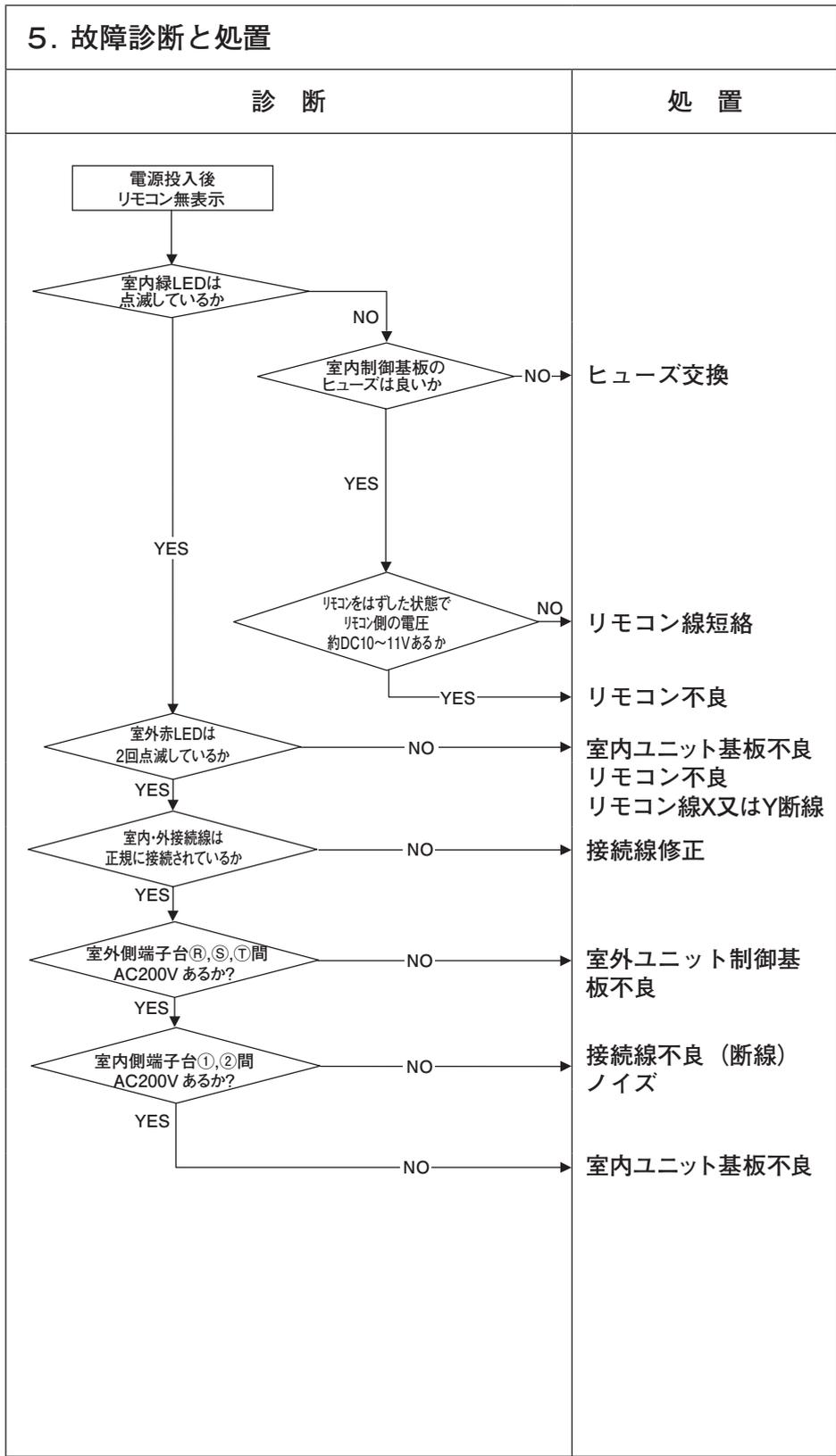
表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容	内機確認中
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	連続点滅	連続点滅		

1. 対象機種
全機種
(電源投入後リモコン無表示の場合)

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因
- ・ヒューズの断線
 - ・ノイズフィルタの故障
 - ・基板間の接続
 - ・室内ユニット基板故障
 - ・リモコン不良
 - ・リモコン線断線
 - ・室外ユニット制御基板故障



注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	連続点滅	

内機確認中

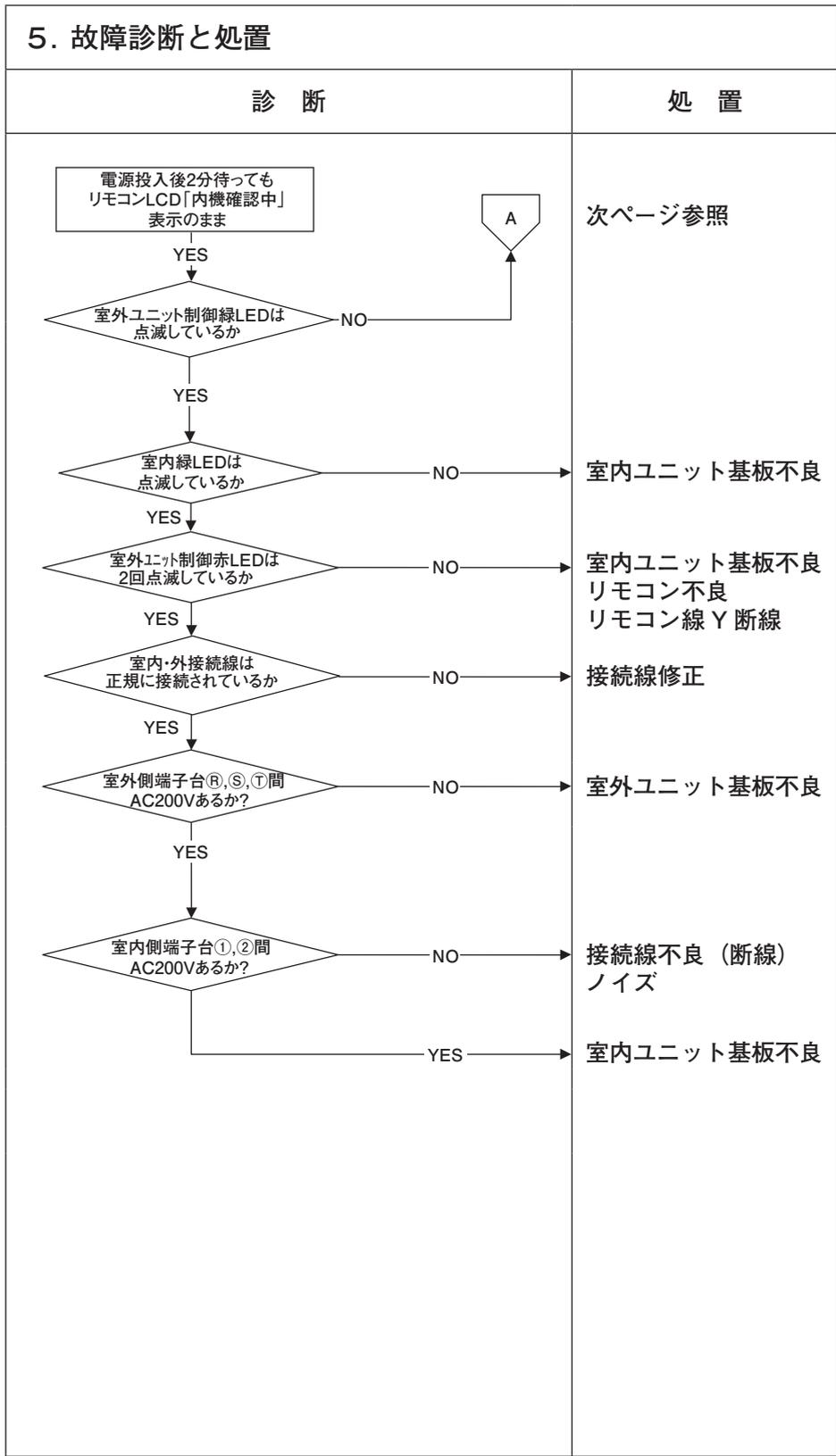
1. 対象機種

全機種
(電源投入後2分待ってもリモコンLCD「内機確認中」表示のままの場合)

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

- ### 4. 予想原因
- ・ヒューズの断線
 - ・ノイズフィルタの故障
 - ・基板間の接続
 - ・室内ユニット基板故障
 - ・リモコン不良
 - ・リモコン線断線
 - ・室外ユニット制御基板故障



注記：

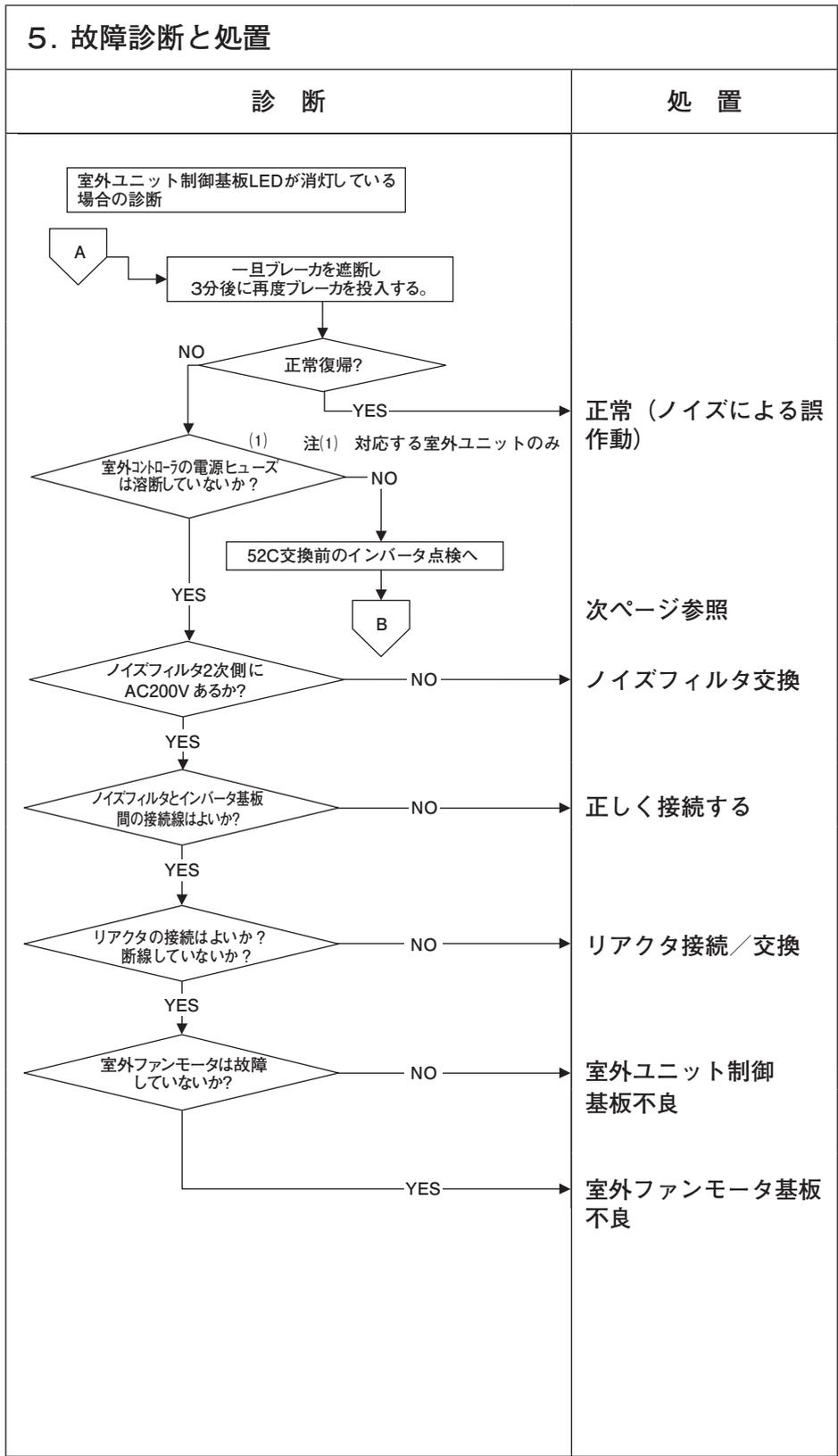
表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容 内機確認中
	室内	消灯	消灯	
	室外	消灯	消灯	

1. 対象機種
全機種
(室外ユニット制御基板 LED)
が消灯している場合の診断

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

- 4. 予想原因**
- ・ヒューズの断線
 - ・ノイズフィルタの故障
 - ・基板間の接続
 - ・室内ユニット基板故障
 - ・リモコン不良
 - ・リモコン線断線
 - ・室外ユニット制御基板故障



注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容 <h2 style="text-align: center;">内機確認中</h2>
	室内	消灯	消灯	
	室外	消灯	消灯	

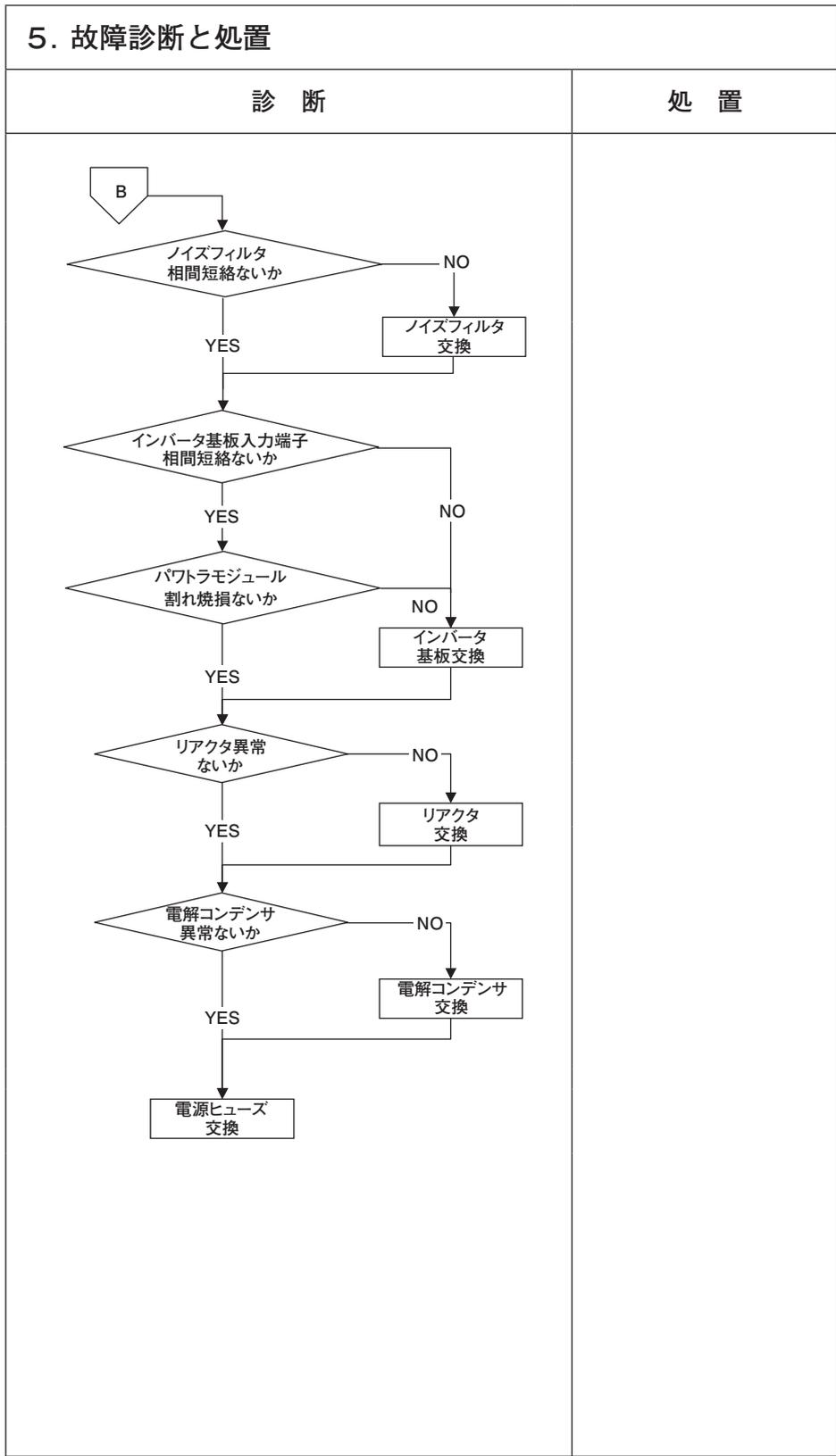
1. 対象機種

全機種
(ヒューズ溶断の場合、
電源ヒューズ交換前の
インバータ点検方法)

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

- 4. 予想原因**
- ・ヒューズの断線
 - ・ノイズフィルタの故障
 - ・基板間の接続
 - ・室内ユニット基板故障
 - ・リモコン不良
 - ・リモコン線断線
 - ・室外ユニット制御基板故障



注記：

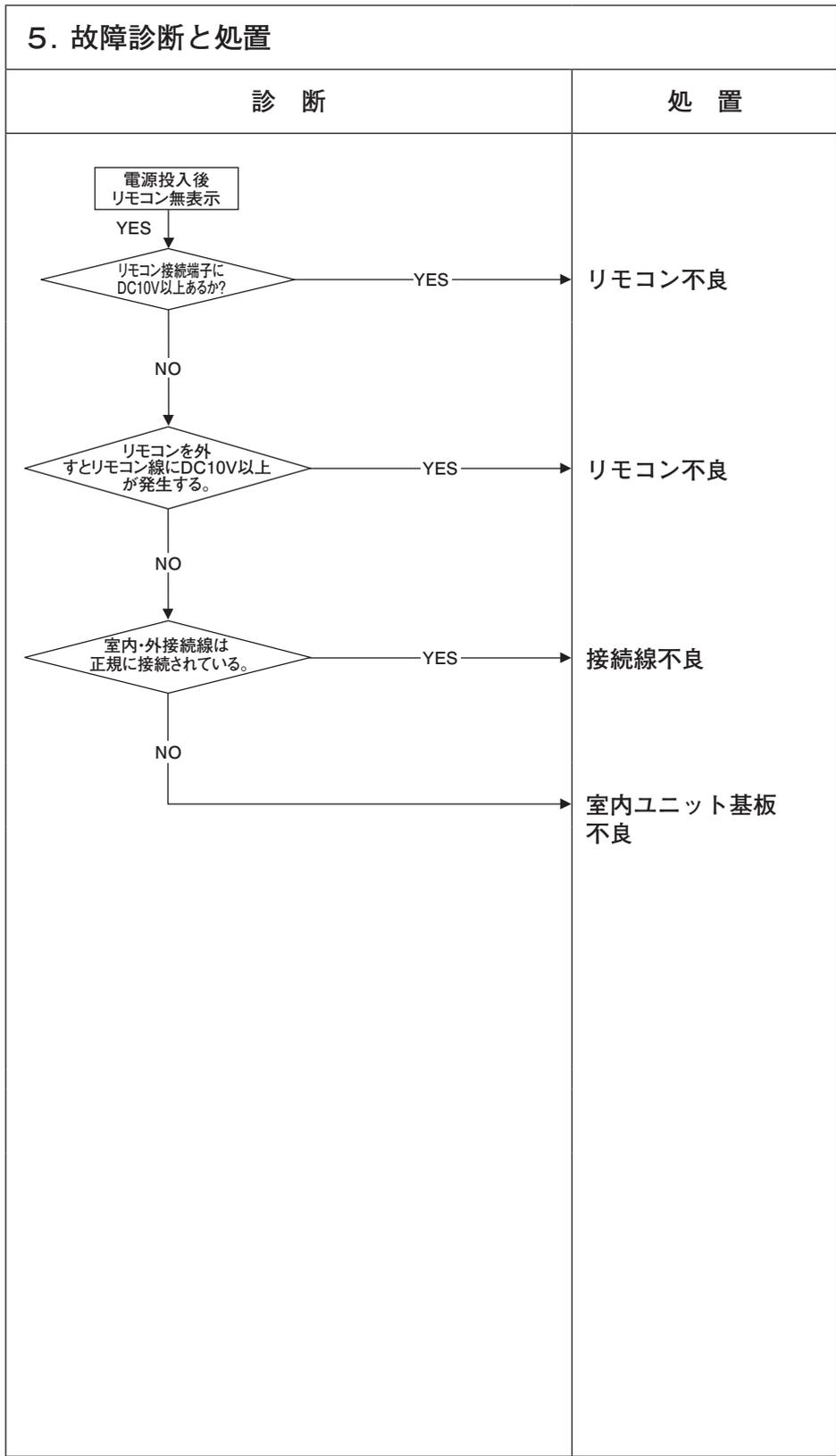
表示 リモコン:無表示	LED	緑	赤	内容 〔無表示〕
	室内	消灯	消灯	
	室外	消灯	消灯	

1. 対象機種
全機種
(電源投入後リモコン無表示の場合)

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

- 4. 予想原因**
- ・ヒューズの断線
 - ・ノイズフィルタの故障
 - ・基板間の接続
 - ・室内ユニット基板故障
 - ・リモコン不良
 - ・リモコン線断線
 - ・室外ユニット制御基板故障



注記：

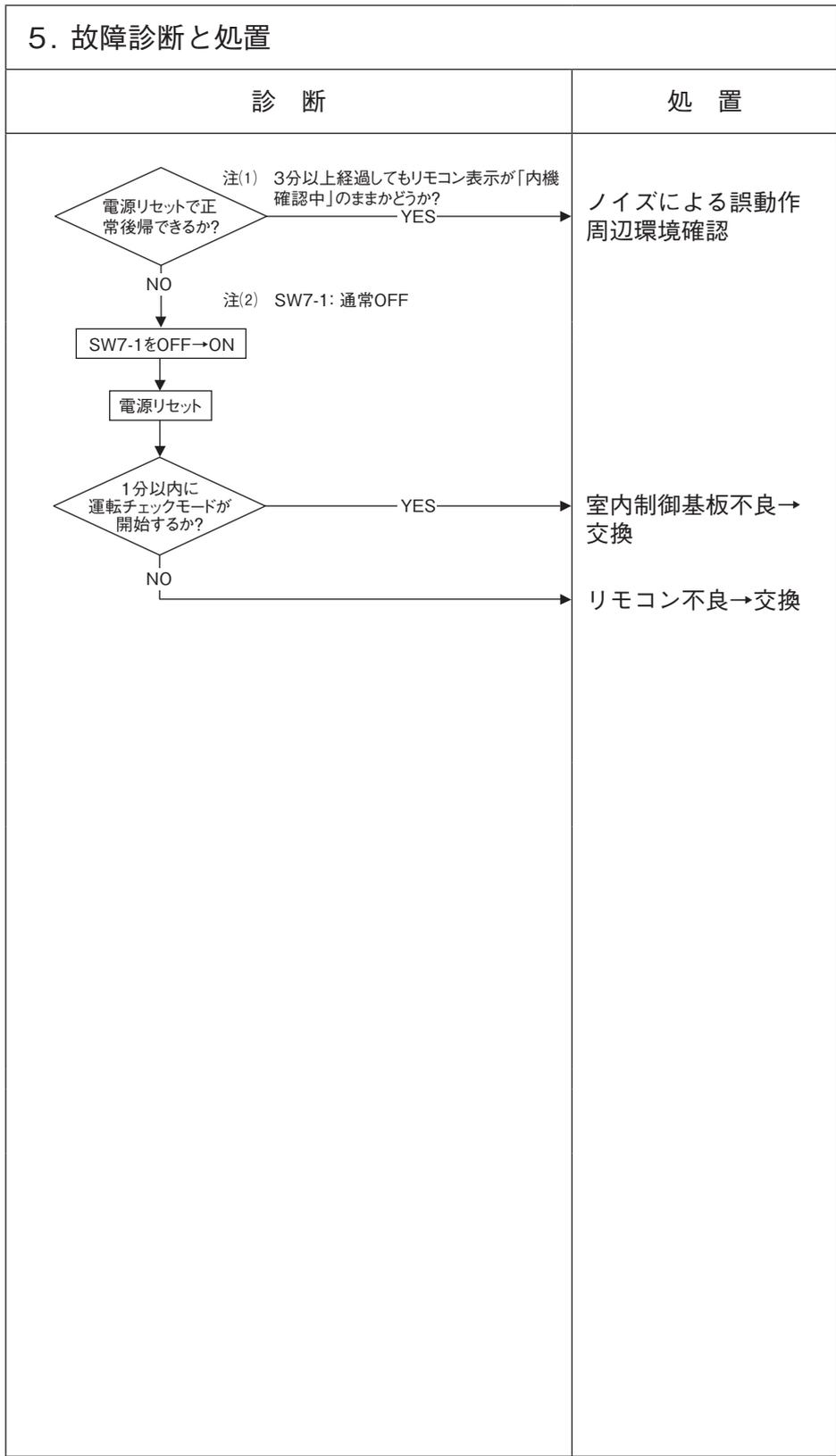
表示 リモコン:E1	LED	緑	赤	内容 リモコン通信回路不良
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法
リモコンー室内ユニット間の通信が運転中に2分以上正常にできない場合(リモコンでのみ検出)

3. 異常発生条件
同上

4. 予想原因
・リモコンー室内ユニット間通信回路不良
・ノイズ
・室内制御基板故障
・リモコン不良



注記：室内側ではリモコンと180秒間正常に通信できない場合、室内ユニットの基板は自動的にリセットスタートします。

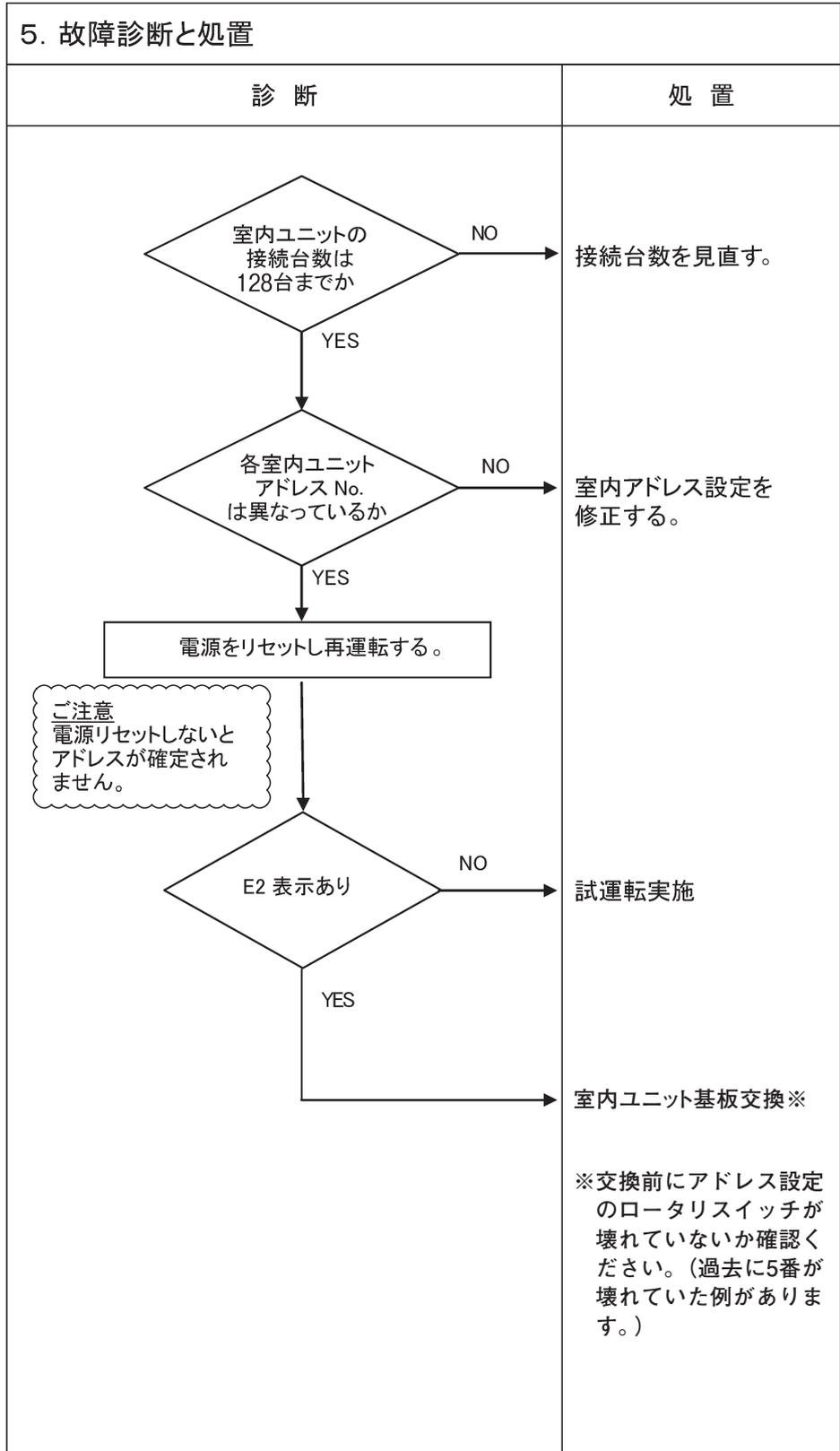
表示 リモコン:E2 7セグメント:-	LED	緑	赤	内容 室内アドレス重複
	室内	連続点滅	連続点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法
同一系統内で室内ユニットが129台以上接続 室内アドレス重複

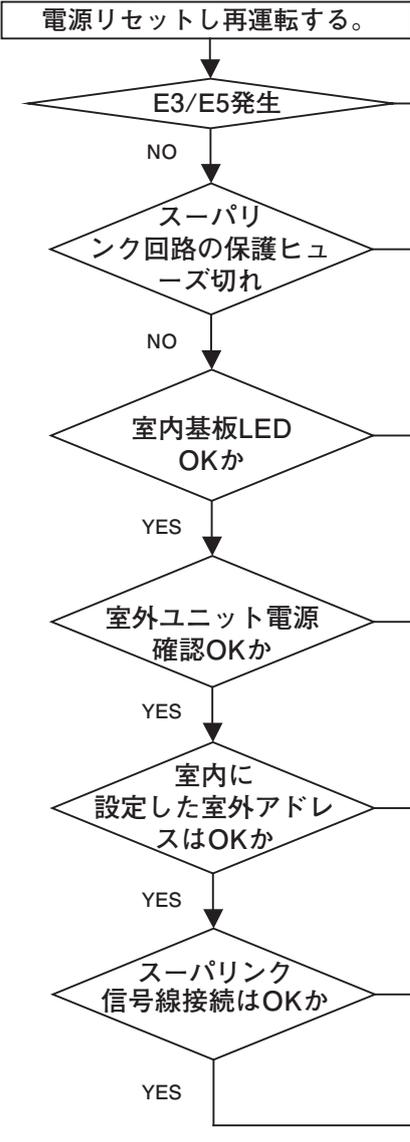
3. 異常発生条件
同上

4. 予想原因
①室内接続台数制限オーバー ②室内アドレスNo.重複 ③室内ユニット基板不良



注記:

表示 リモコン:E3/5 7セグメント:-	LED	緑	赤	内容 室外・信号系統異常
	室内	連続点滅	連続点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種	5. 故障診断と処置		
全機種	診 断		処 置
2. 異常検出方法 同一系統内に室外ユニットがない	E3は室内外の通信が一度も成立しない時に発生する通信エラーです。一旦室内外の通信が成立すればE5となります。共に、現地通信用配線を確認してください。		
3. 異常発生条件 同上			
4. 予想原因 ・ 室外ユニットの電源未投入 ・ 室内・外のペアリング不適合 ・ 室内ユニット基板不良 ・ 室外ユニット基板不良 ・ 現地配線未接続			

注記：

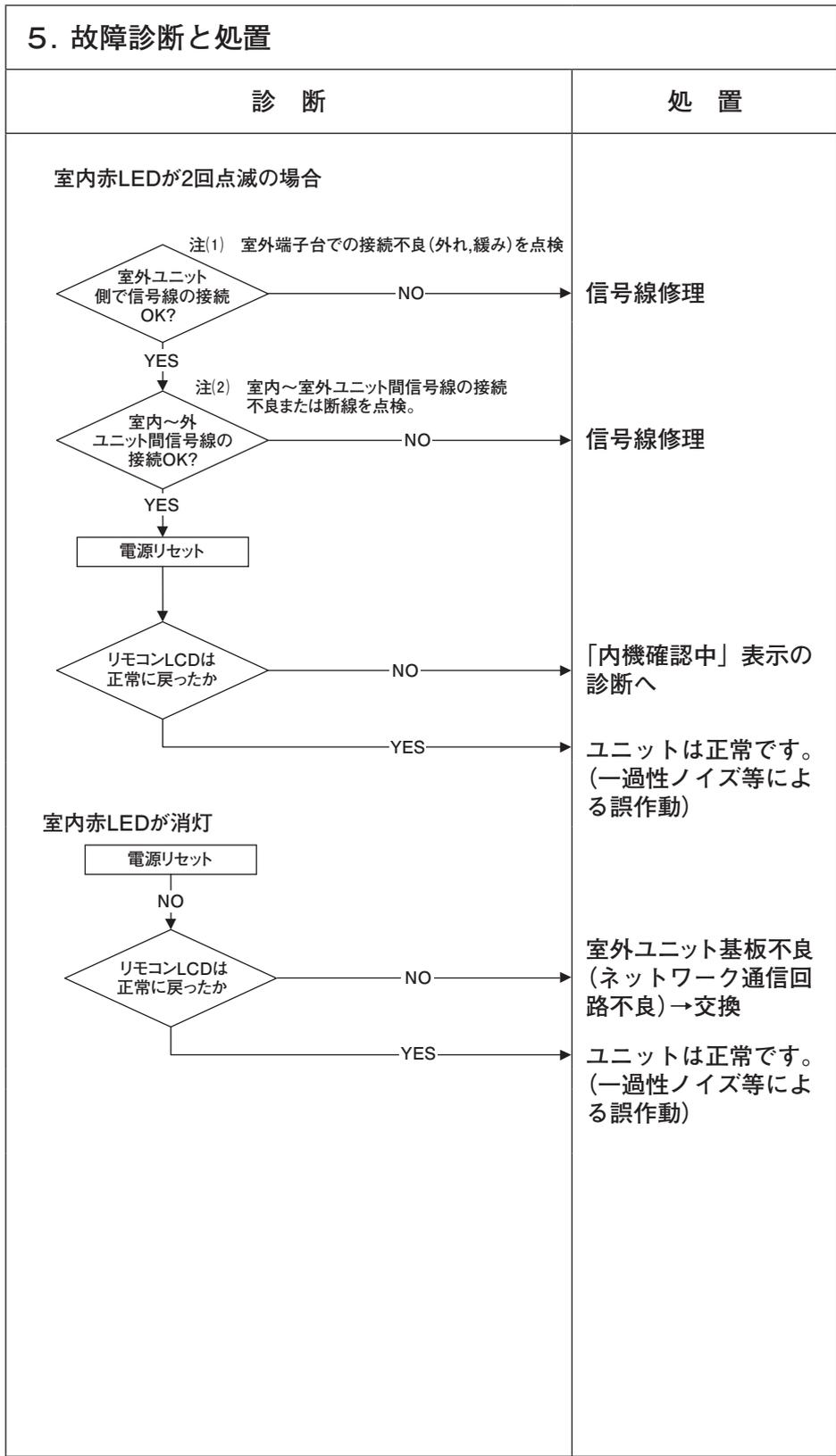
表示 リモコン:E5	LED	緑	赤	内容 運転中に通信異常
	室内	連続点滅	下記参照	
	室外	連続点滅	2回点滅	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法
室内～室外が2分以上正常に通信ができない場合

3. 異常発生条件
運転中に同上を検知

- 4. 予想原因**
- ・号機設定ミス
 - ・リモコン配線断線
 - ・リモコン配線接続不良
 - ・室内ユニット基板不良



注記：ポンプダウンスイッチを押すと、室内ユニットとの通信をキャンセルするため、リモコンには“伝送異常・E5”が表示されますが異常ではありません。

表示 リモコン:E6	LED	緑	赤	内容 室内熱交温度センサ不良
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法
室内熱交温度センサ (Thi-R1, R2, R3) の異常低温および異常高温 (抵抗) を検知

3. 異常発生条件

- 温度センサが -40°C 以下を連続5秒間検知 (断線) した場合は圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させ、1回目の検知から60分以内に再検知した場合。
- 70°C 以上を連続5秒間検知 (短路)

4. 予想原因

- 室内熱交センサコネクタ不良
- 室内熱交センサ不良
- 室内ユニット基板故障

5. 故障診断と処置

診断	処置															
<p>室内熱交温度センサコネクタの接続はOKか?</p> <p>NO →</p> <p>YES →</p>	<p>修正→コネクタ接続</p> <p>室内熱交温度センサ不良→交換</p> <p>室内ユニット基板不良→交換 (室内熱交温度センサ入力回路不良)</p>															
<p>室内熱交温度センサの特性はOKか?</p> <p>NO →</p> <p>YES →</p>																
<p>温度-抵抗特性</p> <table border="1"> <caption>温度-抵抗特性 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>温度 (°C)</th> <th>温度センサ抵抗 (kΩ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>15</td></tr> <tr><td>10</td><td>10</td></tr> <tr><td>20</td><td>7</td></tr> <tr><td>25</td><td>5</td></tr> <tr><td>30</td><td>4</td></tr> <tr><td>40</td><td>3</td></tr> <tr><td>50</td><td>2.5</td></tr> </tbody> </table>		温度 (°C)	温度センサ抵抗 (kΩ)	0	15	10	10	20	7	25	5	30	4	40	3	50
温度 (°C)	温度センサ抵抗 (kΩ)															
0	15															
10	10															
20	7															
25	5															
30	4															
40	3															
50	2.5															

注記：

表示

リモコン:E7

LED

緑

赤

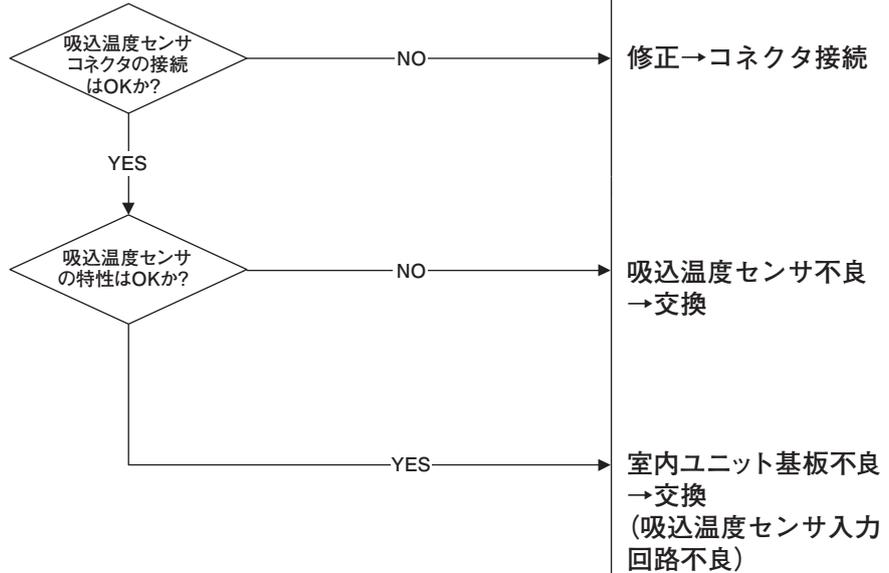
内容

室内吸込温度センサ不良

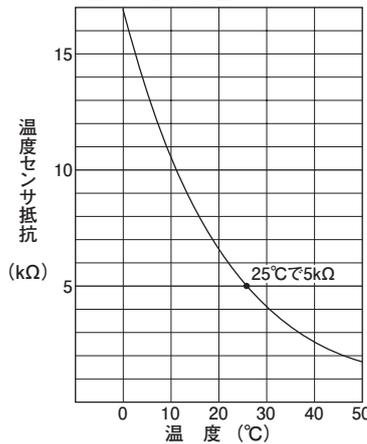
5. 故障診断と処置

診断

処置



温度-抵抗特性



1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内吸込温度センサ (Thi-A) の異常低温および異常高温 (抵抗) を検知

3. 異常発生条件

・温度センサが -20°C 以下を連続 5 秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3 分遅延後に圧縮機を再起動させ、1 回目の検知から 60 分以内に再検知した場合。

4. 予想原因

- ・吸込温度センサコネクタ不良
- ・吸込温度センサ不良
- ・室内ユニット基板故障

注記：

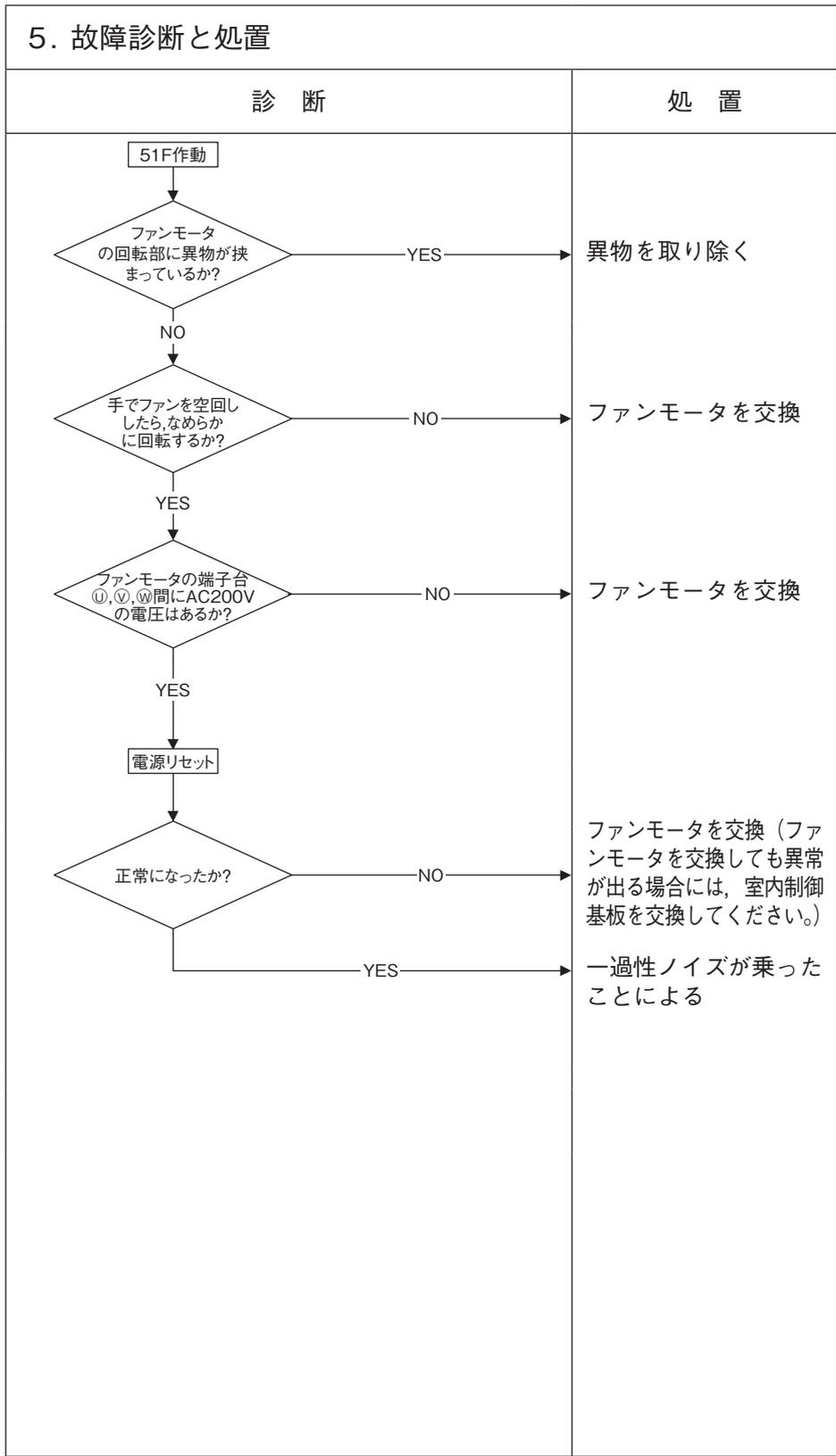
表示 リモコン:E9	LED	緑	赤	内容 室内ファンモータ異常 (51F作動)
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法
室内ファンモータ回転数

3. 異常発生条件

4. 予想原因
- ・室内制御基板不良
 - ・ファンモータの回転部の異物
 - ・ファンモータ不良
 - ・室内制御基板の塵埃
 - ・外来ノイズ, サージ



注記：

表示 リモコン:E10	LED	緑	赤	内容 1 リモコン複数台制御時 接続台数オーバー (17台以上)
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法
1 リモコンで室内ユニット17台以上を検知したとき

3. 異常発生条件
同上

4. 予想原因
<ul style="list-style-type: none"> ・接続台数オーバー ・リモコン不良

5. 故障診断と処置	
診 断	処 置
<pre> graph LR A{1個のリモコンに17台以上接続していないか} -- NO --> B[リモコン不良→交換] A -- YES --> C[16台以下に変更] </pre>	

注記：

表示 リモコン:E11 7セグメント:-	LED	緑	赤	内容 室内ユニットアドレス設定不良
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法
複数室内ユニットを1リモコンで結線し、リモコンでアドレス設定した場合

3. 異常発生条件
同上

4. 予想原因
アドレス設定方法のまちがい 1リモコンで複数の室内ユニットを制御する場合、リモコンアドレス設定はできない。手動または自動アドレス設定のみ（冷媒系統を信号線がまたがない場合のみ）

5. 故障診断と処置	
診 断	処 置
<pre> graph TD A[E11表示] --> B{室内ユニットアドレス設定をリモコンアドレスで設定した。} B -- YES --> C[リモコン交換] </pre>	
<p>下図リモコンの結線で、リモコンアドレス設定するとE11発生。</p>	
<p>室内ユニット基板上的ロータリースイッチSW1, 2およびディップスイッチSW5-2でアドレス設定を行う。</p>	

注記:

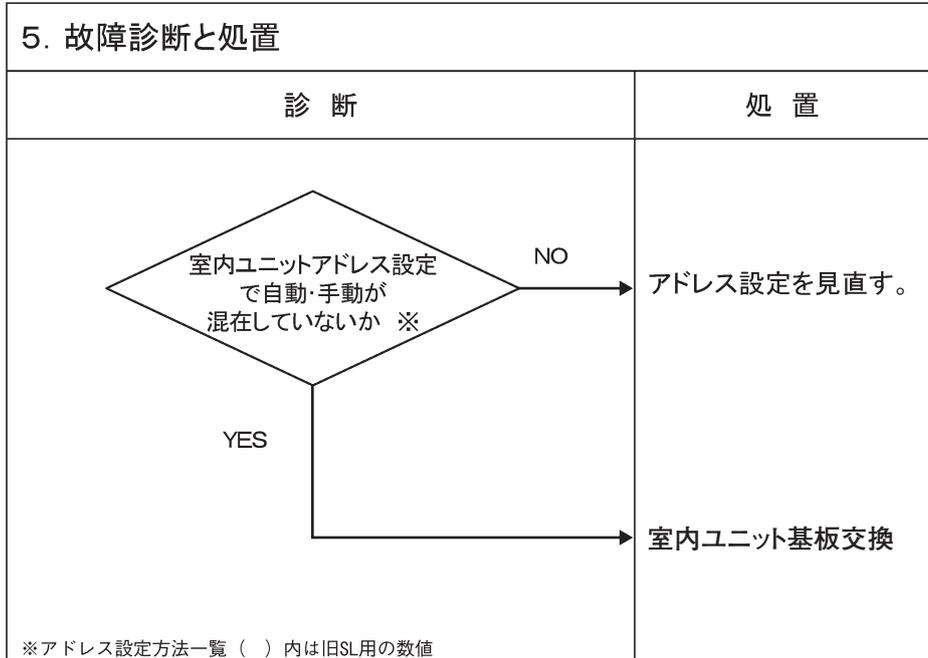
表示 リモコン:E12 7セグメント:-	LED	緑	赤	内容 室内ユニットでのアドレス設定不良
	室内	連続点滅	連続点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法
室内ユニットでのアドレス設定時に自動と手動が混在。

3. 異常発生条件
同上

4. 予想原因
室内ユニットでのアドレス設定ミス



※アドレス設定方法一覧（ ）内は旧SL用の数値

	新SL対応機			新SL未対応機		
	室内ユニットアドレス設定		室外ユニットアドレス設定	室内ユニットアドレス設定		室外ユニットアドレス設定
	室内No.スイッチ	室外No.スイッチ	室外No.スイッチ	室内No.スイッチ	室外No.スイッチ	室外No.スイッチ
手動アドレス (旧SL/新SL)	000~127(47)	00~31(47)	00~31(47)	00~47	00~47	00~47
1冷媒系統自動アドレス (旧SL/新SL)	000	49	49	49	49	49
複数冷媒系統自動アドレス (新SLのみ)	000	49	00~31	不可	不可	不可

注記:

表示 リモコン:E18	LED	緑	赤	内容 親子室内アドレス設定不良
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

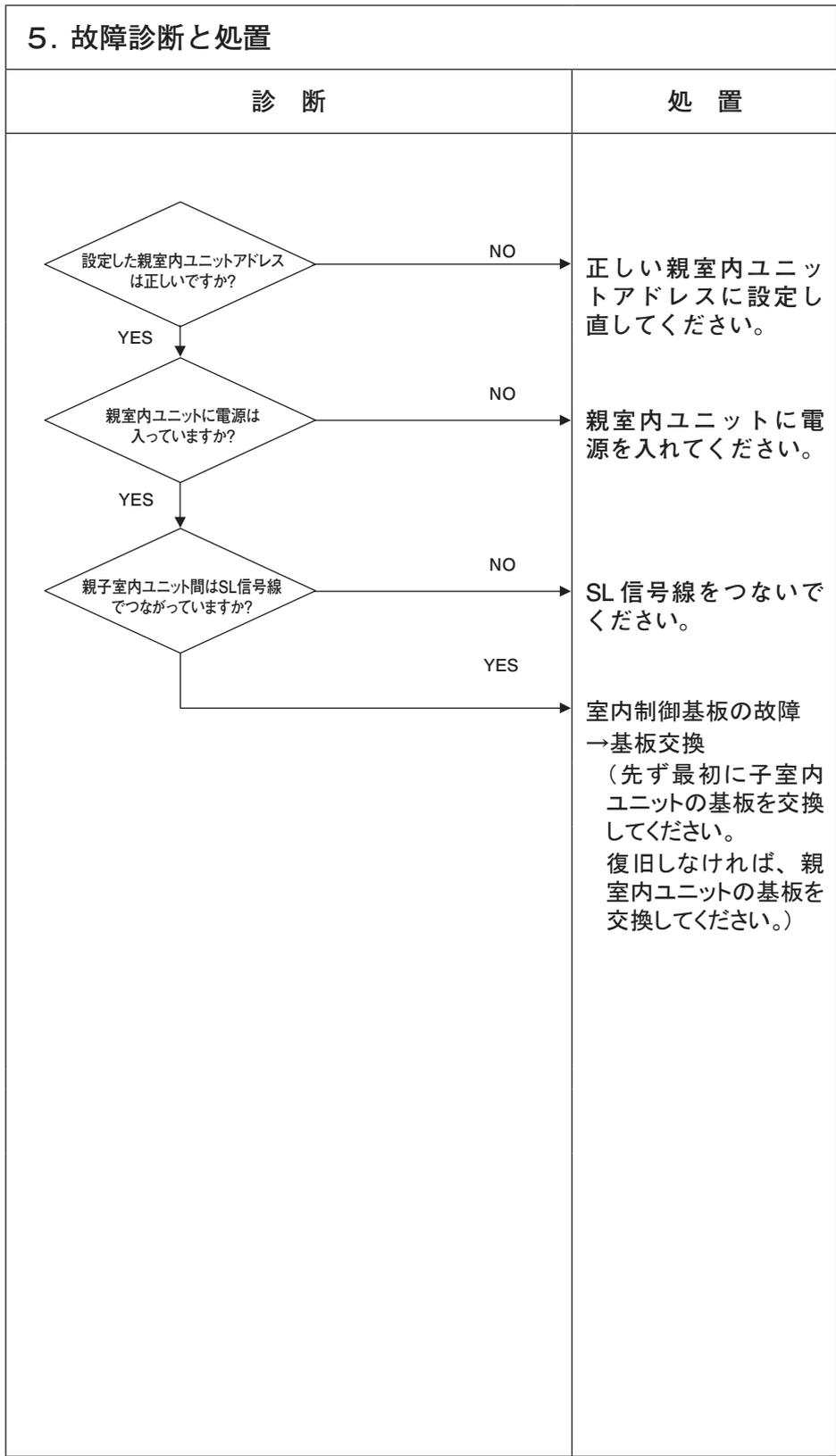
1. 対象機種
全形式

2. 異常検出方法
(1)設定した親室内ユニットアドレスが、同一のSL信号線のネットワーク上に存在しない場合。
(2)子室内ユニットアドレスとして設定したアドレスを親室内ユニットアドレスとして重複して設定した場合。

3. 異常発生条件
同上

4. 予想原因

- ・親室内ユニットアドレスの設定ミス
- ・親室内ユニットの電源が入っていない。
- ・親子室内ユニット間にSL信号線がつながっていない。
- ・子室内ユニットまたは親室内ユニットまたは両方の制御基板が故障。



注記：

表示 リモコン:E19	LED	緑	赤	内容 運転チェックモード異常
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

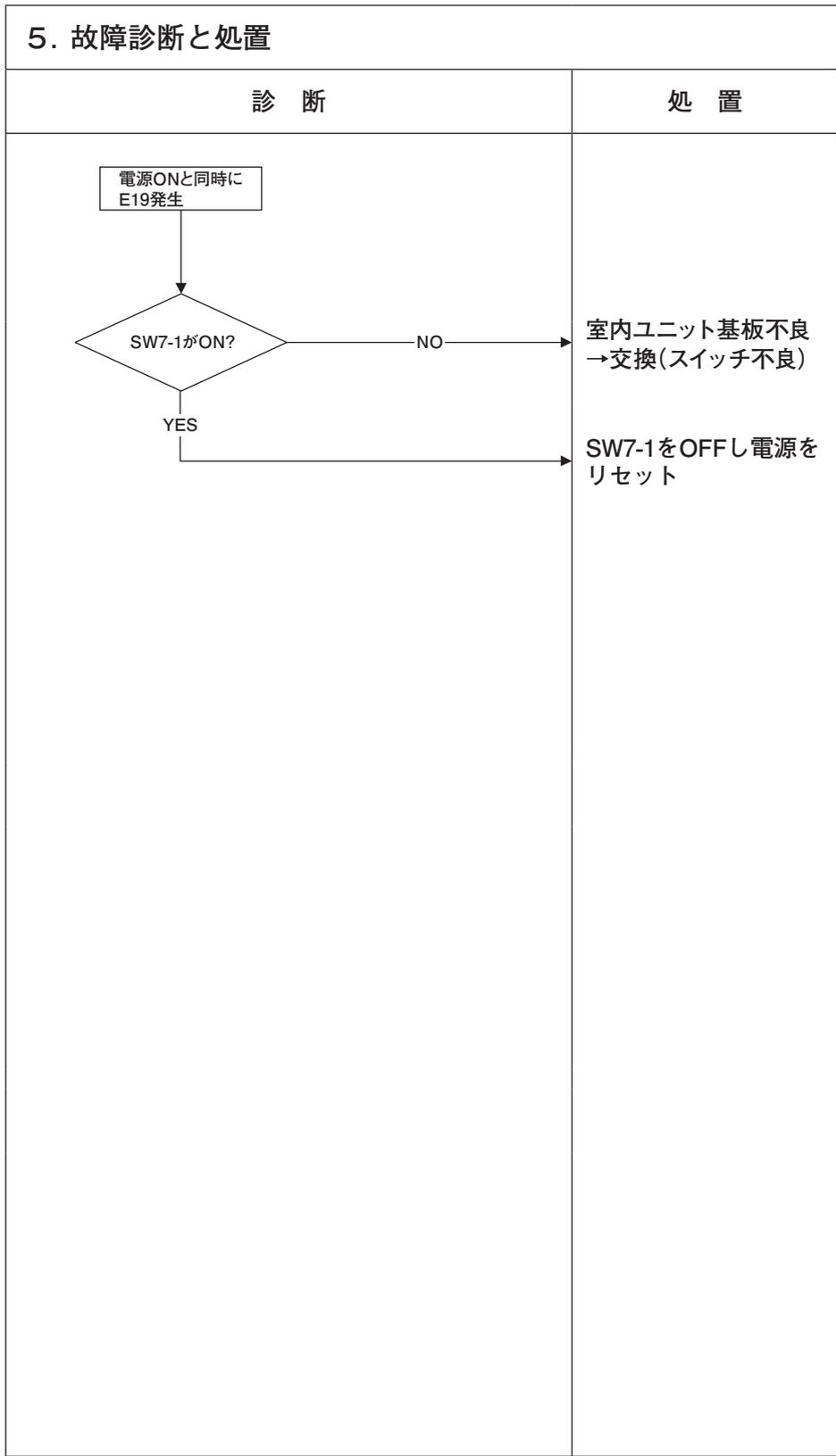
1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法
E19 発生

3. 異常発生条件
同上

4. 予想原因

- ・ スイッチ SW7-1 設定ミス (スイッチ SW7-1 の戻し忘れ)
- ・ 室内ユニット基板不良 (スイッチ SW7-1 不良)



注記：

表示 リモコン:E28	LED	緑	赤	内容 リモコン温度センサ断線
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種
全機種

2. 異常検出方法
リモコン温度センサ (Thc) の異常低温 (抵抗) を検知

3. 異常発生条件
温度センサが -50℃以下を連続 5 秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させ、1回目の検知から60分以内に再検知した場合。

4. 予想原因

- ・ リモコン温度センサ接続不良
- ・ リモコン温度センサ不良
- ・ リモコン基板不良

5. 故障診断と処置

診 断	処 置																																																																								
<pre> graph TD A{リモコン温度センサの接続はよいか} -- NO --> B[修正] A -- YES --> C{リモコン温度センサの特性は良いか断線は無いか?} C -- NO --> D[リモコン温度センサ不良→交換] C -- YES --> E[リモコン基板不良→交換 (リモコン温度センサ入力回路不良)] </pre>																																																																									
<p>リモコン温度センサ抵抗温度特性 (Thc)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>温度(℃)</th> <th>抵抗値(kΩ)</th> <th>温度(℃)</th> <th>抵抗値(kΩ)</th> <th>温度(℃)</th> <th>抵抗値(kΩ)</th> <th>温度(℃)</th> <th>抵抗値(kΩ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>65</td><td>14</td><td>33</td><td>30</td><td>16</td><td>46</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>1</td><td>62</td><td>16</td><td>30</td><td>32</td><td>15</td><td>48</td><td>7.8</td></tr> <tr><td>2</td><td>59</td><td>18</td><td>27</td><td>34</td><td>14</td><td>50</td><td>7.3</td></tr> <tr><td>4</td><td>53</td><td>20</td><td>25</td><td>36</td><td>13</td><td>52</td><td>6.7</td></tr> <tr><td>6</td><td>48</td><td>22</td><td>23</td><td>38</td><td>12</td><td>54</td><td>6.3</td></tr> <tr><td>8</td><td>44</td><td>24</td><td>21</td><td>40</td><td>11</td><td>56</td><td>5.8</td></tr> <tr><td>10</td><td>40</td><td>26</td><td>19</td><td>42</td><td>9.9</td><td>58</td><td>5.4</td></tr> <tr><td>12</td><td>36</td><td>28</td><td>18</td><td>44</td><td>9.2</td><td>60</td><td>5.0</td></tr> </tbody> </table>	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	0	65	14	33	30	16	46	8.5	1	62	16	30	32	15	48	7.8	2	59	18	27	34	14	50	7.3	4	53	20	25	36	13	52	6.7	6	48	22	23	38	12	54	6.3	8	44	24	21	40	11	56	5.8	10	40	26	19	42	9.9	58	5.4	12	36	28	18	44	9.2	60	5.0	
温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)																																																																		
0	65	14	33	30	16	46	8.5																																																																		
1	62	16	30	32	15	48	7.8																																																																		
2	59	18	27	34	14	50	7.3																																																																		
4	53	20	25	36	13	52	6.7																																																																		
6	48	22	23	38	12	54	6.3																																																																		
8	44	24	21	40	11	56	5.8																																																																		
10	40	26	19	42	9.9	58	5.4																																																																		
12	36	28	18	44	9.2	60	5.0																																																																		

注記：リモコンセンサ無効→有効切替えの10秒間以降は、断線してもE28は表示しません。同時に使用するセンサをリモコン→室内吸込温度センサに変更します。リモコンセンサを有効にしても点検表示の吸込温度表示は室内吸込温度センサの値となります。

表示 リモコン:E63 7セグメント:E63	LED	緑	赤	内容 <h2 style="text-align: center;">緊急停止</h2>
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種

室内ユニット

2. 異常検出方法

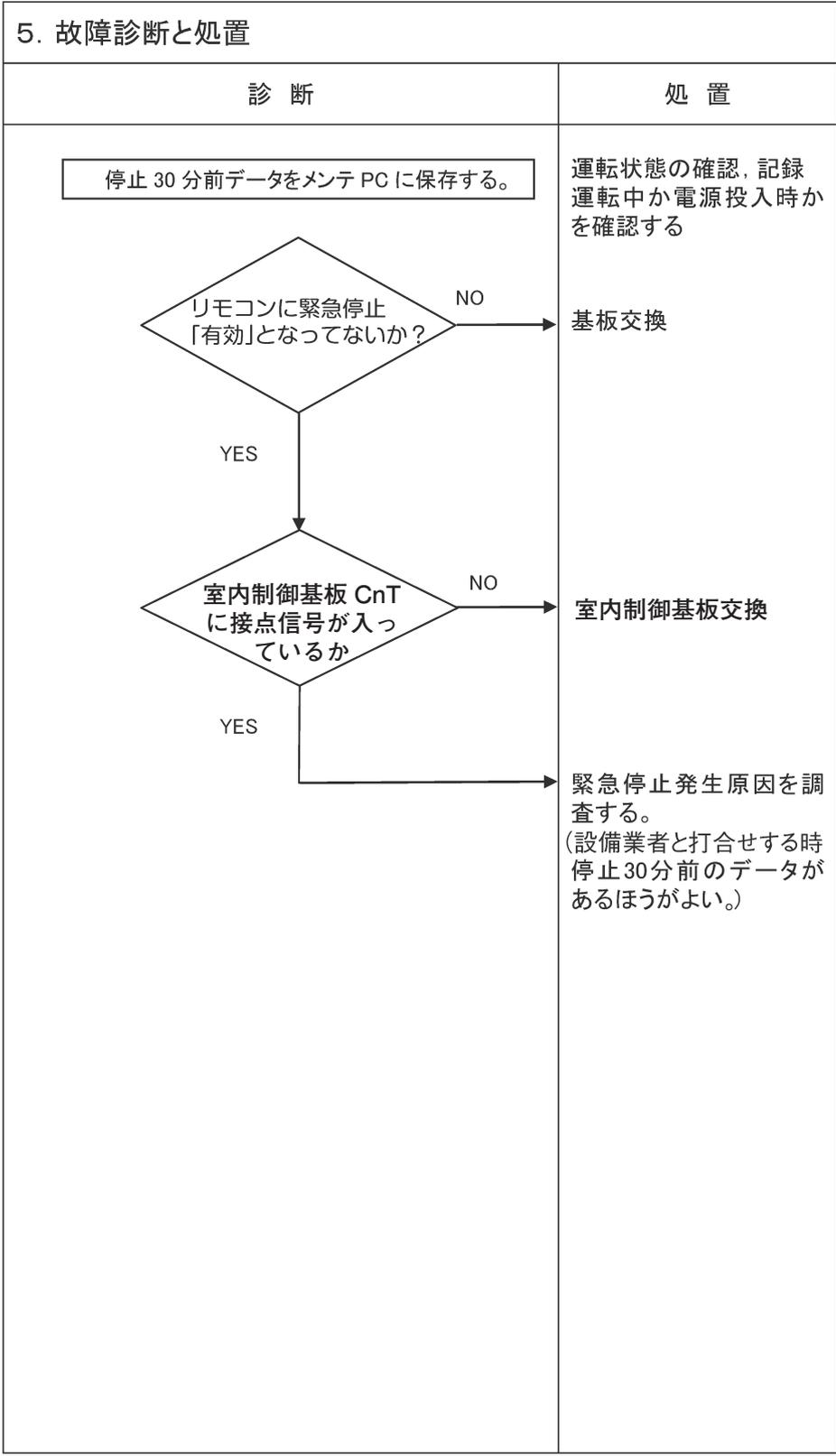
室内制御基板 CnT 端子への接点入力

3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

- ・緊急停止要因の発生
- ・リモコン基板不良
- ・室内制御基板不良



注記: 緊急停止を検知した室内ユニットが指令し、全停止となる。

9.3 室内ユニット基盤交換要領

PSB012D975K

マルチ用

安全上のご注意

- 工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った作業を行った時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った作業を行った時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 基板交換完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。

⚠ 警告

- 作業は、販売店又は専門業者にて実施してください。
- この作業要領書に従って確実に行ってください。作業に不備があると、感電や火災の原因になります。
- 基板交換時は、必ず電源が切れていることを確認してから行ってください。
- 通電状態での基板交換は、感電の原因になります。ファンモータ他の接続機器破壊の原因になります。
- 基板交換の作業終了後、電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認してください。交換作業に不備があると、感電や火災の原因になります。

⚠ 注意

- プリント基板にコネクタを接続する際は、基板が変形しないように接続してください。
- コネクタは、確実に挿入しストッパが掛かったことを確認してください。
- 配線は、つっぱらないように結束してください。感電の原因になることがあります。

① アドレス設定・仕様切換スイッチ

交換する基板と同一設定になります。 ○ : ON - : OFF

項目	スイッチ	制御内容
アドレス	SW1,2 (青)	室内アドレス 00~99
	SW5-2	- 室内アドレス 100未満
		○ 室内アドレス 100以上
SW3,4 (緑)	室外アドレス	

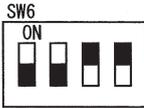
項目	スイッチ	制御内容
新旧	SW5-1	- 新旧通信自動判定
		○ 旧通信に固定
設備	SW7-4	- 標準PAC制御
		○ 設備PAC制御
試運転	SW7-1	- 通常運転
		○ 運転チェック/ドレンポンプ試運転

② 容量切換スイッチおよびジャンパ

SW6により容量を設定してください。交換する基板と同一設定になります。

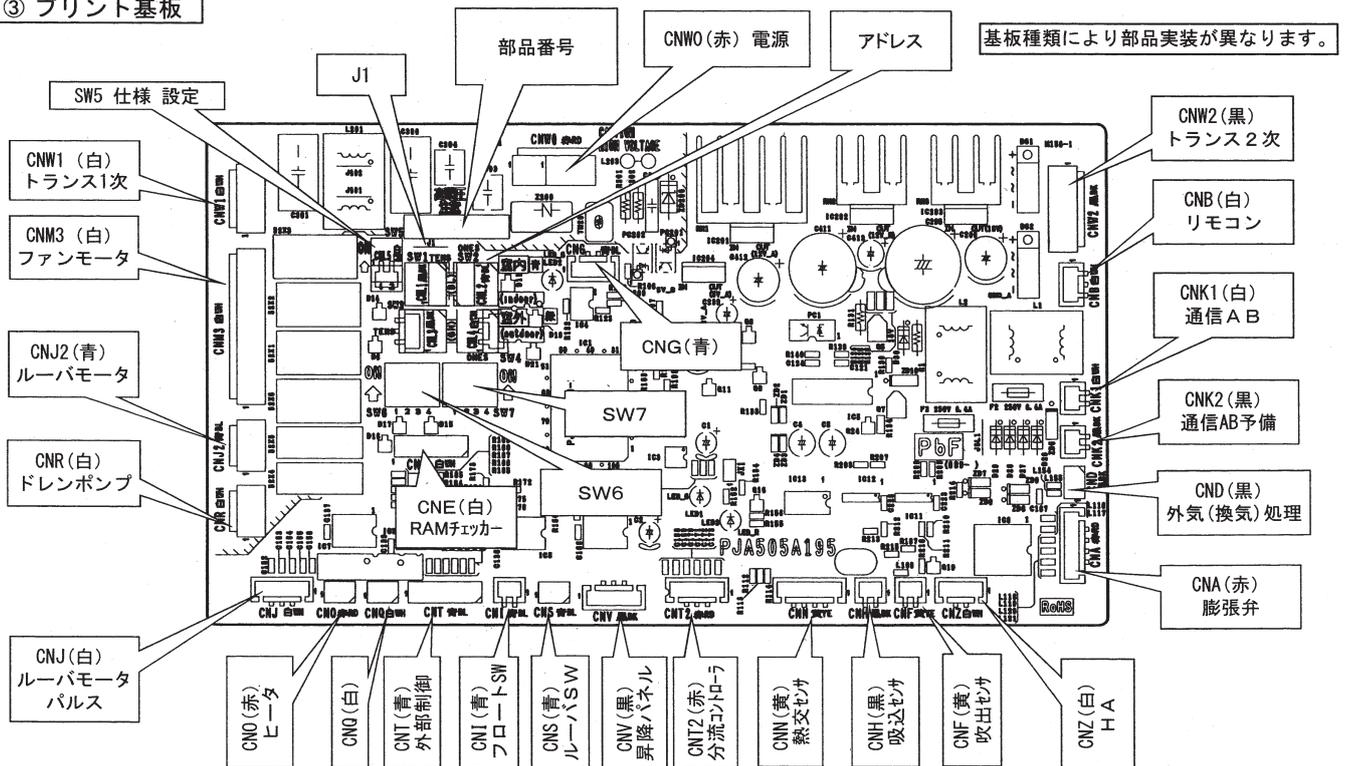
容量	SW6			J1
	-1	-2	-4	
P140	-	-	○	○
P224	-	○	○	○
P280	○	○	○	○

(P140の場合)



○ : ON/短絡 - : OFF/開放 (J1:切断)

③ プリント基板



10. 別売品

(1) 補助電気ヒータ

発熱体：SUS仕様

適用機種	品名	電源	容量 (kW)	質量 (kg)	圧力損失 (Pa) ^(注5)	[交換部品] マイクロテンプ 必要数量
FDASP1405TLX	HA06600	三相200V	4	11	5	2
	[必須品] HA05948	補助電気ヒータ用電磁接触器				-
FDASP2245TLX	HA06601	三相200V	6	11	5	2
	[必須品] HA05948	補助電気ヒータ用電磁接触器				-
FDASP2805TLX	HA06602	三相200V	8	11	6	4
	[必須品] HA05948	補助電気ヒータ用電磁接触器				-
	[交換部品] HA06626	マイクロテンプ (110℃-25A) (10個入り)				

- 注) 1. 補助電気ヒータ組込時には蒸気用スプレー加湿器、気化式加湿器は使用できません。超音波加湿器およびパン形加湿器をお選びください。
2. 上記の補助電気ヒータを組込んだ場合は“JRA4001”に規定する簡易試験を実施してください。
3. 上記の容量以下の電気ヒータも対応できます。
4. ELBを取付ける場合は、容量分割数と同数(誤動作防止のため)のELBが必要です。
5. 圧力損失は標準風量時のものです。

(2) 蒸気用スプレー加湿器 エアコン左右配管可能 左右どちらでも配管可能です。

適用機種	品番	噴霧量 (kg/h)	ノズル数	蒸気接続口径
FDASP1405TLX	HA05872	6	2	10A (3/8B)
FDASP2245TLX	HA05873	9	3	
FDASP2805TLX	HA05874	12	4	
FDASP1405TLX FDASP2245TLX FDASP2805TLX	SA03401A	[必須品]	リレーボックス	
FDASP1405TLX FDASP2245TLX FDASP2805TLX	S06127	[別売品]	電磁弁 (200V) (15A)	
	SA06246		Y形ストレーナ (10A (3/8B))	
	-		ヒューミディスタット	
	HA06159	[交換部品]	ノズルチップ	

- 注) 1. 噴霧量は、標準使用圧力0.035MPaの時を示します。
2. 加湿器用電磁弁およびY形ストレーナ間の接続ニップル、配管は客先手配です。
3. 取付金具は付属しています。
4. 補助電気ヒータ、電気ヒータとの併用はできません。絶縁不良になります。
5. 蒸気圧が高くなると異常音が発生する場合がありますので、蒸気圧は0.1MPa以下でご使用ください。
6. リモコンで『暖房ファン残留運転』を行ってください。
7. 後吸込仕様で蒸気用スプレー加湿器を使用する場合は、[必須品] 蒸気用スプレー加湿器取付板は不要です。

(3) 気化式加湿器

適用機種	品番	加湿量 (kg/h)	風量 (m ³ /min)	給水量 (kg/h)	圧力損失 (Pa) ^(注4)	消費電力 (W)	構成部品
FDASP1405TLX	HA05877	2.5	35	9	15	10	・加湿器本体 ・給水ユニット (单相200V) (電磁弁, 減圧弁内蔵)
FDASP2245TLX	HA05878	3.7	56	20	25		
	HA05879	5.6		21			
FDASP2805TLX	HA05878	5.1	78	20	30		
	HA05879	7.7		21			

- 注) 1. 補助電気ヒータ、電気ヒータ、温水・蒸気ヒータとの共用はできません。(取付場所が同一のため)
2. 加湿量は加湿器入口空気条件：40℃DB, RH15%, ユニット出荷時の風量です。風量および温度・湿度によって変化します。
3. 給水量は使用給水圧力範囲0.05~0.5MPaにおいて最大の0.5MPaの時の値です。
4. 圧力損失は標準風量時のものです。

(4) プレナムチャンバ

ダクト仕様機をダクト施工しないで、直吹き仕様とする場合の吹出チャンバです。水平ルーバの可動角度は上下30度で同じ方向にしてください。縦ルーバは、固定です。

適用機種	品番	パワーレベル (50/60Hz)	寸法 (mm)			質量 (kg)
			高さ	幅	奥行	
FDASP1405TLX	▶HA07357A <small>(注2)</small>	74/77	250	800	500	19
	[必須品] SA08311	接着剤 (グラスウールセット貼付け用)				
FDASP2245TLX FDASP2805TLX	▶HA07358A <small>(注2)</small>	73/77 78/83	250	1100	500	25
	[必須品] SA08311	接着剤 (グラスウールセット貼付け用)				

- 注) 1. 必ず本機据付前に装着してください。(後面の取付ねじ作業が困難になります。)
2. 出荷時設定回転数でご使用ください。出荷時設定回転数未満で使用すると結露が発生する場合があります。

(5) 高性能フィルタ (背面吸込形)

適用機種	品番	風量 (m ³ /min)	集塵効率 (比色法%)	圧力損失 (Pa)		寸法 (mm)			質量 (kg)
				初期	終期	高さ	幅	奥行	
FDASP1405TLX	HA06108	40	90	104	208	390	798	300	22
	HA06109		70	96	192				
	[必須品] HA07324	背面ダクトフランジ							
	[必須品] HA07327	前面ふさぎパネル							
	[必須品] HA07332	後吸込用パッフルプレート							
FDASP2245TLX	HA06110	64	90	74	148	540	1098	300	34
	HA06111		70	68	136				
	[必須品] HA07325	背面ダクトフランジ							
	[必須品] HA07328	前面ふさぎパネル							
	[必須品] HA07332	後吸込用パッフルプレート							
FDASP2805TLX	HA06110	80	90	104	208	540	1098	300	34
	HA06111		70	96	192				
	[必須品] HA07325	背面ダクトフランジ							
	[必須品] HA07328	前面ふさぎパネル							
	[必須品] HA07332	後吸込用パッフルプレート							

- 注) 1. 高性能フィルタ取付時、背面ダクトフランジ (キット) のダクトフランジは使用しません。
2. 直吸込とする場合は、床面の塵埃の吸引を防止するため、フィルタ下端から床面までの距離を400mm以上となるようかさ上げすることをお奨めします。
3. 上表の風量以上でご使用ください。

三菱重工サーマルシステムズ株式会社 〒108-8215 東京都港区港南2-16-5
三菱重工冷熱株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦2-11-5

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。